

## 江差～奥尻島航路 定期船時刻表・新旧一覽表

## 【新】2022年1月1日～「江差～奥尻島」時刻表

期 間	奥尻発 - 江差着	江差発 - 奥尻着
1月1日 ～ 3月31日	08:15 ～ 10:35	13:00 ～ 15:20
4月1日 ～ 4月28日	07:00 ～ 09:10	<b>11:00 ～ 13:10</b>
4月29日 ～ 5月5日	07:00 ～ 09:10	09:40 ～ 11:50
	15:00 ～ 17:10	17:40 ～ 19:50
5月6日 ～ 6月30日	07:00 ～ 09:10	<b>11:00 ～ 13:10</b>

※定時に運航する便の外、必要に応じて臨時便を運航することがあります。

## 【旧】2021年1月1日～「江差～奥尻島」時刻表

期 間	奥尻発 - 江差着	江差発 - 奥尻着
1月1日 ～ 3月31日	08:15 ～ 10:35	13:00 ～ 15:20
4月1日 ～ 4月28日	07:00 ～ 09:10	13:00 ～ 15:10
4月29日 ～ 5月5日	07:00 ～ 09:10	09:40 ～ 11:50
	15:00 ～ 17:10	17:40 ～ 19:50
5月6日 ～ 6月30日	07:00 ～ 09:10	13:00 ～ 15:10

※定時に運航する便の外、必要に応じて臨時便を運航することがあります。

## 【2022年度運航ダイヤ・経緯】

○この運航ダイヤは弊社が素案を提出し、それを基に奥尻町内各関係者が集まり、検討して決めたダイヤです（その場に弊社関係者はいません）。

## 【2022年度運航ダイヤ変更点】

- 4月からの1便運航ダイヤで、江差発が13:00⇒11:00に2時間早発となります。
- ・これは、奥尻町に行くお客様が午後から用事を済ませ、翌日帰る事が可能にしました。
  - ・ヤマト運輸、佐川急便、郵便逋送が毎日島へ荷物を運ぶ過程で、島内で午後に宅配が可能となります（今までは夜遅くまで配達を行っていました）。
  - ・島内食料品店の品出しがお客様の帰宅時間前に完了が可能になります。（今までは夕方に納品になるため間に合いませんでした）。

## 【7月以降の運航ダイヤについて】

- ・協議会を開催し、遅くとも4月初旬には決定する予定です。

# 令和3年度第3回 江差町地域公共交通活性化協議会 資料

江差町の  
公共交通をより良くするための  
アンケート調査結果

作成：日本データーサービス株式会社



<b>1. 調査の概要</b>	<b>2</b>
1-1 調査実施の目的	2
1-2 調査実施期間	2
1-3 調査対象	2
1-4 配付・回収状況	2
1-5 調査項目	2
<b>2. 調査結果概要</b>	<b>3</b>
2-1 回答者の属性	3
2-2 回答者の生活圏	4
2-3 移動で困っていること・運行してほしい交通サービス	5
2-4 携帯端末を活用したサービス	6
<b>3. 調査結果詳細</b>	<b>7</b>
3-1 回答者属性	7
3-2 生活状況	12
3-3 携帯端末の保有・利用用途	20
3-4 公共交通に対するニーズ	22
3-5 その他自由記述	31

# 1. 調査の概要



## 1-1 調査実施の目的

- ・江差町地域公共交通計画を策定していく上で、**町民の生活圏の把握**に加え、**町民が考えている公共交通に対するニーズを把握**することを目的に、町内1,700世帯を対象に、町民ニーズ把握調査（アンケート調査）実施

## 1-2 調査実施期間

- ・令和4年2月11日（金）～2月25日（金）
- ※本資料は3月6日（日）回収分までを集計

## 1-3 調査対象

- ・江差町に居住する15歳以上の町民（1,700世帯を無作為抽出）
- ※1世帯に2票を配布（1世帯の場合は1票の回答、2人以上世帯については、公共交通を利用するあるいは利用したい方が優先的に回答）

## 1-4 配布・回収状況

- ・配布状況：1,700世帯（3,400票）
- ・回収状況：605世帯（回収率：35.8%）

## 1-5 調査項目

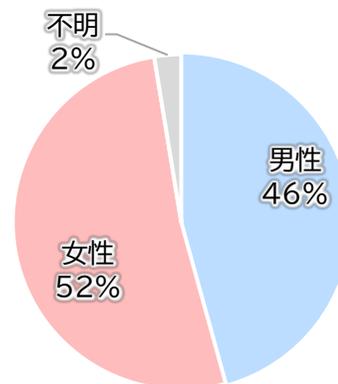
項目	内容	ねらい
1. 属性	・性別、年齢 ・職業 ・居住地 ・免許証及び自動車の保有状況 ・自動車の運転意向 ・運転困難時の移動手段 ・免許証返納による困ること	・年齢や免許証保有状況、地区などの個人属性の把握 ・他項目とのクロス集計による属性ごとの傾向分析に活用
2. 日常的な生活状況	・移動手段及び移動先、移動時間等 -通勤・通学、買い物、通院、私用などのお出かけの4目的	・現状の生活行動の実態把握 ・「生活圏」及び「医療圏」の把握・分析に活用
3. 公共交通に対するニーズ	・普段の移動で困っていること ・運行してほしい公共交通 -その運賃、導入による外出機会の変化、その利用目的 ・MaaS等の利用意向 -スマートフォン等の携帯端末の保有状況、携帯端末の利用用途、携帯端末を活用した公共交通予約等のサービス利用意向	・新たな公共交通等の導入に関する検討項目 ・個人属性等とクロス集計により、各地区で導入すべきモードの検討やMaaS等の利用意向を把握に活用

## 2. 調査結果概要

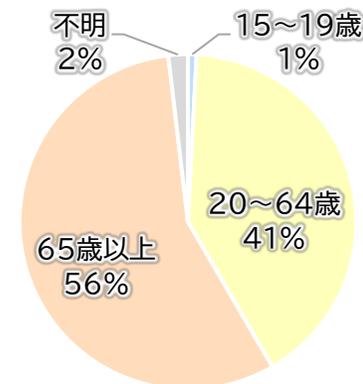


### 2-1 回答者の属性

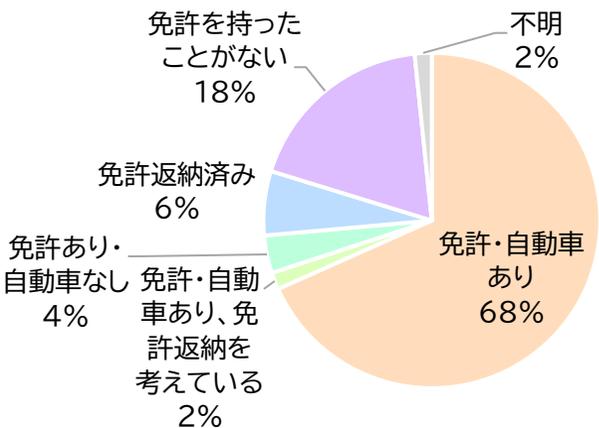
- ・性別は、男性・女性でおおよそ半数の割合
- ・年代は、65歳以上の高齢者からの回答が若干多い
- ・運転免許・自動車保有状況は、約7割が運転免許及び自動車を保有しており、自動車等を保有せず、自由に移動することができない回答者は約3割
- ・運転免許を返納できない理由として、タクシーやバス等の公共交通機関が不便であることが挙げられている。
- ・自動車を保有している方で、運転が困難になった際の移動手段としては、バスの利用が6割で、免許返納で困ることは買い物や通院などの生活交通に支障がでること



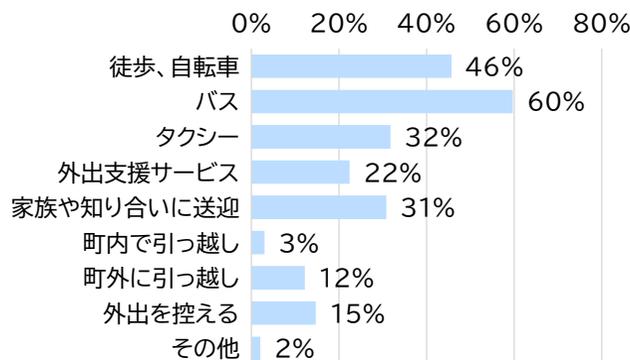
問1① 性別



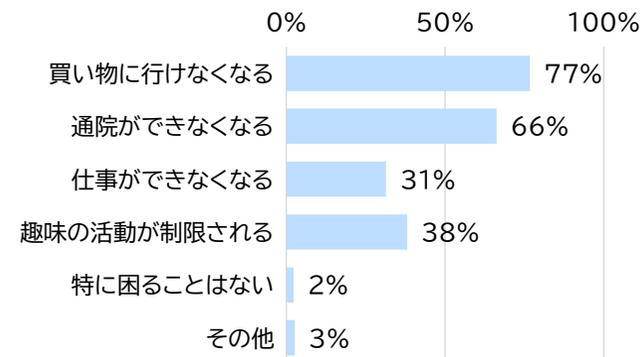
問1② 年齢



問4 免許・自動車の保有



問6 運転困難時の移動手段



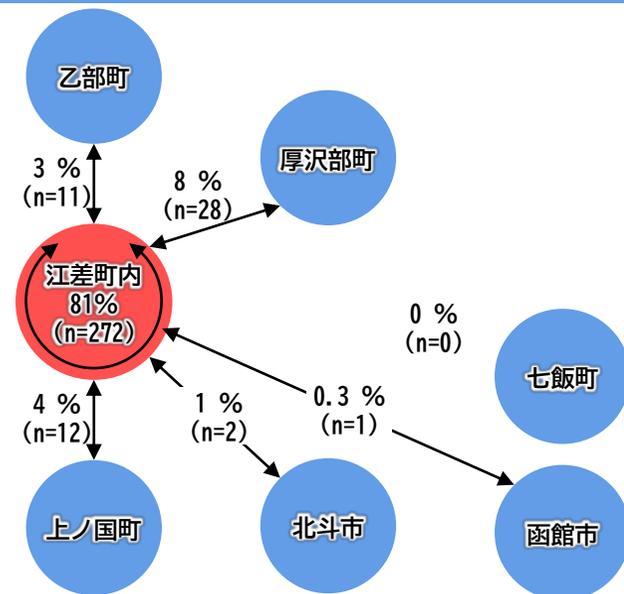
問7 免許返納により困ること

# 2. 調査結果概要

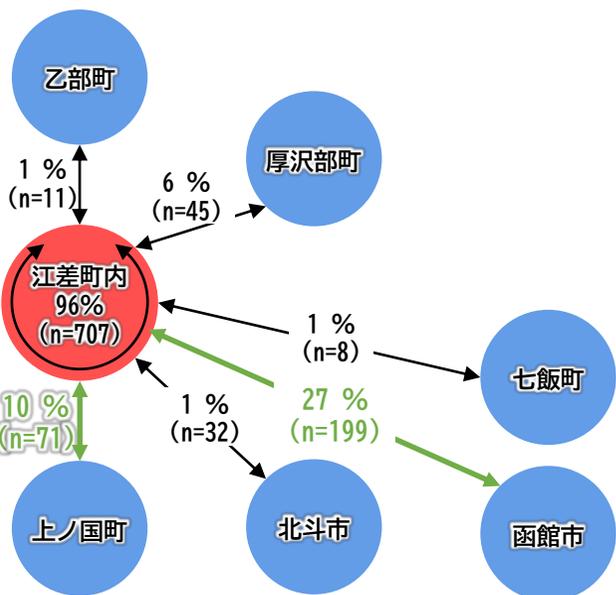


## 2-2 回答者の生活圏

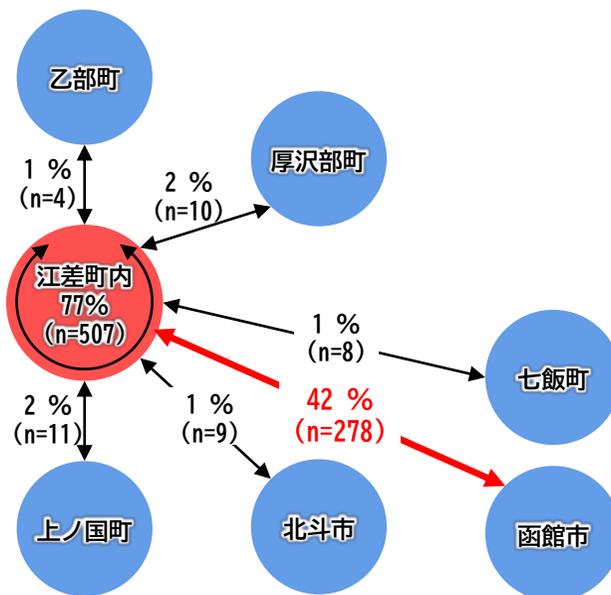
- ・通勤・通学圏は、江差町内が約8割
- ・買い物圏についても約9割が江差町内である一方で、約2割は函館市までの広域的な移動を行っている  
※10時台に到着する移動が最も多い
- ・通院圏についても約8割が江差町内である一方で、大規模な病院が立地している函館市までの広域的な移動を行っている方が約4割と多い  
※9時台に到着する移動が最も多い
- ・私用圏についても約7割が江差町内である一方で、函館市までの広域的な移動を行っている方が約5割と多い  
※10時台に到着する移動が最も多い



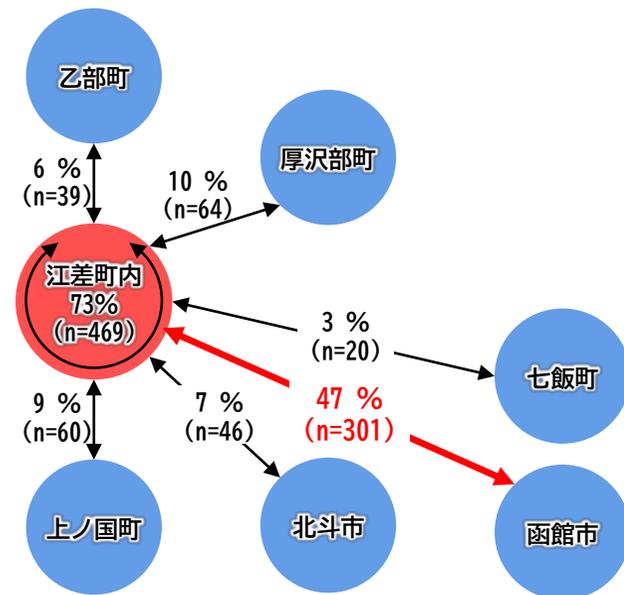
問8② 通学・通勤 (n=336)



問9③ 買い物 (n=739)



問10② 通院 (n=657)



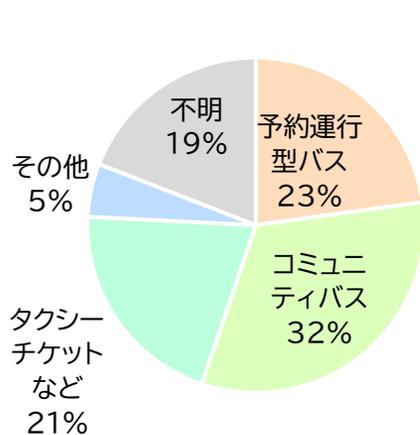
問11② 私用 (n=642)

## 2. 調査結果概要

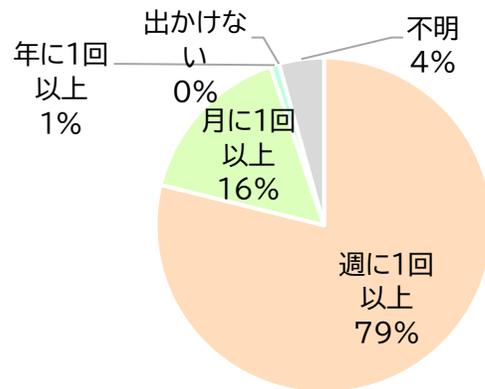


### 2-3 移動で困っていること・運行してほしい交通サービス

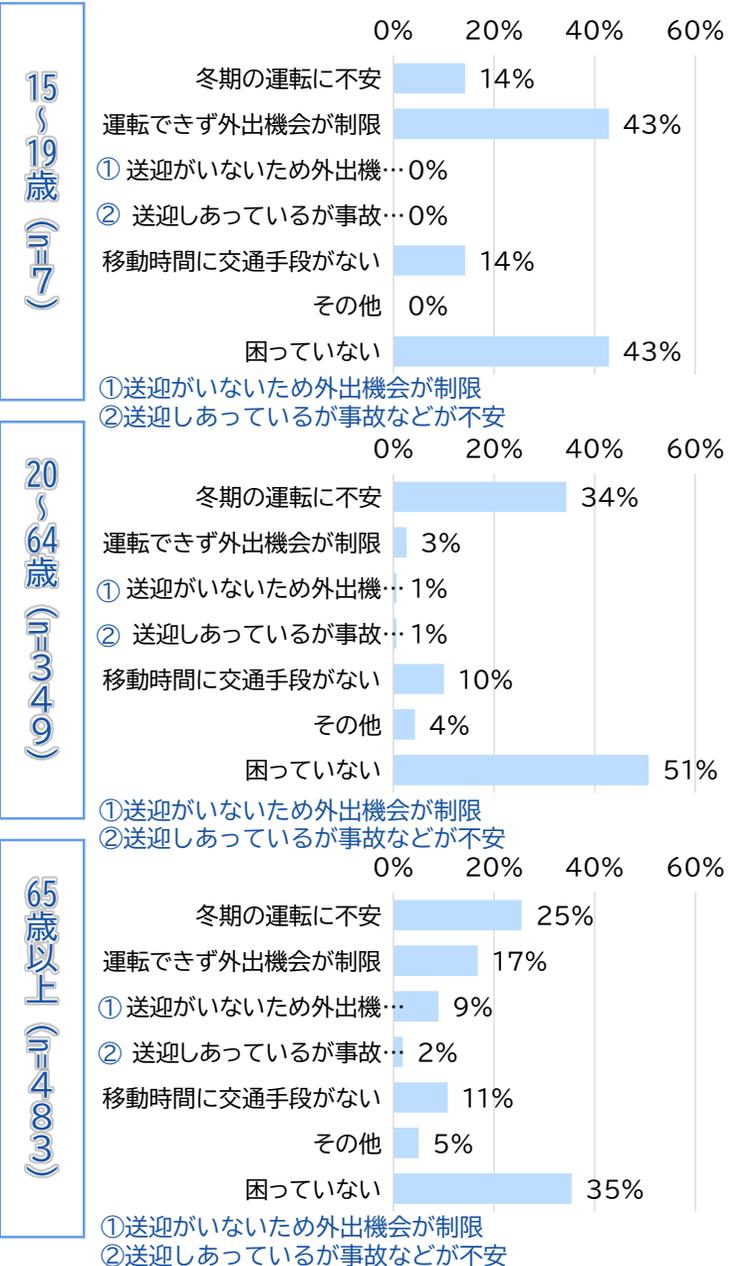
- ・移動で困っていることとして、冬期の運転に不安がある、との回答が約3割と最も多い
- ・その他、運転できず外出機会が制限される、や、近隣住民等で送迎しあう際の交通事故の心配が各1割の回答
- ・運転できず外出機会が制限される項目は、15～19歳及び高齢人口の回答割合が高く、送迎に関する項目は、高齢人口の回答割合が高い
- ・その他の回答内容として、「バス等の公共交通サービスに関する内容」のほか、「冬期除排雪に関する内容」などが挙げられている
- ・新たに運行してほしい交通サービスとしては、コミュニティバスが約3割である一方で、自宅付近まで来る交通として、予約運行型バスやタクシーチケットなどの交通支援の割合が各2割の回答
- ・上記、各種交通サービスの導入により、外出機会が今よりも週に1回以上増加



問15 新たに運行してほしい交通サービス



問18 新たに運行してほしい交通サービスが運行した場合の外出回数の変化



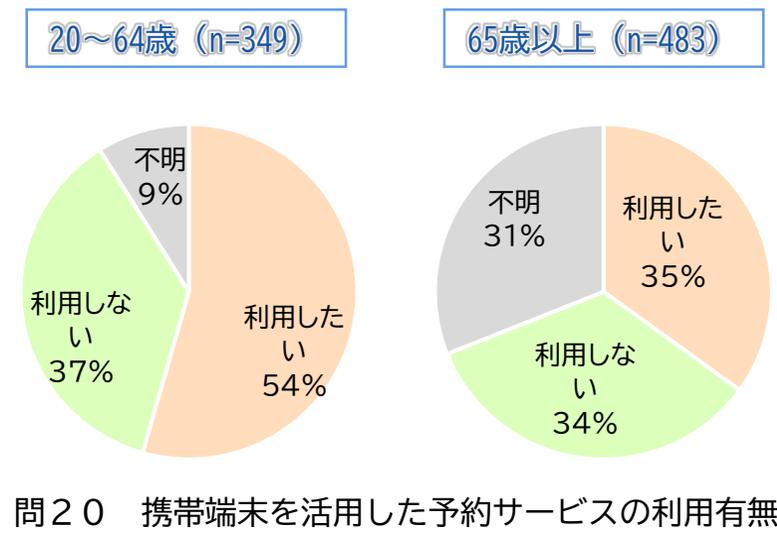
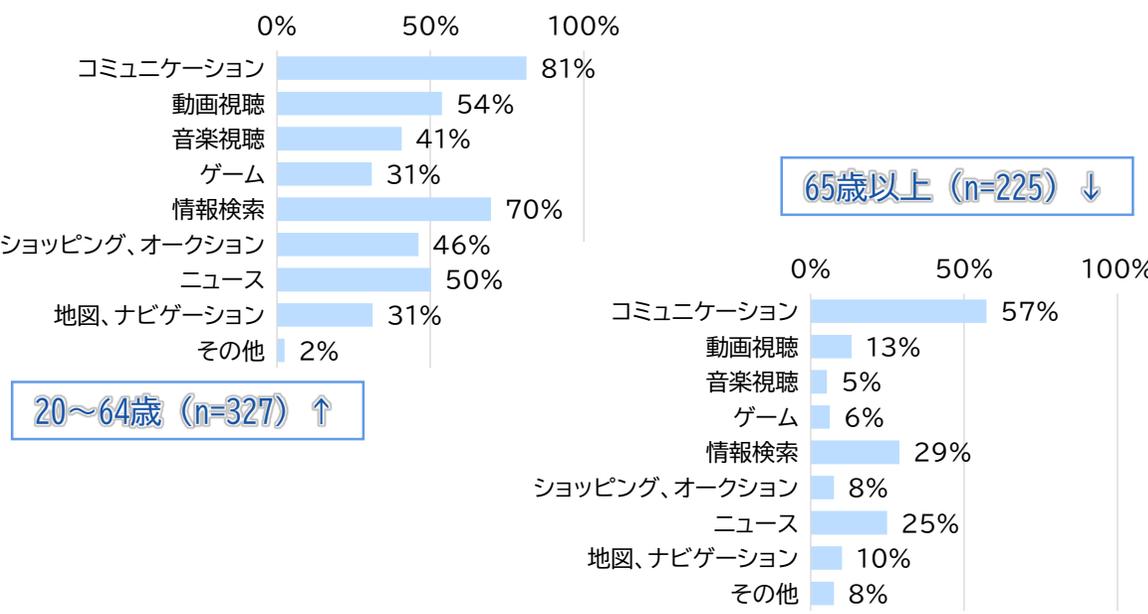
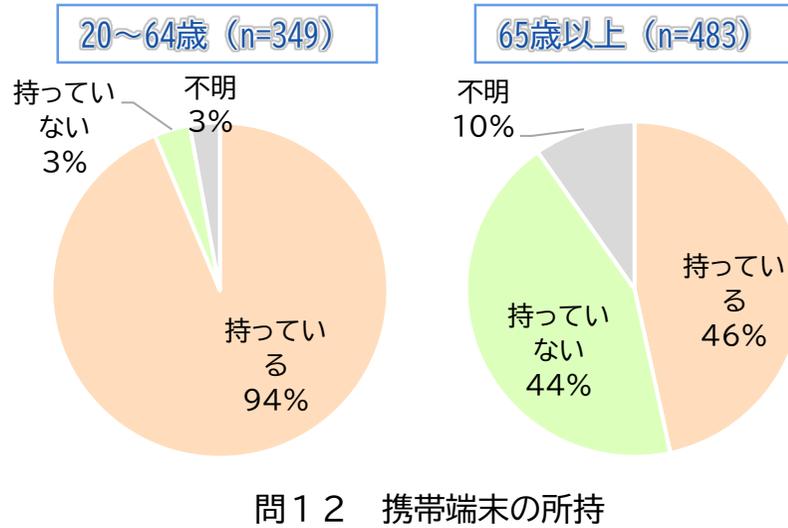
問14 移動で困っていること

## 2. 調査結果概要



### 2-4 携帯端末を活用したサービス

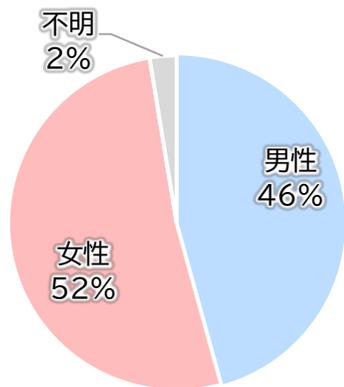
- ・生産年齢人口（15～64歳）と比較し、高齢人口（65歳以上）は、携帯端末を保有する割合は低い（生産年齢人口の約9割が保有、高齢人口では約5割が保有）
- ・インターネットの利用用途として、生産年齢人口はコミュニケーションのほか、アプリ等を活用した利用で携帯端末を多く使用している一方で、高齢人口は主にコミュニケーションでの使用となっており、携帯端末の利用に不慣れである状況が推察される
- ・携帯端末での運行情報や予約サービスの運用について、生産年齢人口では4割以上が「利用したい」と回答している一方で、高齢人口では「利用したい」の回答が4割以下と比較的低い



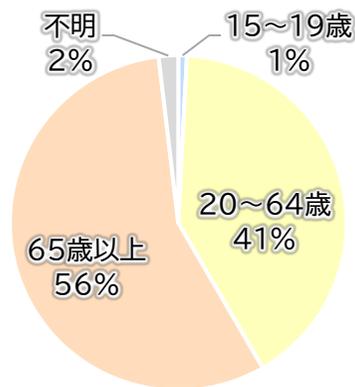


### 3. 調査結果詳細 (3-1 回答者属性)

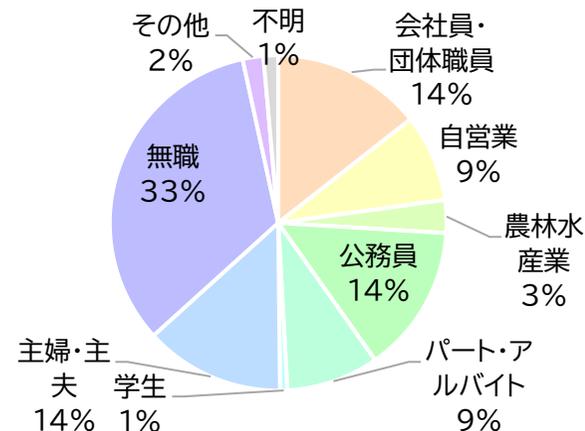
問1① 性別 (n=855)



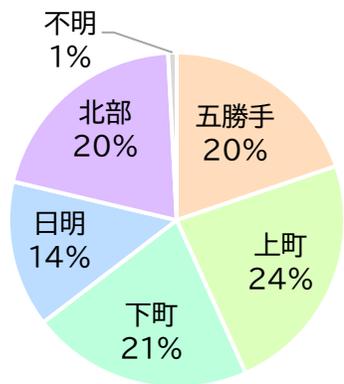
問1② 年齢 (n=855)



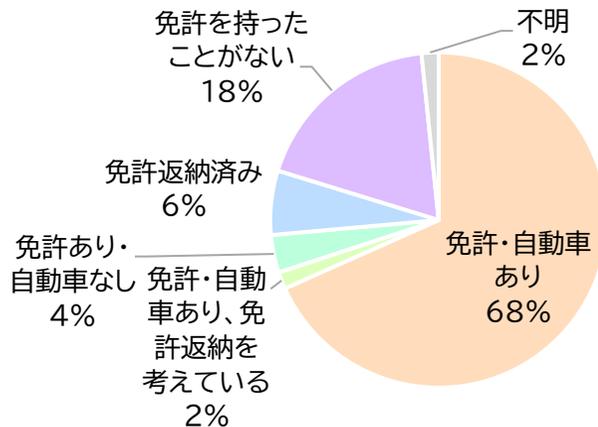
問2 職業 (n=855)



問3 住所 (n=855)



問4 免許・自動車の保有 (n=855)



※ 江差町内における地区ごとの移動傾向等について分析するため、各町を「五勝手・上町・下町・日明・北部」の5地区に分類し集計。

【五勝手】南浜町・柏町・南が丘・砂川・萩ノ岱・楸川町

【上町】上野町・橋本町・本町・新地町・緑丘・茂尻町・円山・陣屋町・海岸町

【下町】新栄町・愛宕町・豊川町・東山・桧岱・中歌町・姥神町・津花町・鷗島

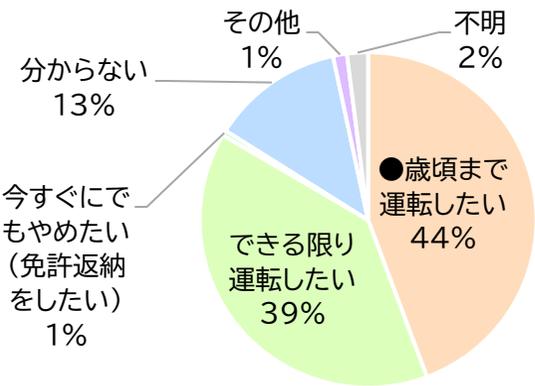
【日明】大潤町・泊町・尾山町・田沢町・伏木戸町

【北部】柳崎町・水堀町・五厘沢町・越前町・中網町・小黒部町・朝日町・鯨川町

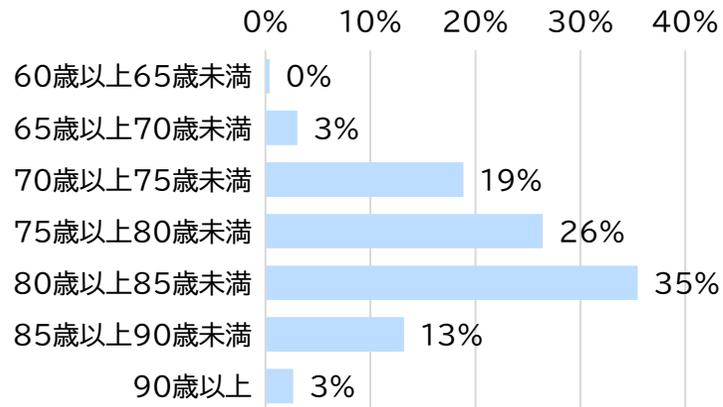


### 3. 調査結果詳細 (3-1 回答者属性)

#### 問5 自動車の運転意向 (n=598)



#### ●歳まで運転したい内訳 (n=265)



#### 「今すぐにもやめたい (免許返納をしたい)」の回答者

##### 返納したい理由、すぐに返納できない理由

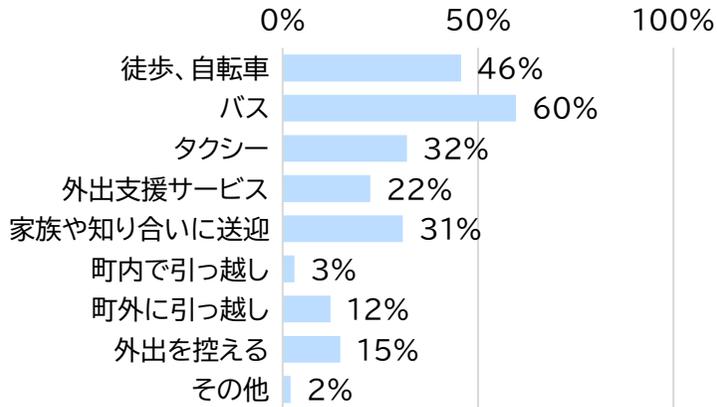
- ・タクシー不足。バスが不便。事故などの他人への迷惑等を考えると、そのようなことが無い内に
- ・病院までの通院。食料品等の買い物
- ・年令。事故を起こしてからでは間に合わないの



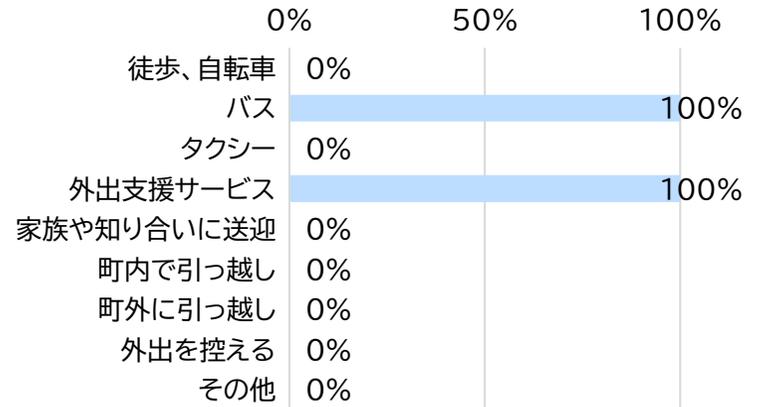
### 3. 調査結果詳細 (3-1 回答者属性)

#### 問6 運転困難時の移動手段【年齢別】

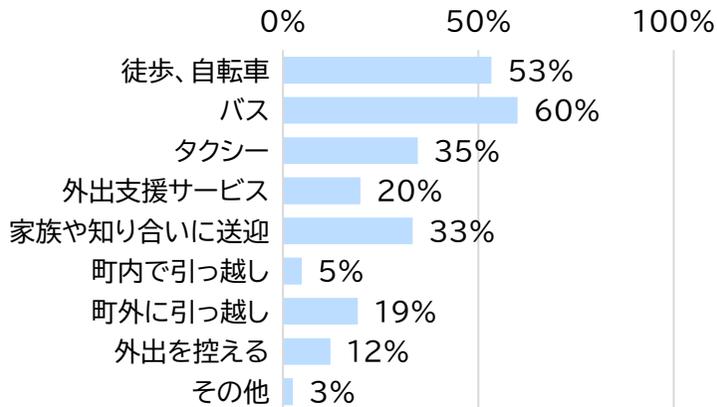
全体 (n=598)



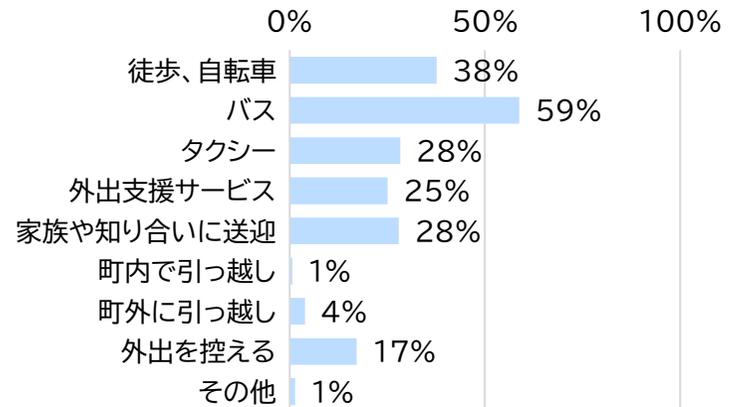
15~19歳 (n=1)



20~64歳 (n=313)



65歳以上 (n=279)



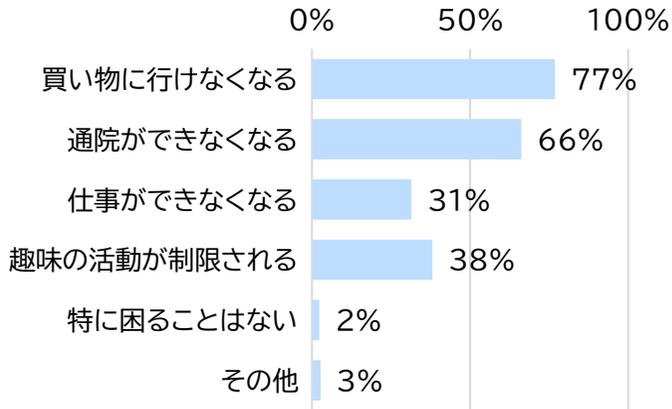


### 3. 調査結果詳細 (3-1 回答者属性)

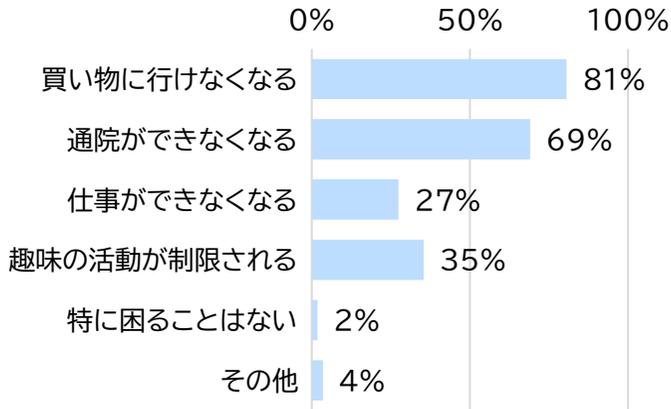
#### 問7 免許返納により困ること【地区別】

※地区別の集計については、「五勝手・上町・下町・日明・北部」の5地区で集計

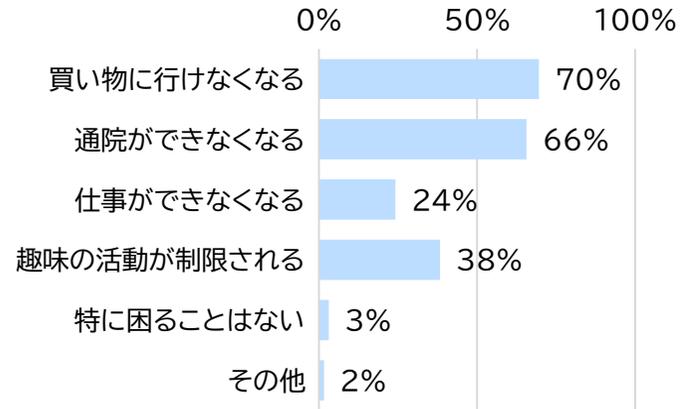
全体 (n=598)



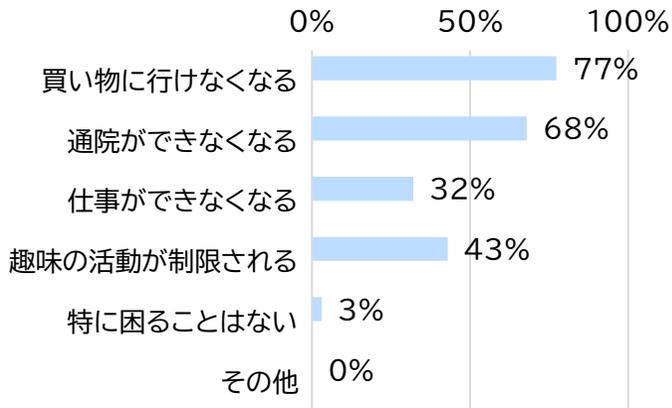
五勝手 (n=113)



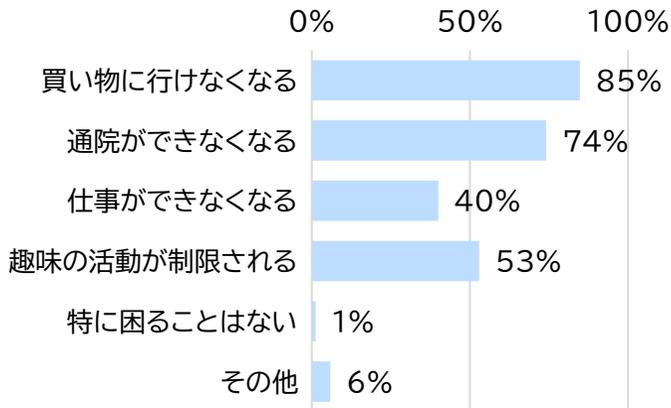
上町 (n=128)



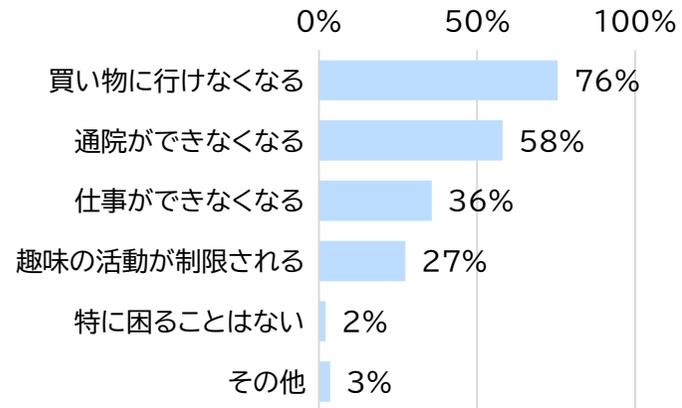
下町 (n=128)



日明 (n=85)



北部 (n=143)

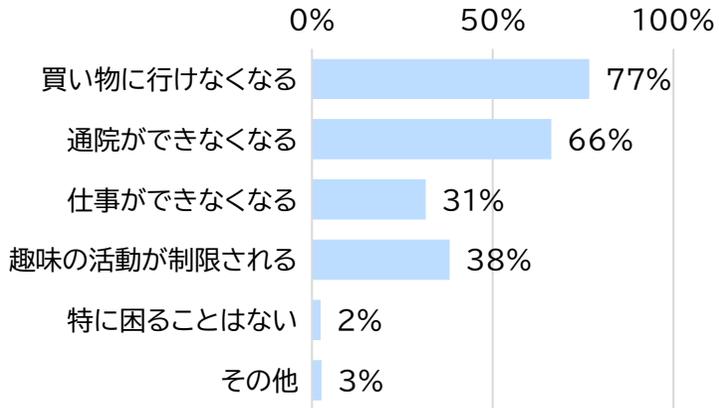




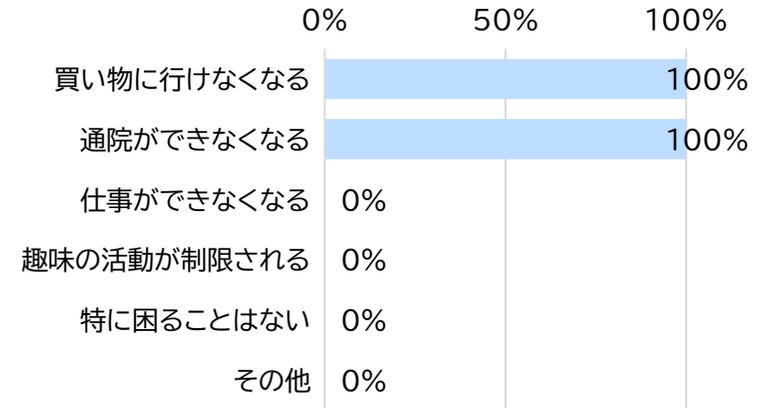
### 3. 調査結果詳細 (3-1 回答者属性)

#### 問7 免許返納により困ること【年齢別】

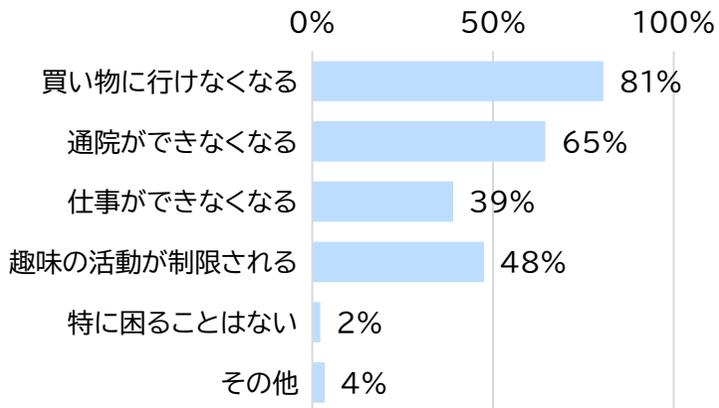
全体 (n=598)



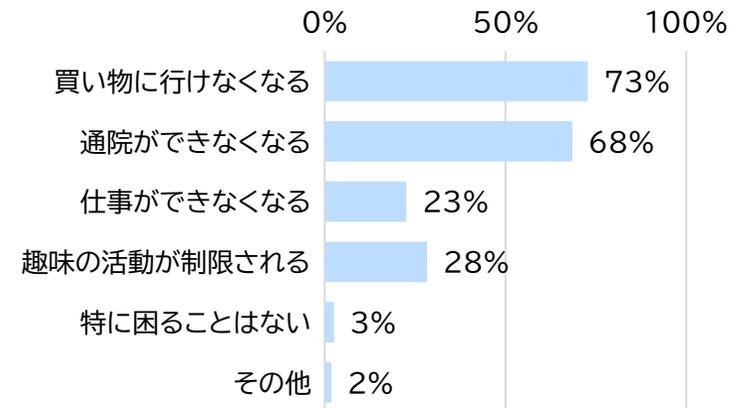
15~19歳 (n=1)



20~64歳 (n=313)



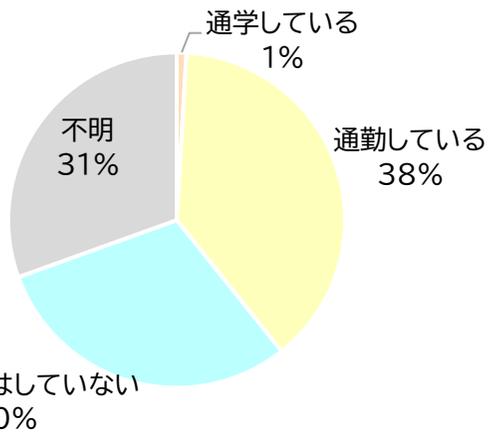
65歳以上 (n=279)



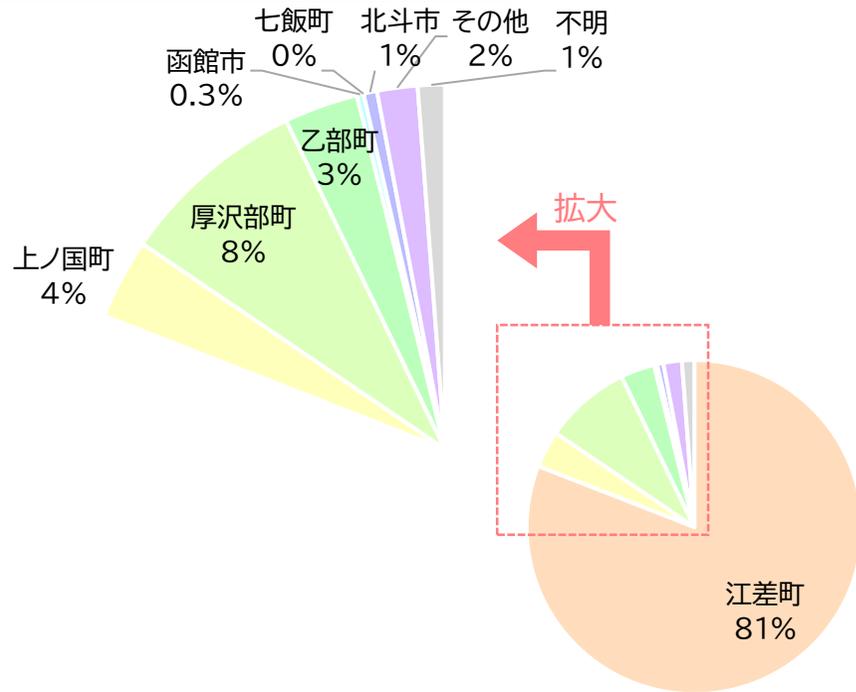


### 3. 調査結果詳細 (3-2 生活状況-①通勤・通学)

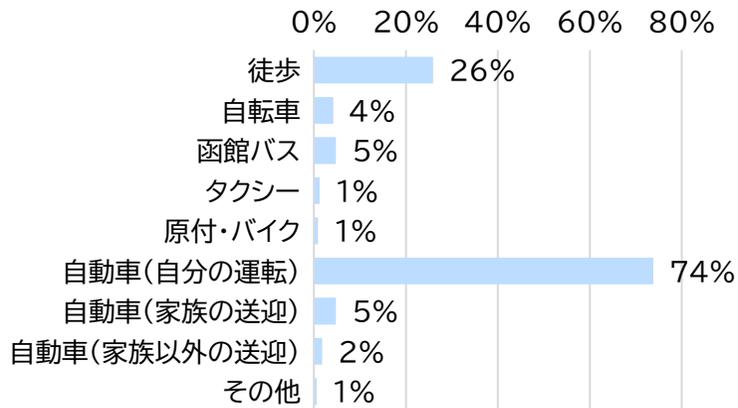
問8① 通学・通勤 (n=855)



問8② 通学先、通勤先 (n=336)



問8③ 通学・通勤時の交通手段 (n=336)



#### 通学先の高校名

・江差高校

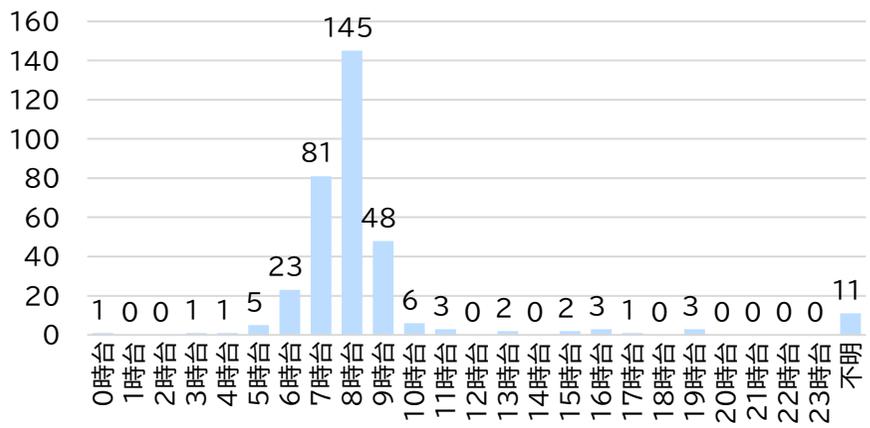
#### 通勤先の地区

中歌町 19 / 姥神町 17 / 陣屋町 15 / 伏木戸 12 / 本町 9 / 水堀町 8 など

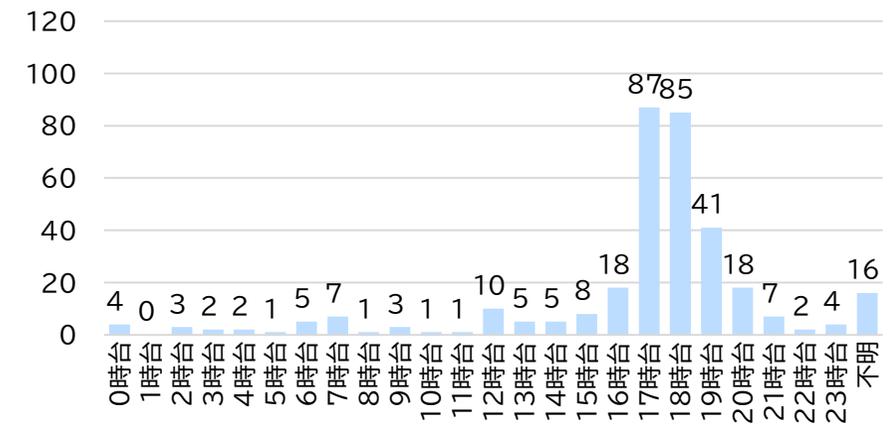


### 3. 調査結果詳細 (3-2 生活状況-①通勤・通学)

問8④ 通学・通勤先に到着する時間帯 (n=336)



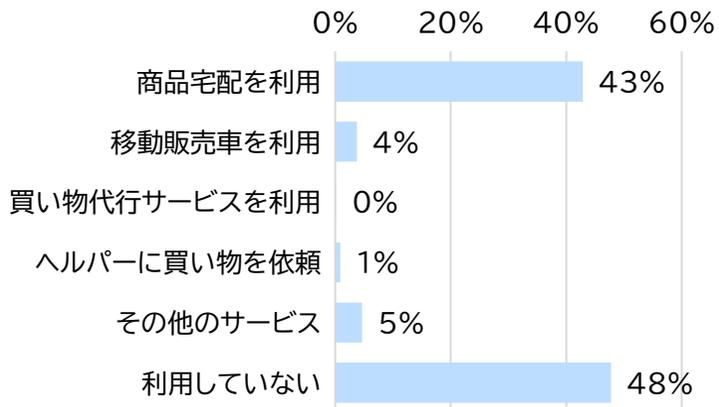
問8⑤ 通学・通勤先から帰宅する時間帯 (n=336)



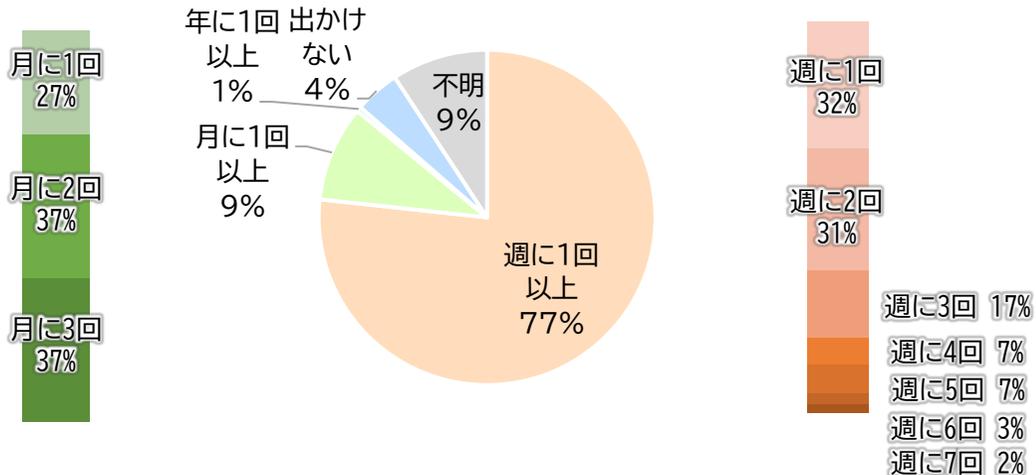
### 3. 調査結果詳細 (3-2 生活状況-②買い物)



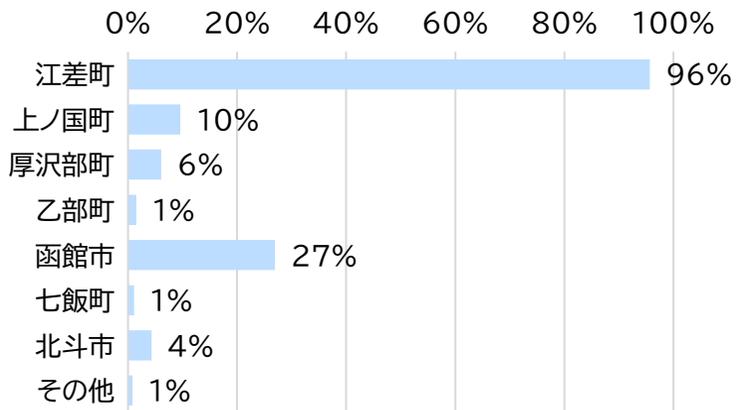
問9① 商品宅配等の利用状況 (n=855)



問9② 買い物に行く頻度 (n=855)



問9③ よく行く買い物先 (n=739)



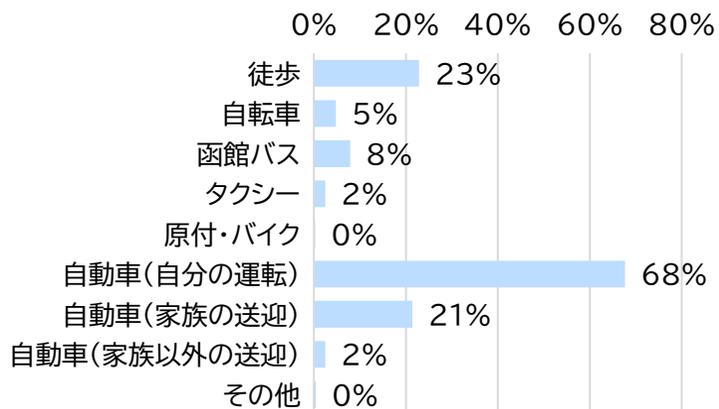
よく行く買い物先 (具体的な店名)

ラルズマート 363 / ブンテン 358 / サツドラ 181 / イエローグローブ 98 / ツルハ 82 / ホーマック 63 / 小林商店 41 / イオン 40 / セイコーマート 39 など

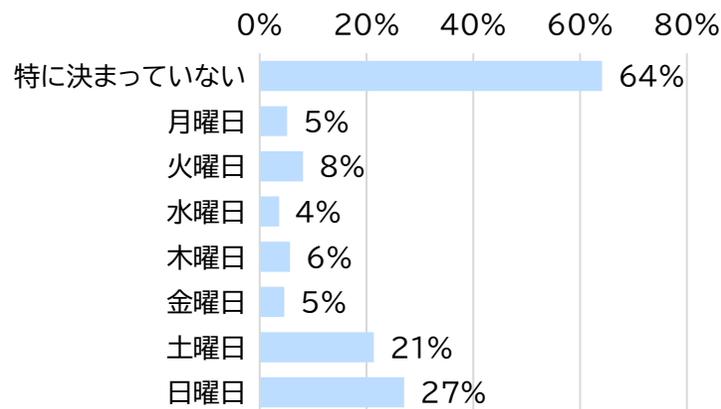


### 3. 調査結果詳細 (3-2 生活状況-②買い物)

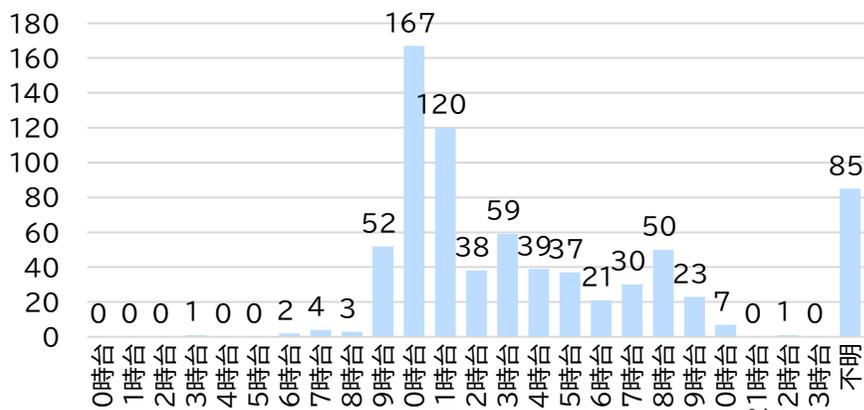
#### 問9④ 買い物時の交通手段 (n=739)



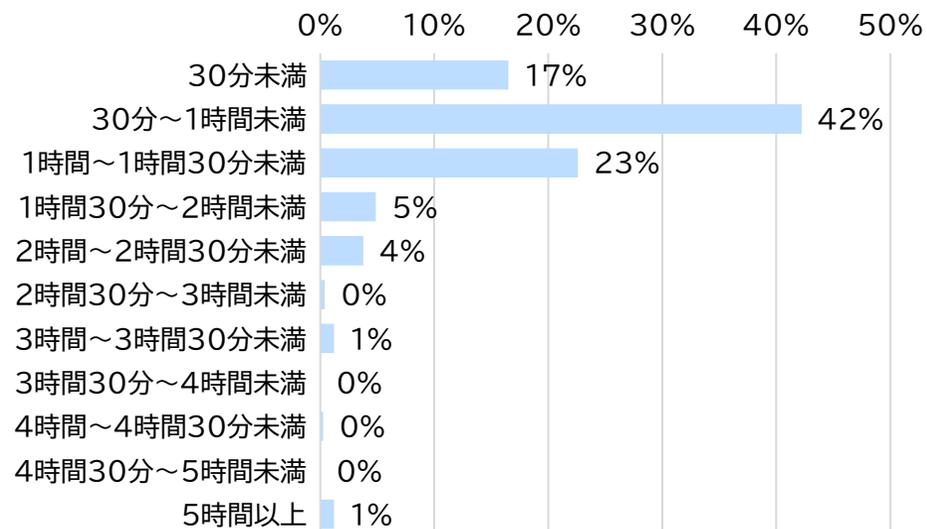
#### 問9⑤ よく出かける曜日 (n=739)



#### 問9⑥ 買い物先に到着する時間帯 (n=739)



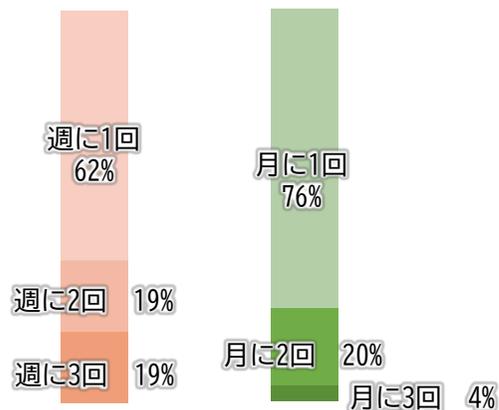
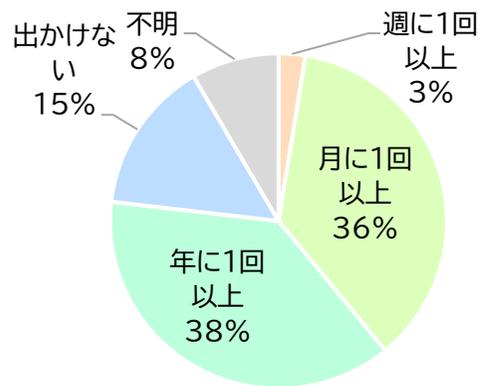
#### 問9⑦ 買い物先での滞在時間 (n=739)



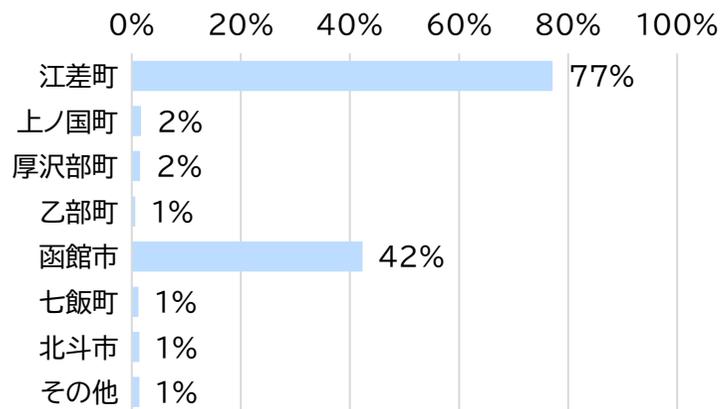


### 3. 調査結果詳細 (3-2 生活状況-③通院)

問10① 病院に行く頻度 (n=855)



問10② よく行く通院先 (n=657)



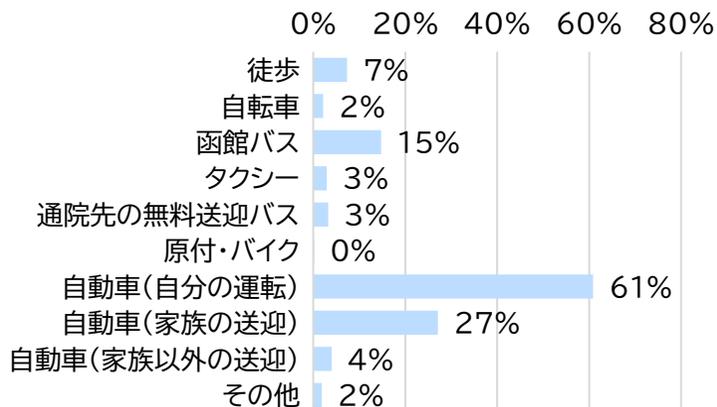
#### よく行く通院先 (具体的な病院名)

道立江差病院 265 / 道南勤医病院 67 / 佐々木病院 48 / 五稜郭病院 30 / 市立函館病院 28 / 函館中央病院 26 / 江差脳神経外科クリニック 22 など

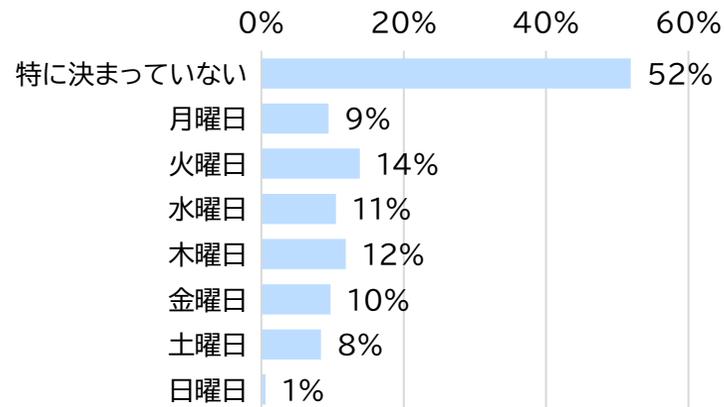
### 3. 調査結果詳細 (3-2 生活状況-③通院)



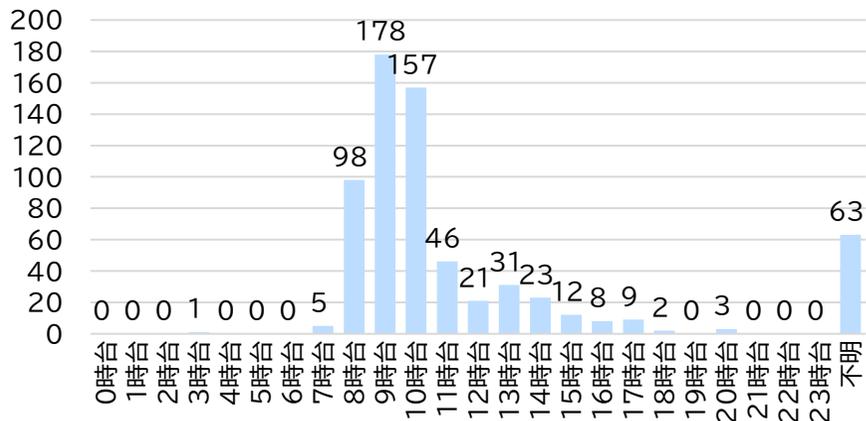
問10③ 病院に行く際の交通手段 (n=657)



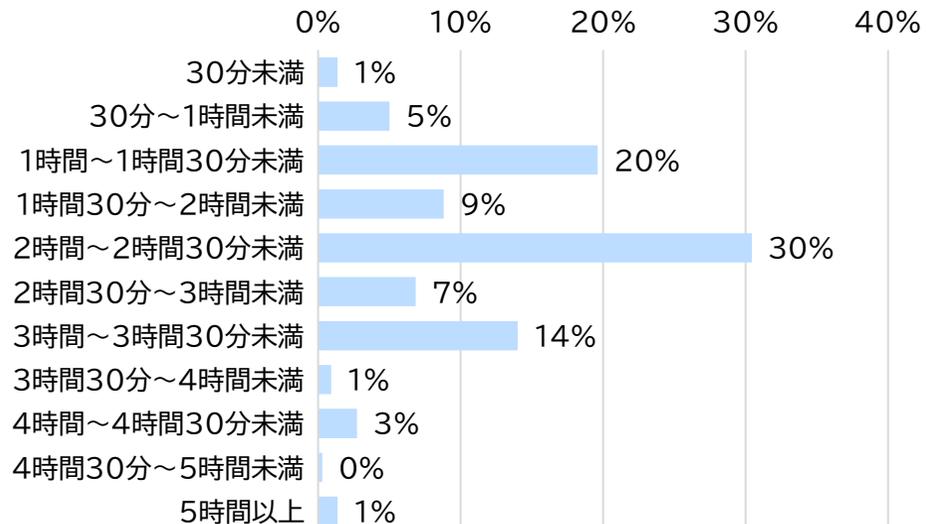
問10④ よく通院する病院 (n=657)



問10⑤ 通院先に到着する時間帯 (n=657)



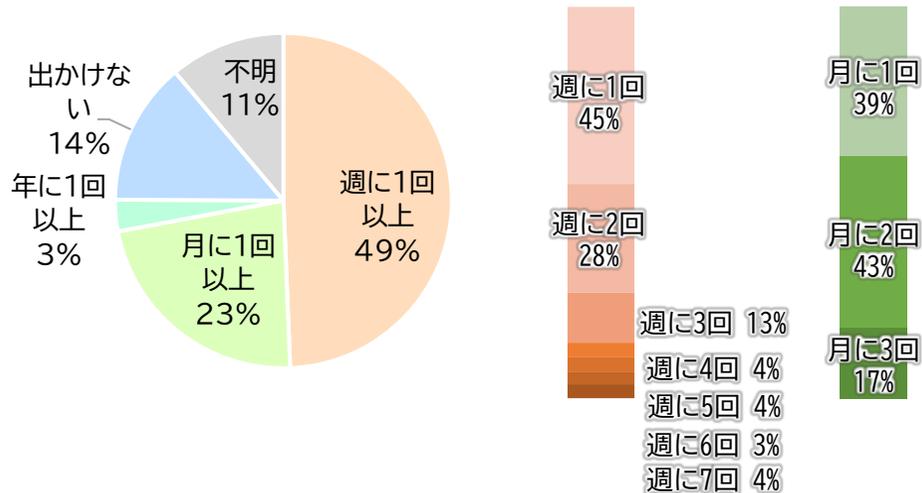
問10⑥ 通院先での滞在時間 (n=657)



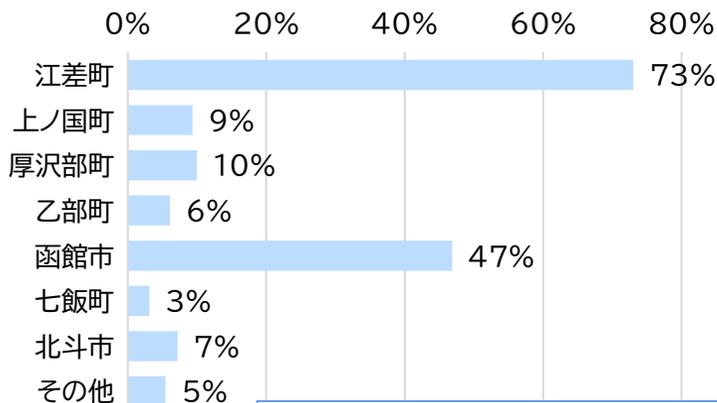


### 3. 調査結果詳細 (3-2 生活状況-④私用)

問11① 私用などに行く頻度 (n=855)



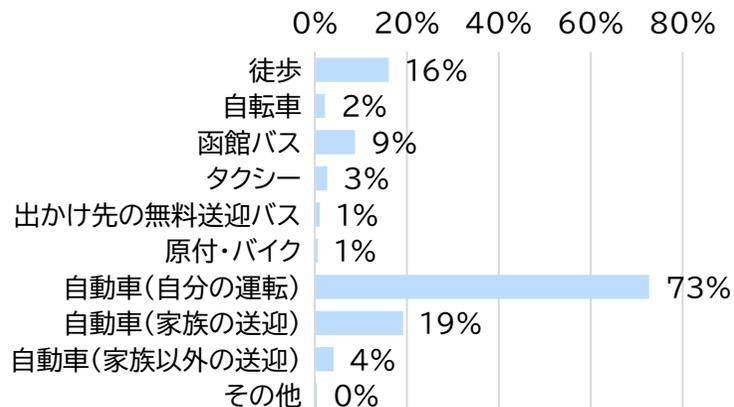
問11② よく行く出かけ先 (n=642)



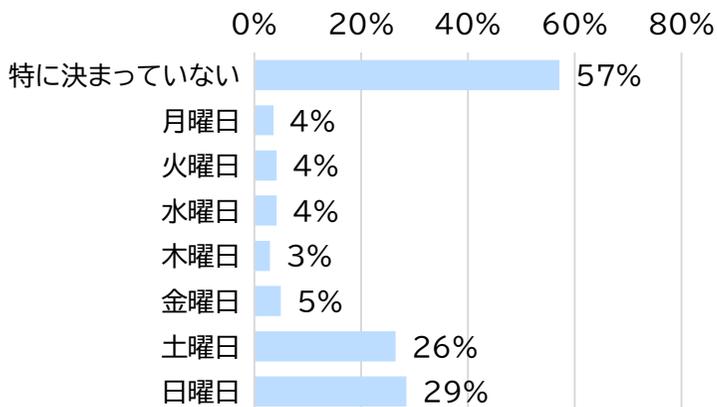
よく行く出かけ先 (具体的な出かけ先)

ブンテン 30 / ラルズマート 24 /  
 サツドラ 20 / 銀行 18 / イエロー  
 グローブ 16 / 郵便局 16 など

問11③ 私用などに行く際の交通手段 (n=642)



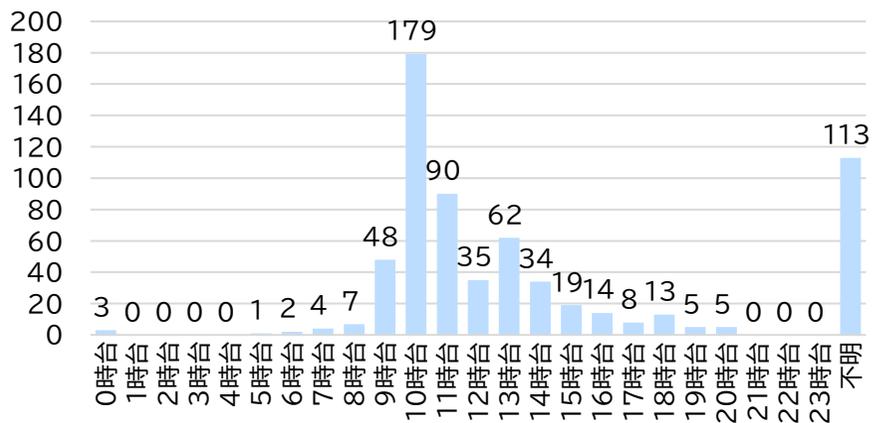
問10④ よく出かける曜日 (n=642)



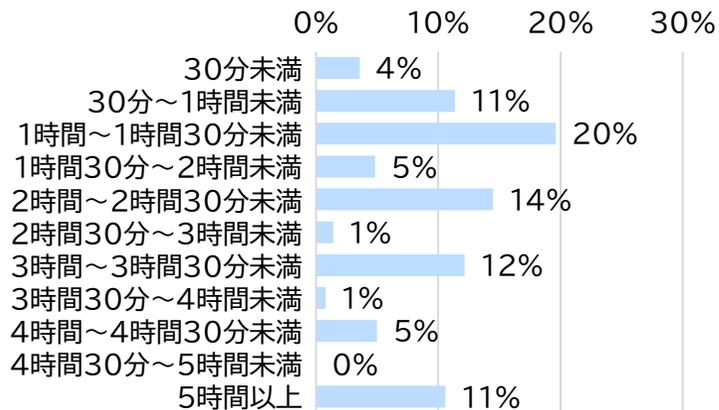


### 3. 調査結果詳細 (3-2 生活状況-④私用)

#### 問11⑤ 出かけ先に到着する時間帯 (n=642)



#### 問11⑥ 出かけ先での滞在時間 (n=642)

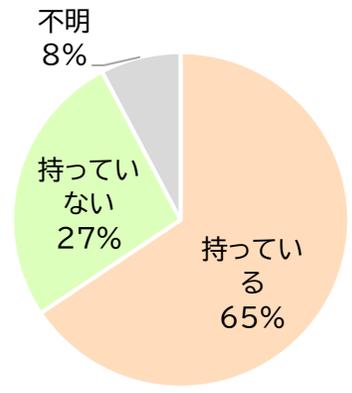




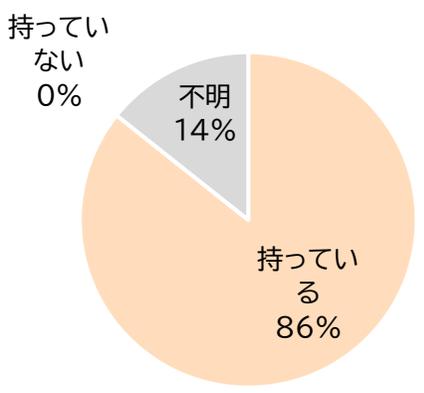
### 3. 調査結果詳細 (3-3 携帯端末の保有・利用用途)

#### 問12 携帯端末の所持【年齢別】

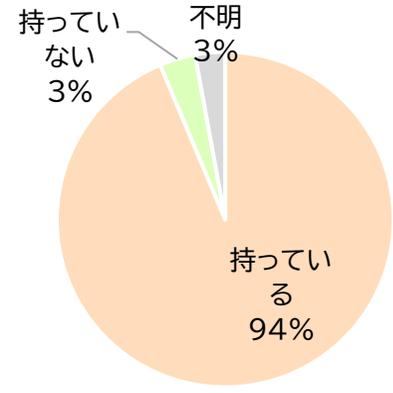
全体 (n=855)



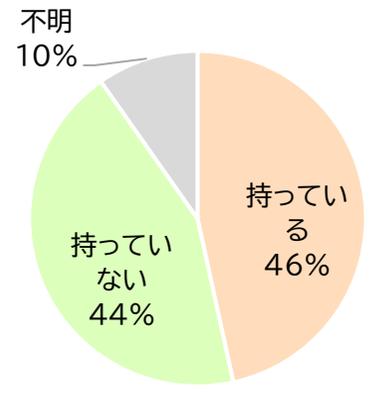
15~19歳 (n=7)



20~64歳 (n=349)



65歳以上 (n=483)

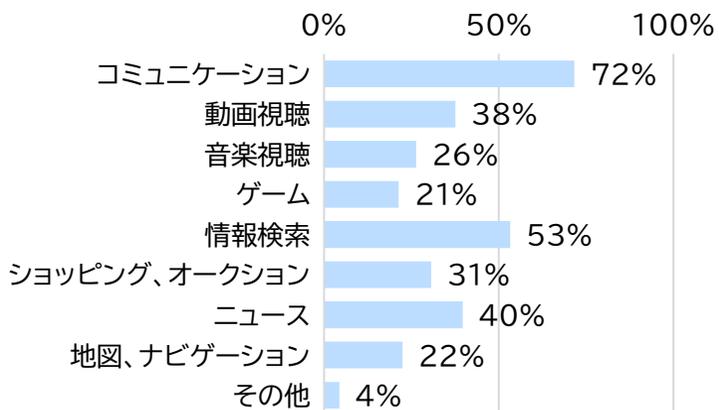




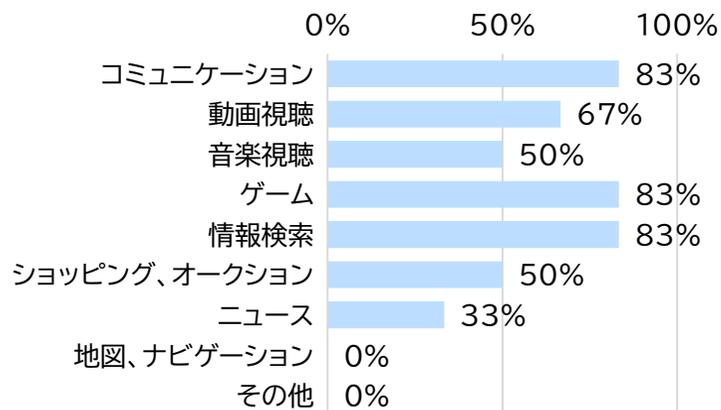
### 3. 調査結果詳細 (3-3 携帯端末の保有・利用用途)

#### 問13 インターネットの利用用途【年齢別】

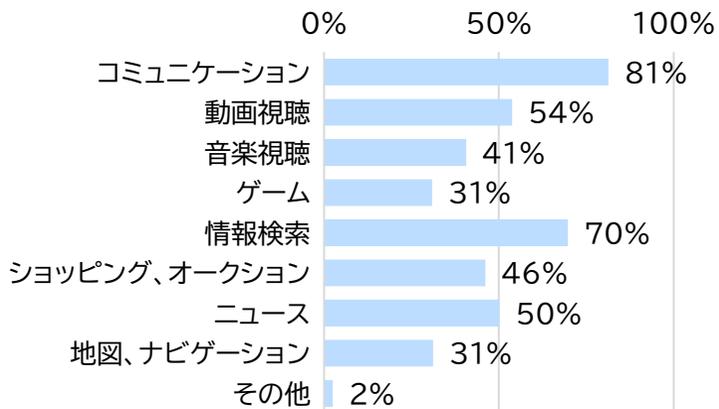
全体 (n=561)



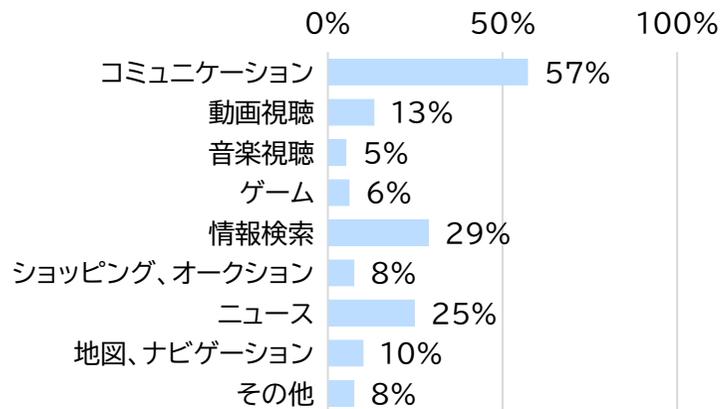
15~19歳 (n=6)



20~64歳 (n=327)



65歳以上 (n=225)



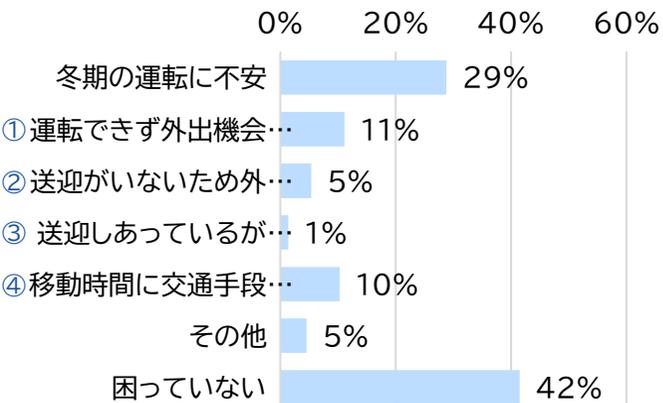


### 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)

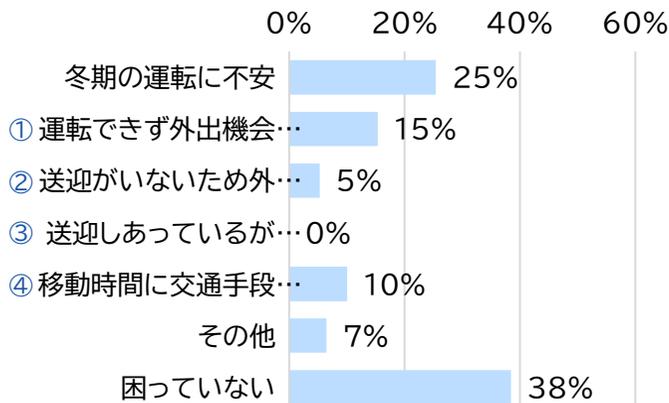
#### 問14 移動で困っていること【地区別】

※地区別の集計については、「五勝手・上町・下町・日明・北部」の5地区で集計

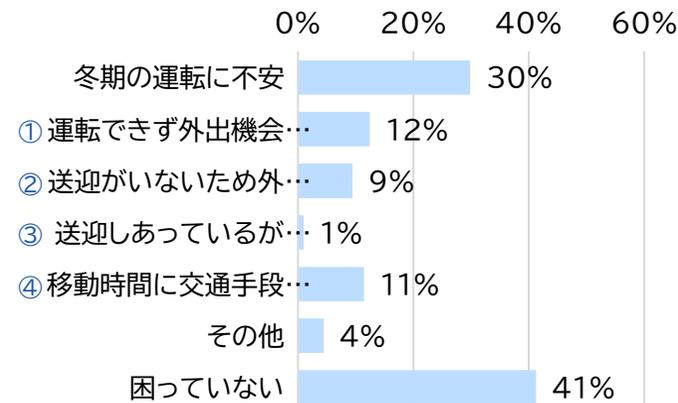
##### 全体 (n=855)



##### 五勝手 (n=169)

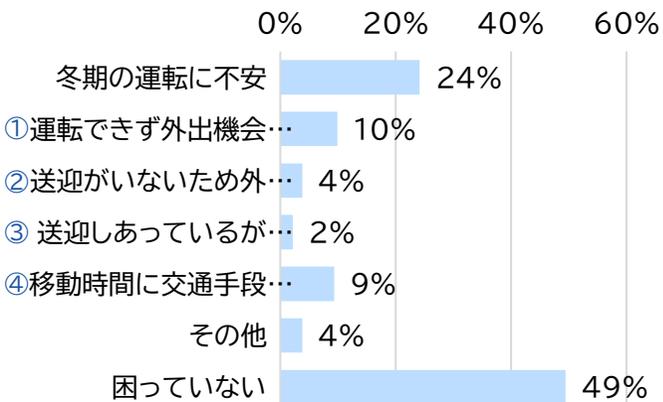


##### 上町 (n=201)

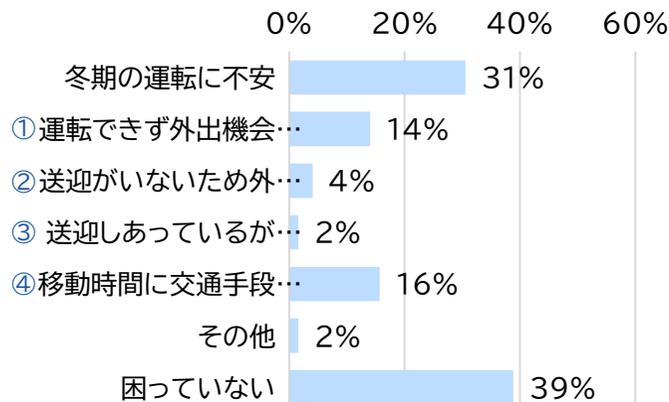


① 運転できず外出機会が制限    ② 送迎がないため外出機会が制限    ③ 送迎しあっているが事故などが不安    ④ 移動時間に交通手段がない

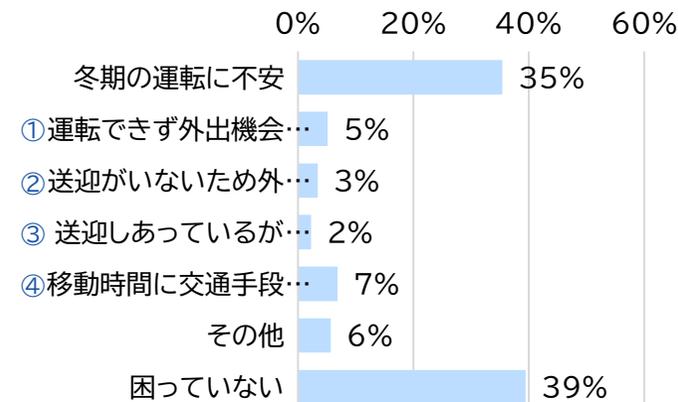
##### 下町 (n=182)



##### 日明 (n=121)



##### 北部 (n=175)



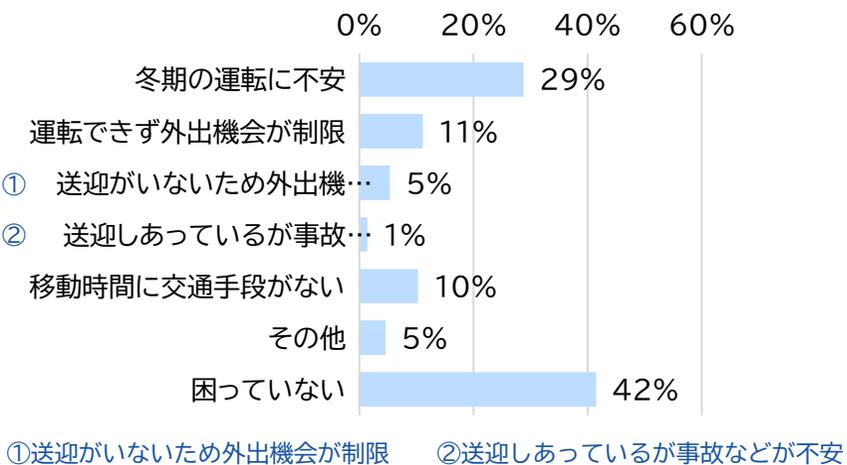
① 運転できず外出機会が制限    ② 送迎がないため外出機会が制限    ③ 送迎しあっているが事故などが不安    ④ 移動時間に交通手段がない

### 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)

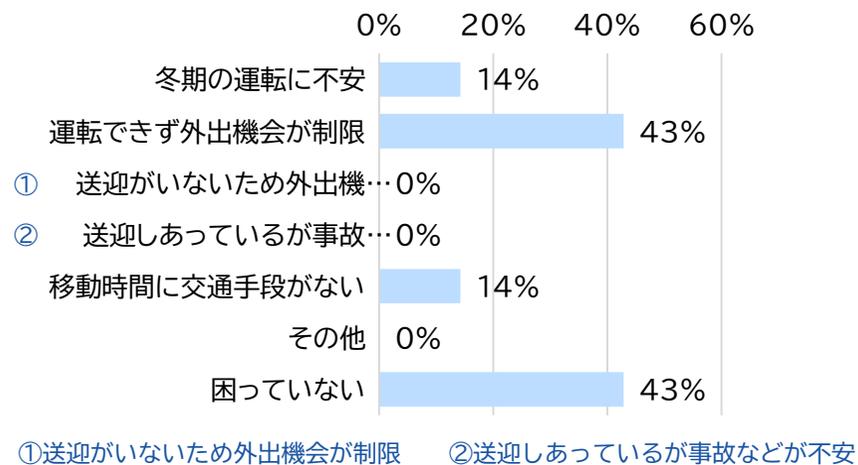


#### 問14 移動で困っていること【年齢別】

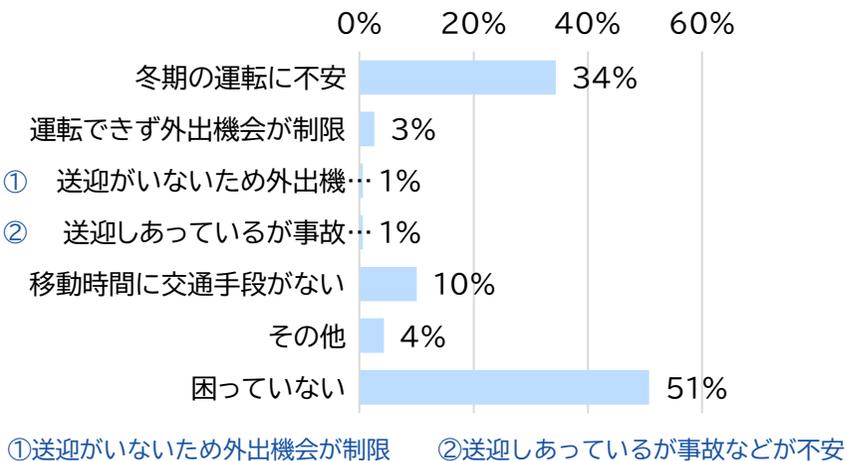
##### 全体 (n=855)



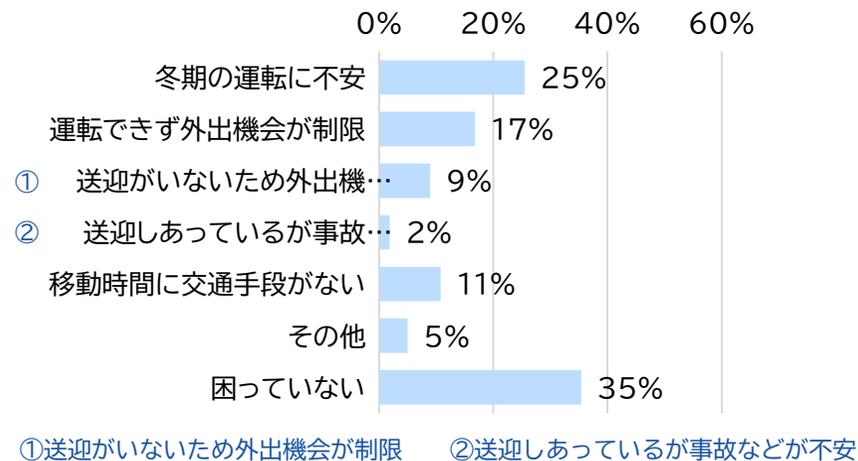
##### 15~19歳 (n=7)



##### 20~64歳 (n=349)



##### 65歳以上 (n=483)





### 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)

#### 問14 移動で困っていること【その他意見】

##### バスについて

- ・バスの回数が少ない
- ・バスの時間が空きすぎて不便
- ・バスの本数が少ない
- ・バスの時間帯が少ない
- ・バスの数が足りないと思います。役場や買い物等
- ・函館に行き来するバスの本数が少ない

##### タクシーについて

- ・タクシーが夜中に走らない。何かあったら不安
- ・タクシーの利用多し

##### 送迎について

- ・配偶者に送迎してもらおう
- ・娘が運転するので、いない時は不便
- ・家族への負担

##### 冬道、除雪について

- ・朝の除雪を早くして欲しい
- ・坂が多いのにロードヒーティングが少ない
- ・駐車場出入り口に積み上げられた除雪の雪に困っている
- ・冬期は道路状況が悪く、徒歩も難しくなり、外出回数が減少する
- ・冬の歩道の整備
- ・歩道が除雪されていなく歩きづらい
- ・ラッセル車除雪後
- ・小中学生の交通手段（特に冬）

- ・渡島中山峠が吹雪くと見通しが悪いので、該当などが、もっとある  
といいなと思う
- ・冬場の函館までの運転
- ・道路が滑るので心配
- ・道路の除雪が来ていない時間に外出すること

##### 移動困難

- ・足が悪いので近くの所でなければ出れない
- ・年末に骨折し、退院後リハビリ中、今後全てにおいて不安である
- ・函館等の長距離移動
- ・親が買い物の交通手段がない

##### その他

- ・移動販売車で週1回だけ買い物する
- ・今のところ自家用車で自分の運転で、家族同伴で移動しているので  
特に困ったことはない
- ・介護施設入所者のため、日常的に移動はない
- ・ガソリンが高い
- ・ガソリン代が高い（車の維持費等も）
- ・免許返納後の事が心配
- ・介護利用
- ・現在は自分で運転しています
- ・入所中の為、出かけられない
- ・波が車に被るので、江差や上ノ国に行きたくない

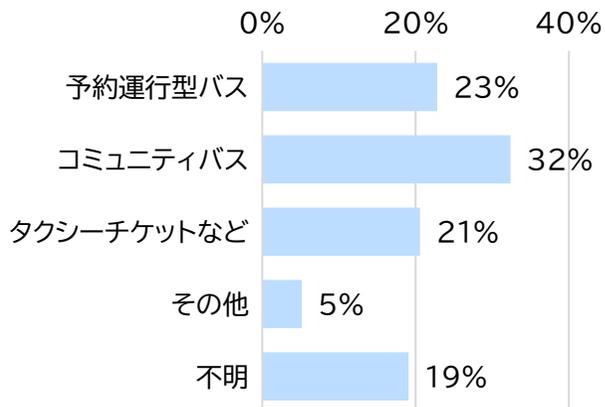


### 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)

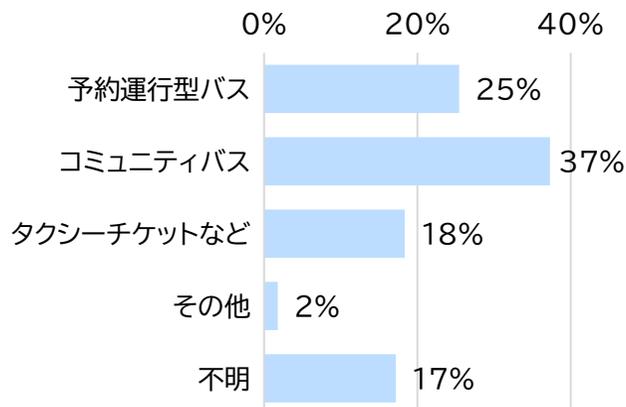
#### 問15 新たに運行してほしい交通サービス【地区別】

※地区別の集計については、「五勝手・上町・下町・日明・北部」の5地区で集計

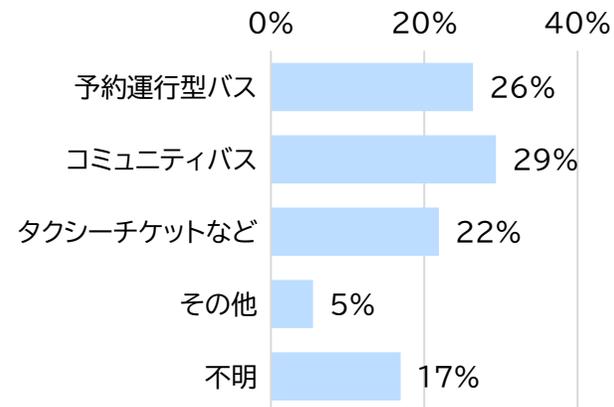
全体 (n=855)



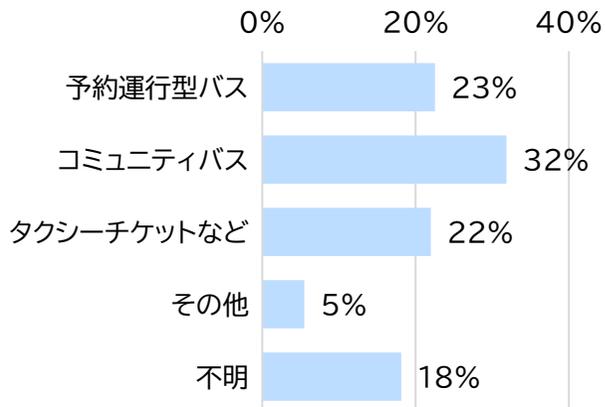
五勝手 (n=169)



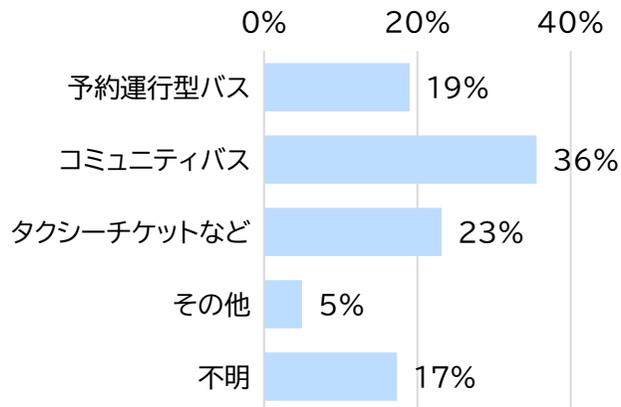
上町 (n=201)



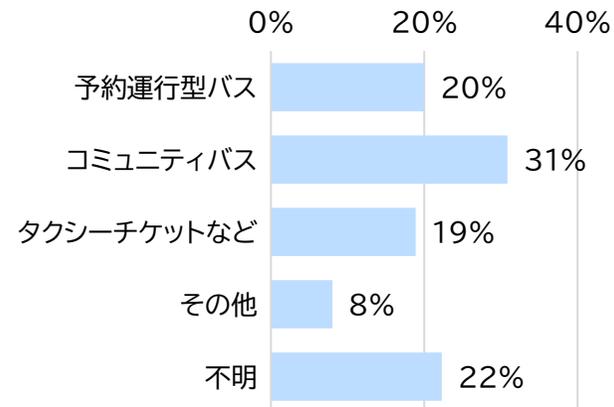
下町 (n=182)



日明 (n=121)



北部 (n=175)

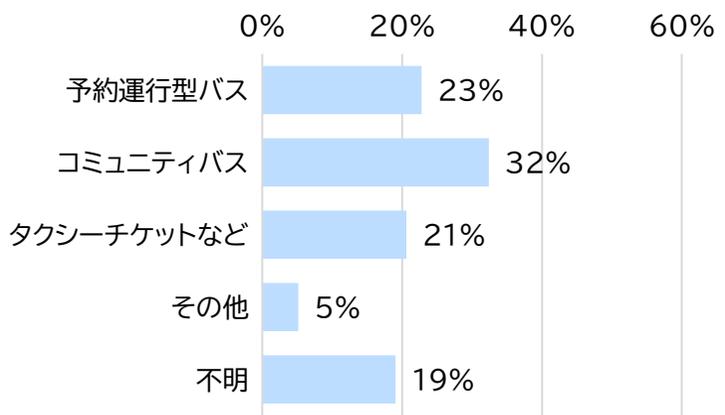




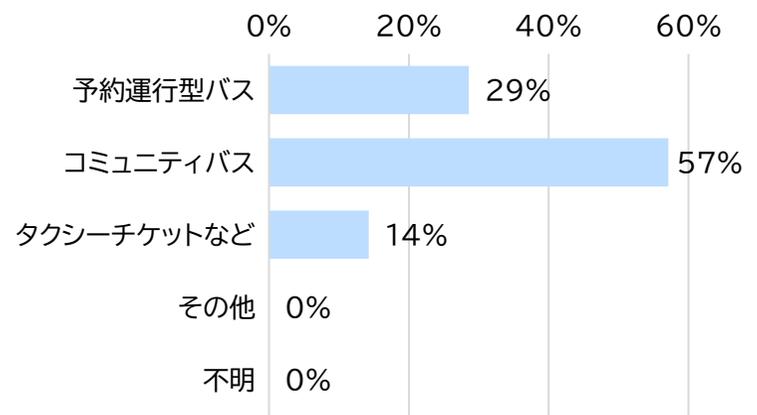
### 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)

#### 問15 新たに運行してほしい交通サービス【年齢別】

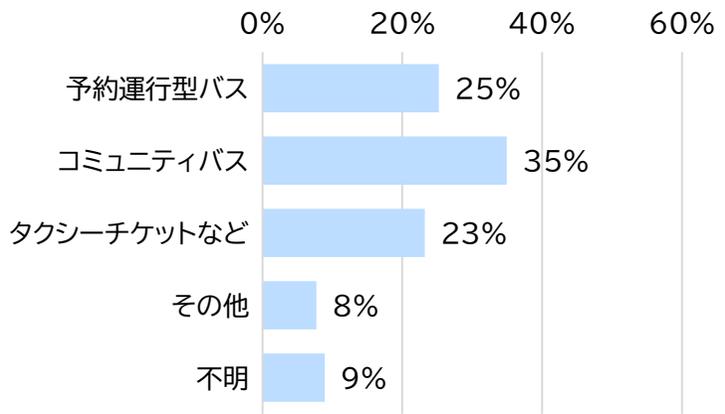
全体 (n=855)



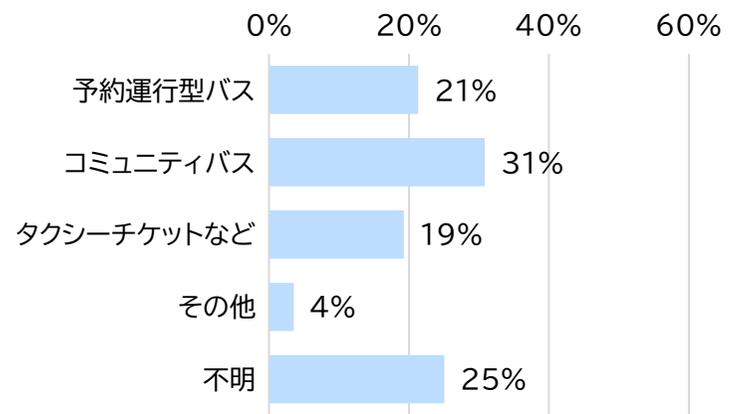
15~19歳 (n=7)



20~64歳 (n=349)



65歳以上 (n=483)





### 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)

#### 問15 新たに運行してほしい交通サービス【その他】

##### バス-増便・利便性向上など

- ・JRや持続可能な都市間バスを増やしてほしい
- ・バス停を少し多くしてほしい
- ・バスとJRの乗り継ぎ時間を見直して欲しい

##### バス-都市間

- ・都市間バス（江差～札幌）
- ・札幌行き的高速バス等があれば嬉しい

##### バス-その他

- ・日にちを決めて地域の人たちと共同でスーパー等の往復バス

##### タクシー

- ・代行
- ・タクシーが24時間あって欲しい
- ・函館までのタクシーの割引

##### デリバリー、移動販売

- ・ウーバーイーツ
- ・移動販売

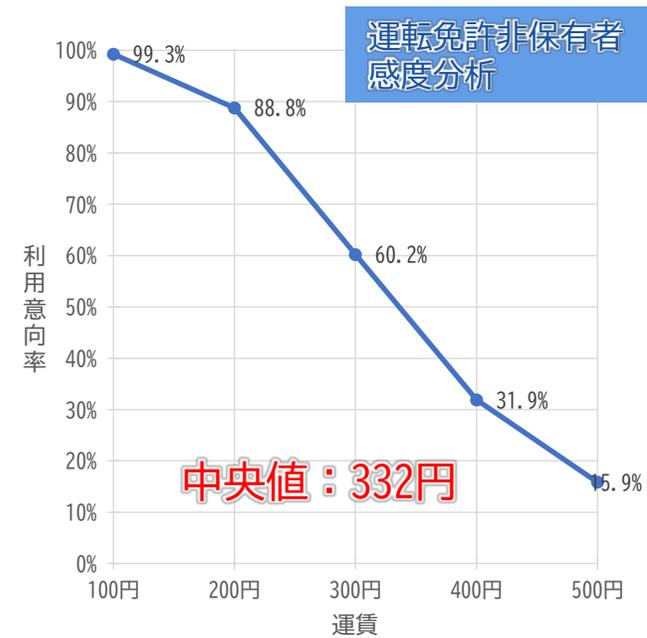
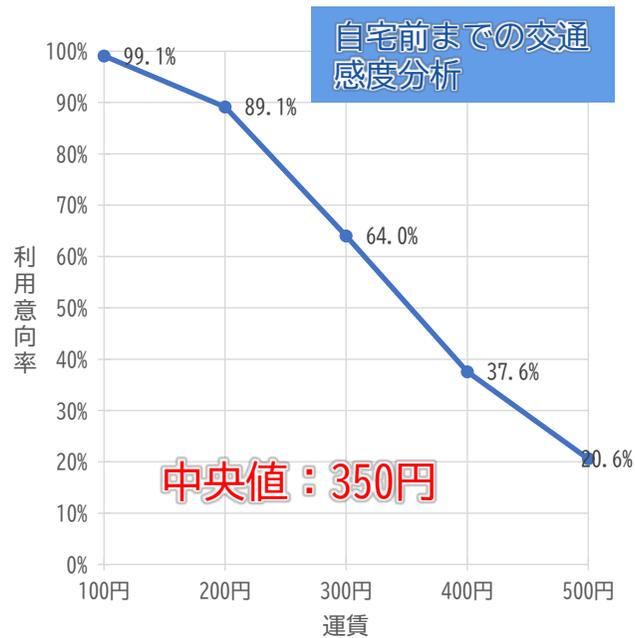
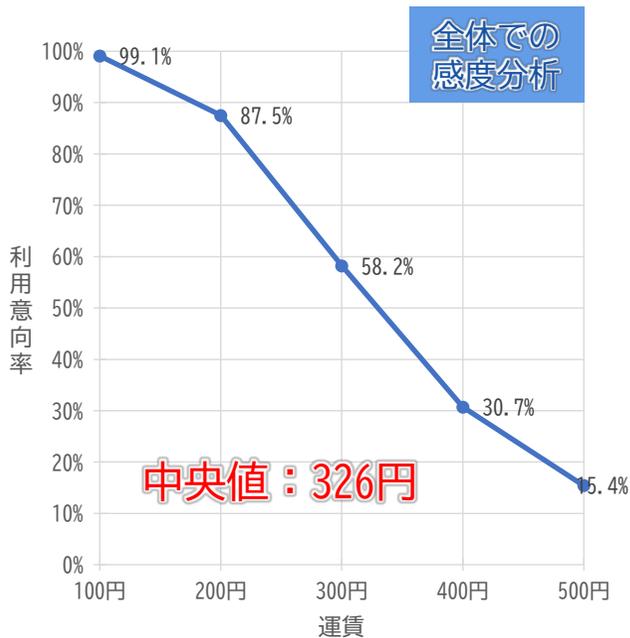
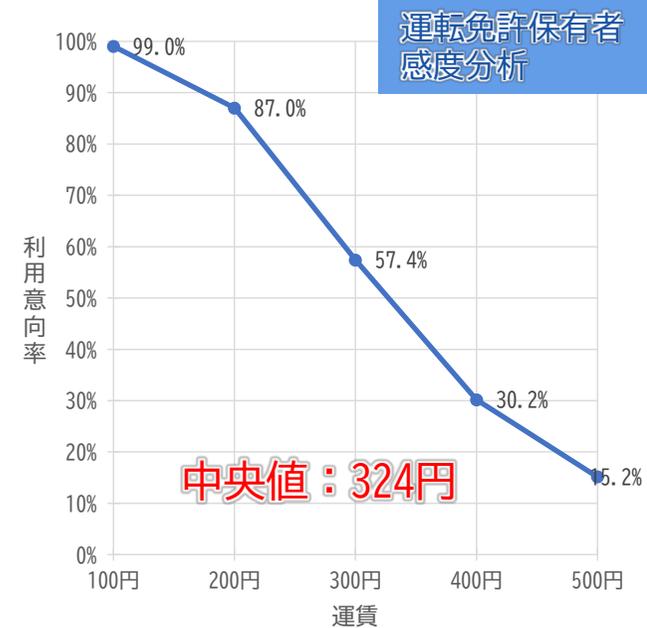
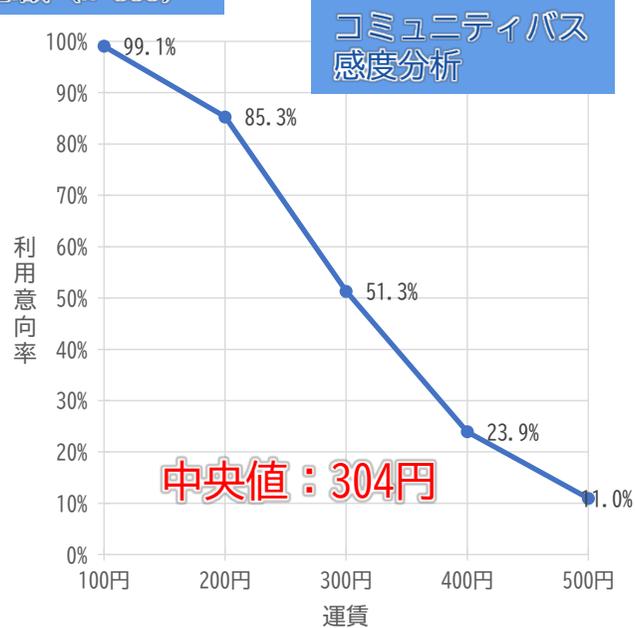
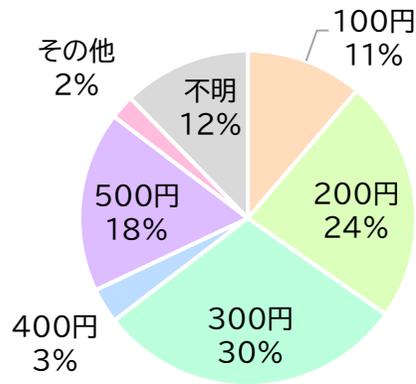
##### その他

- ・Maasを実現し、サブスクリプション的な利用を可能にする
- ・介護・障害等福祉関係の交通の割引
- ・家族が面倒を見てくれるため無し
- ・現役で働いている間は不要
- ・市中に店舗施設等の導入
- ・介護を利用している
- ・街灯などの整備

# 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)



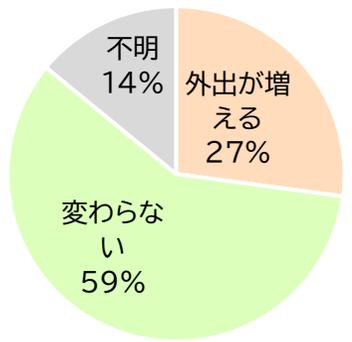
## 問16 運行してほしい交通の導入時の支払い意思額 (n=855)



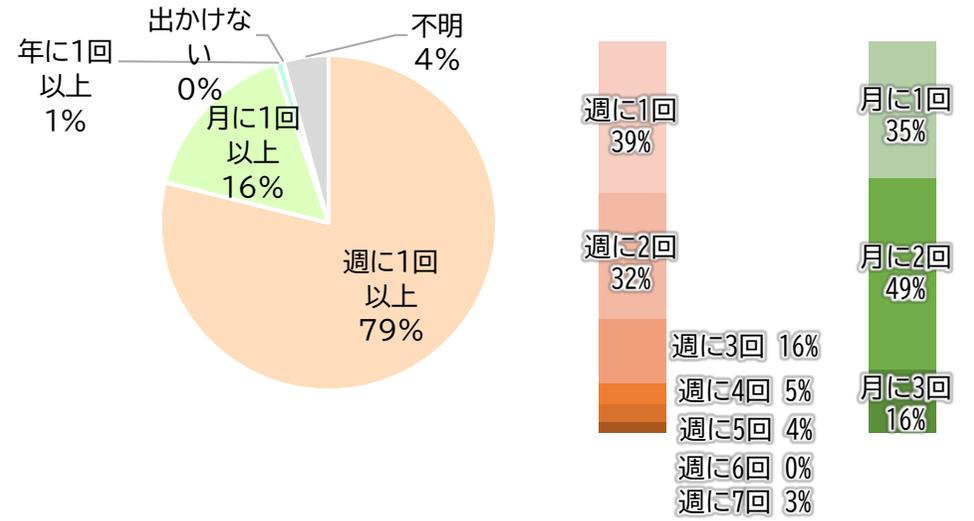


### 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)

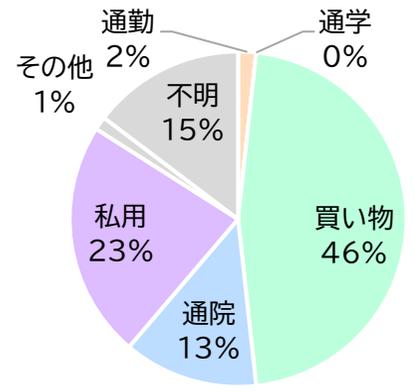
問17 運行してほしい交通の導入時の外出機会 (n=855)



問18 運行してほしい交通の導入時の想定外出回数 (n=232)



問19 運行してほしい交通の導入時の想定される利用目的 (n=232)

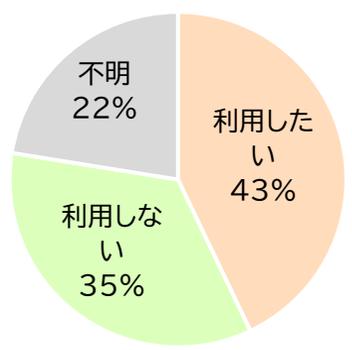




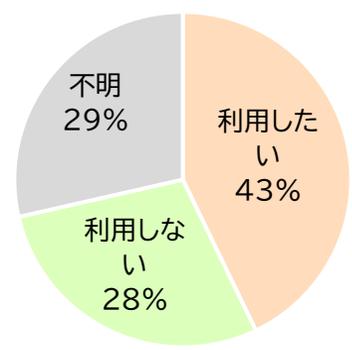
### 3. 調査結果詳細 (3-4 公共交通に対するニーズ)

#### 問20 携帯端末での運行情報・予約サービスの運用【年齢別】

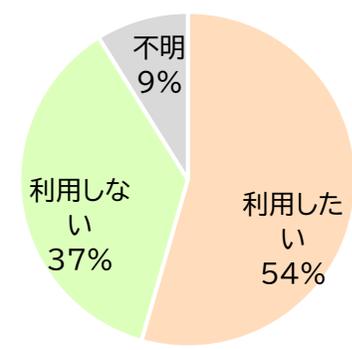
全体 (n=855)



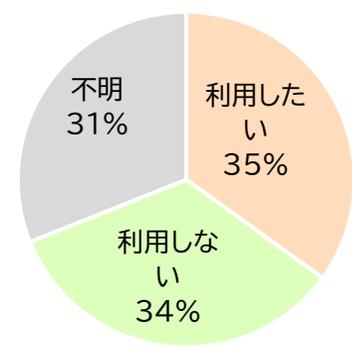
15~19歳 (n=7)



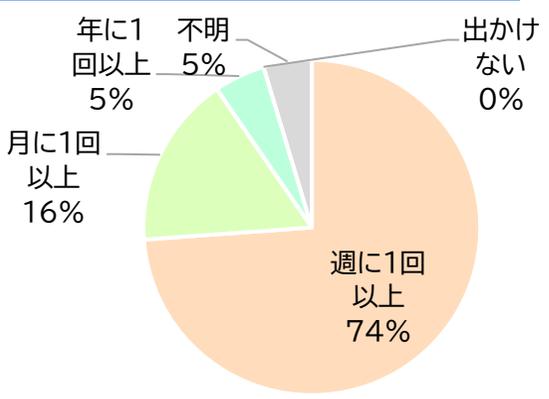
20~64歳 (n=349)



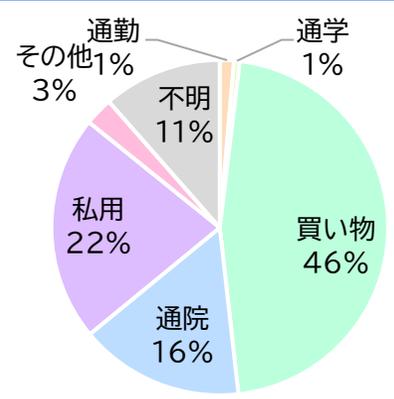
65歳以上 (n=483)



#### 問21 運行情報・予約サービスの運用時の外出機会 (n=367)



#### 問22 運行情報・予約サービスの運用時の想定される利用目的 (n=367)





### 3. 調査結果詳細 (3-5 その他自由記述)

#### バスについて

##### バスの運行、料金

- ・バス運行は費用が掛かるので、ハイエース等の大型ワンボックスカーを利用する。
- ・バスの利用者が日常化できる運行・料金・支援等。バスの利用ができないエリアや時間帯の共助の仕組み（規制緩和、住民による乗り合い）。町職員の通勤利用の徹底（本気で）。
- ・沿線自治体と連携し、函館バスの拡充をすることで対応可能と思います。バスの小型化と運行頻度の倍増、それに伴う人員増・人件費の補填、定住化に向けた施策など。
- ・皆が端末を持っているとは限らない。いつでも定期的に運行している事と住民に周知することで、助かる高齢者もいると思う。住民目線で町づくりをお願いします。
- ・交通系ICカードニモカをもっと町民にアピールなどし、江差町民にポイントを利用してバスを利用してもらえるように、還元を考えると良いと思います。例えば、江差高校までの通学にニモカを利用して、町で半分定期代を負担するとか、免許返納者には、ニモカを持ってもらい町内の移動のみ100円にするとか、どんな形で町民に利用してもらえるかは、賛否色々有ると思いますが、そんな感じで町民に公共の乗り物を理解してもらえるとと思います。
- ・松前町の様に均一（¥100）を走らせてほしい。
- ・JRや持続可能な都市間バスを増やしてほしい
- ・バスとJRの乗り継ぎ時間を見直して欲しい

##### 運行ルート

- ・海岸町においては、交通（バス亭などが無い、通らない）為、ほとんど徒歩である（30分～60分）。
- ・決まった時間で、細かいルート（柳崎、伏木戸方面も）巡回。しかも運賃が『無料』なら、利用者が増えると思います。
- ・将来的に柳崎地区に商店が多くなったら不便になると思う。道立病

院を柳崎方面へ移転した事が陳地、本町、愛宕町商店街の裏返しに影響していると思う。

- ・豊川町在住の友人が、函館バスが通らなくなり不便と言っている。交渉していただきたい。
- ・バスの本数が少ないので、買い物がとても不便（特に冬場）。スーパーへのバスが欲しい。ラルズ江差店、柳崎方面（ブンテン、ホームックあたり）へのバスがあると買い物が助かる。親も免許がない為、現在苦勞しています。
- ・ホームックやブンテン等に行きたいのですが、その方面にバスが行かず不便に感じています。
- ・松崎のパークゴルフ場にも巡回する運行をしてほしい。
- ・郡部にも、もっと利便性を。
- ・交通空白地域などへのきめ細かい交通網を確保するなど、高齢化社会に備した対策が必要と考えます。高齢の方にとっては、ありがたく待ち望んでいる事だと感じます。
- ・高齢者には必要ないかもしれないが、札幌や函館等、主要都市への高速バスがあると便利かもしれませんね。また、電気自動車の地域シェアがあると便利かも。
- ・巡回バス等が運行したとしても、自宅から乗り場までの距離が遠い方は、結局利用することが難しくなってしまうと思います。曜日ごとに回る地域を変えるなどして、どの方も利用しやすい公共交通機関の運行をしていただくと、生活がもっと便利になると思います。いつも地域のために尽力してくださり、ありがとうございます。
- ・町内であれば不満なし。桧山全域は分断されているので、通れるようにしてほしい。熊石～せたな間。
- ・買い物でなく、病院や施設等へ行くバスがありましたら、とても利用しやすく助かります。



### 3. 調査結果詳細 (3-5 その他自由記述)

#### バスについて

##### バスの運行本数・時間・時刻

- ・江差町内を夜8時頃まで運行して欲しい。
- ・大きいバスでなくても良いので、マイクロバスにして（通勤、通学時を除く）便数を増やしては？
- ・公共交通機関の偏りが日々不便さを助長している。私は病院勤務をしていますが、患者さん達の多くが「バス時間」の制約のため、過度に早い時間や診療後数時間待たないと帰宅できない現状があります。そのような地域の足としての交通が検討されるとありがたいです。
- ・小型のバスで良いので、江差町と函館市の直通で、時短を頼む
- ・函館バスの午前中の回数を一便だけ多くして欲しい。
- ・バスの朝9時台の本数が少ない。函館の病院の帰りの便が17時までの15時頃の便に間に合わない時は19時頃になり、家に着くのは21時30分過ぎ…。辛いです。
- ・バスの便数を増やして欲しい（江差高校）。
- ・バスの便が少ないので、車は必要です。
- ・病院の帰り、2時過ぎ台のバスが無いので困っています。
- ・民家のある町道を通るバスを増便できれば良い。
- ・引っ越しして来て1年未満。地方の小さい町は公共交通機関は便数や路線や時間など使いにくいので使ってません。自分のクルマが無いと生活できません。
- ・公共交通が学生用とその他の住み分けができて、便数が多く便利なら、是非利用したいと思います。難しい事とは思いますが…。年齢が増すごとに不安になります。
- ・江差高校への登下校における公共交通の充実を望みます。
- ・江差高校前の道路に路上駐車が多く、通行の妨げになっている。高校生のバス利用を増やすだけでも、メリットはあるのではないのでしょうか。

- ・先日道南バスに乗り、新函館北斗まで行ったが、数分到着が遅れて電車に乗り換え出来ない事があった。長距離の為仕方がないと思うが、バスの到着時間とJRの時間にゆとりがあると助かる。
- ・夜飲酒后にバスで帰宅できるのはとてもありがたいです。しかし、利用できる時間帯は減っており、なくなってしまうか心配です。
- ・バスの回数が少ない。

##### バス停

- ・交通が不便。足や腰が悪いのに、バス停までが遠い。
- ・駐車場を作らず、路上の停車できる場所ではどこでも乗り降りできる場所が必要です。
- ・函館バスの時間帯に次に来るバスの時間待ちが長い為、往復バスを利用の際は限られた時間に行く事になるため不便である。冬のバス停は待合室がないので寒い。
- ・函バス停の徒歩距離も長く、年齢を重ねるうえで不安があり、運行時間や運行数も少なくなり不便で仕方がない。
- ・バス停が遠く便利が悪い。
- ・バスの便数が少なく、風雪の強い江差では特に冬の待ち時間が苦痛です。これらを整えられたらと願っています。覆いのないバス停は辛いです。
- ・バス停を少し多くしてほしい



### 3. 調査結果詳細 (3-5 その他自由記述)

#### デマンドバス、コミュニティバスについて

- ・このアンケートのように、デマンドバスでもコミュニティバスでも住民が活動的に動くことが出来ると一日一日が明るく活動できると思います。
- ・コミュニティバスを運行してほしい。
- ・是非コミュニティバスの導入を実現させてほしい。
- ・デマンド型は年寄りには難しいサービスだと思います。コミュニティバスを町内別に（月、木）下町方面の運行とかの方が、使いやすいかも知れないですね。
- ・デマンドバス（予約運行型）と説明文を書くなれば、始めから予約とかいてほしい。
- ・デマンドバス、コミュニティバスのそれぞれに利便があると思う。これから自身が運転が難しくなってきた時に無理をしないで免許返納が出来るためには、上記のサービスは必要だと思う。
- ・デマンドバス、コミュニティバスも長所短所があるが、あれば助かる人もいると思う。皆老いて行くので、交通手段の確保は必要。
- ・デマンドバスを運行する時は、利用時間を出来るだけ夜遅くまでのばしてほしい。
- ・まだ自分で運転できるので、公共交通は利用しないが、将来的にはコミュニティバスがあれば、無理に運転せずに利用したい。
- ・既にボランティア活動を止めた。コミュニティバスがあれば良い。
- ・問15について。デマンドバスは予約方法などで、アナログ世代は利用しなさそう（高齢化社会）。コミュニティバスは都会的で良いけど「ただ走っている」時間が多そう（赤字につながる）。なので既存の交通の料金割引に「○」をつけました。

#### 携帯端末による予約など

- ・運行状況の検索は学生ならとても良いと思う。（導入して欲しい）老人となると、このサービスの利用は難しいと思う。
- ・携帯端末が使えない人も簡単に予約が出来て、歩行が難しい人も自宅の前まで迎えに来てもらえ、低賃金で利用できたら良いですね。その時対応して下さる運転手さん等が優しい方だと素敵ですね。自分はまだ一人で移動できるけれど、高齢者の方は本当に大変だと思います。
- ・公共交通は必要な事ですが、不必要な外出は避けています。また、スマートフォンのギガ数が限られているので、あまり外では使用したくありません。
- ・高齢者の為、通常の会話程度の利用である。携帯を操作して、デマンドバスを利用することはないと思われる。
- ・スマートフォンが使えないため、他の方法を考えてほしい。
- ・スマートフォンを上手に使えないので、利用しないと思います。
- ・スマートフォンを操作しての登録や予約などは苦手です。シンプルでわかりやすいサービスを希望します。
- ・スマートフォンを持っていません。
- ・スマホの使い方が分からない。
- ・スマホの所有者が何割なのか？スマホを所有していない町民のことを考えたサービスを望む。
- ・スマホを持っていないので、コミュニティバスの停留所に運行時間、回路表示をしてくれたら利用したいです。
- ・スマホを持っていないし、持っても操作に自信がない。デマンドバスはとても良いと思うが、高齢者が予約しやすいシステムを希望する。
- ・他人とのコミュニケーションが苦手である。携帯も苦手で受電のみの利用である。その為、デマンドバスの利用の考えはない。移動は通院と買い物ぐらいの為、今は親族の世話になっている。積極的に出かけようと思わないため、自身には考えが無い。
- ・私は携帯を持っていないので2月より江差マースと言うタクシーが出来ましたが携帯を持っていない私には便利な物ではありません。



### 3. 調査結果詳細 (3-5 その他自由記述)

#### タクシー

- ・過疎が進む中、一朝一夕にベストな方法などは…とは思いますが、バスの運行も年々少なくなり、又、タクシーも急な依頼は、ほとんど利用不可。どうなるのでしょうか。この町の生活は！？
- ・交通の便で不便している方の事はよくわかりませんが、シンプルに？タクシーの増台（24H）、代行があれば良いなとずっと思っています。難しいのは分かりますが…。
- ・高齢になると、足や視力が弱くなり、冬期は高くても自宅より自宅までが便利でタクシー頼りです。
- ・タクシーの台数を増やす。小さめのバスでも良いので、運行を増やす。
- ・タクシー代が高い。
- ・他地区からの転入者です。自家用車があれば不便は感じないですし、例えば飲酒時等、運転出来ない時はタクシーを使えば全く問題ありません。（そもそも街がコンパクトで徒歩のみでもOK）個人的には、特に新たな交通手段等は必要性を感じません。
- ・介護が必要な高齢者が増加しているので送迎サービスの充実、相乗りタクシーとかあればいい。そして住民が定着する高齢者を支える世代が住みやすい町作りが必要だと思う。
- ・将来、足腰が現在より悪くなる可能性が高いので、長時間の待機がや歩行が不安です。具合が悪くなった時、すぐに対応できるタクシーなどを安く利用したい。

#### 移動販売、デリバリーサービスなど

- ・買い物が不便だが、予約するバスを利用したいと思わない。ネットの予約ができる高齢者は多くないと思う。予約が不便。移動販売の車があると、利用を考えるとと思う。
- ・高齢社会だし、外食なども車を使わなければならない距離だし、コロナのこんなご時世なので、トドックのような買い物代行サービス、移動販売、ウーバーイーツのような宅配を充実した方が雇用も生まれるし（町あげて、お店を巻き込んで）良いのでは？
- ・小さい子供がいるお母さんの為の買い物代行サービスがあるといいのではないかと考えています。
- ・乳児、幼児がいる家庭だと子供を連れての買い物が大変です。交通を良くすのもよいですが、子育て世帯への買い物サービスなど公共興津を活用したものを行って欲しい。



### 3. 調査結果詳細 (3-5 その他自由記述)

#### 移動制約者対応

- ・足が悪いので近くを利用します。
- ・足や腰の悪い人への、サービスの充実。
- ・高齢者が車の免許を手放しても、あまり制限されやすい安心して暮らせるサービスが充実して欲しい。子の世代からしても、親が高齢で運転し続けるのは不安。
- ・高齢になった時生活行動を占めるのは、通院と買い物や理美容室などだと思います。その部分を安心してストレスなく充足できるような、公共交通の整備をお願いしたいです。
- ・坂が多く徒歩が困難な江差町において、無料で利用できる町民の足を整備する事が、町政、人口増につながると思います。町民が利用しやすさを重視した施策になればと思います。
- ・自分は移動に問題ないが、小学生や中学生の子供が自力で買い物に行けないため、交通手段にもっと慣れる環境ができるといいと思います。
- ・問20, 多分自分が70, 80代になったら使いこなせなくなるので利用できない。



### 3. 調査結果詳細 (3-5 その他自由記述)

#### その他

##### 検討プロセスについて

- ・高齢者や弱者の声を十分に聞いてからの実施をして下さい。お役所サイドの決定とらないようお願いします。
- ・場所や時間等を、地域町内会の意見も参考にしてほしい。
- ・各地区の状況をもっと知る事が必要。
- ・今後も高齢者は増加していくので、危険運転を防ぐため運転免許の更新を厳しくするべきです。その上で、免許返納をした人の意見を尊重するのが良いと思います。

##### まちづくりなど

- ・公共施設及びスーパー等の食料品店の一局集中の街造りを願いたい。江差町管内全体の分数型街造りは
- ・町内に安心して歩ける歩道。商店街に駐車場。高校前の道路拡張又は駐車場。
- ・人、会社、家、土地を誘致する。

##### その他

- ・除雪について、もう少し雪を残さないようにしていただきたいです。
- ・お年寄りだけでもサービスがあると、高齢者の不安な車の運転がなくなると思う。
- ・コロナの状況によっても利用状況が変わると思う。
- ・自分の運転技術に迷いが出た時は、70歳でなくても返納したいと思います。
- ・町民の税負担を軽減するために良い方法を。
- ・なるべく歩くようにしています。バスを利用しています。
- ・まだ若いので自動車通勤できていますが、ガソリン価格の高騰で自家用車の使用をなるべく減らしています。休日なるべく家にいる事が増えているのですが、江差町で交通サービスを開始しても、あまり便利さが増すことがないような気がします。交通サービスよりガソリンの補助があれば助かります。
- ・街の無料の車があれば良いと思います。
- ・脚が不自由なので、公共交通機関を利用できず、もっぱら家族の送迎に頼った外出となっている。
- ・釧路管内浜中町の交通システムが結構便利でした。
- ・暫定的に高齢者を想定したサービスばかりを想定せず、5G普及を急ぎ、全ての年齢層の人が等しく恩恵を受けられるサービスを模索すべき。不可能と断じている内は何も実現できない。
- ・足腰が悪いので、ない。
- ・店や街に遠いへき地のケアを充実させてほしいと思います。
- ・年寄りにも利用しやすいものがあれば。

# 令和3年度第3回 江差町地域公共交通活性化協議会 資料

令和3年度町民意見交換会 まとめ  
令和4年3月15日～16日実施

作成：日本データサービス株式会社



<b>1.</b>	<b>意見交換会の概要</b>	<b>2</b>
1-1	開催目的	2
1-2	開催日程・会場・参加者数	2
<b>2.</b>	<b>意見交換会結果の概要</b>	<b>3</b>
2-1	町民移動範囲	3
2-2	移動で困っていること	3
2-3	導入してほしい交通サービス	3
2-4	江差マース実証運行	3
<b>3.</b>	<b>各会場の意見整理</b>	<b>4</b>
3-1	江差町老人福祉センターでの意見	4
3-2	五勝手生活館での意見	6
3-3	南が丘ふれあいセンターでの意見	8
3-4	コミュニティセンター水堀会館での意見	10
3-5	田沢憩の家での意見	12
3-6	江差町文化会館小ホールでの意見	14

# 1. 意見交換会の概要



## 1-1 開催目的

- ・江差町地域公共交通計画を策定していく上で、**町民移動実態の把握**に加え、**町民の公共交通に対するニーズを把握**することを目的に、町内6会場において、意見交換会を開催

## 1-2 開催日程・会場・参加者数

開催日	開始時間	会場	参加者（人）
令和4年3月15日(火)	10:30	江差町老人福祉センター	4
	14:00	五勝手生活館	3
	18:00	南が丘ふれあいセンター	7
令和4年3月16日(水)	10:30	コミュニティセンター水堀会館	7
	14:00	田沢憩いの家	7
	18:00	江差町文化会館小ホール	6
合計			34



## 2. 意見交換会結果の概要

### 2-1 町民移動範囲

- ・柳崎地区に立地している商業施設及び道立江差病院を利用
- ・江差町市街地に立地している商業施設を利用
- ・上ノ国町の商業施設を利用
- ・函館市への通院に合わせ、買い物目的や私用目的等で移動

### 2-2 移動で困っていること

- ・荷物を持って帰ることが大変
- ・バス停までの移動が大変（坂などがあると特に）
  - ➡特に冬はツルツル路面となり、転倒事故なども心配
- ・バス時刻に合わせて生活することが不便（便数などが少ない、時間が合わない）
  - ➡バス運行情報を知らない町民も存在
- ・運賃が高い
  - ➡学生などは部活動後にバスで移動するのが不便であり、定期券を買うのはもったいない
- ・いつまでも車を運転することが不安
  - ➡特に冬はツルツル路面となり、交通事故が不安

### 2-3 導入してほしい交通サービス

- ・江差マースのような自宅まで来る交通が望ましい
- ・函館バス路線の自由乗降化が望ましい
- ・地区をきめ細かく運行するコミュニティバスが望ましい
- ・高齢者が乗りやすい低床車両の導入
- ・運賃負担の軽減化
- ・町内交通と広域交通の接続性の確保及び交通結節点の整備
  - ➡道立江差病院の駐車場をパーク＆ライド化など
- ・函館方面（新函館北斗駅など）へ早く着く交通の確保

### 2-4 江差マース実証運行

- ・今後も継続してほしい
- ・予約システムの見直し（電話予約も可など）
- ・運行範囲の拡大
- ・時間帯の拡大（夜間の運行など）
- ・バスやタクシーなどとのすみ分けが必要



### 3. 各会場での意見整理-3-1 江差町老人福祉センターでの意見

#### 買い物

- ・よく行く買い物先：ホームック、イエローグローブ、病院、ブンテン、サツドラ、ツルハ、コンビニ、運動施設、トドック
- ・行きは徒歩、帰りはバスかタクシー
- ・トドック、カケルくんがあるので日常的に困っていない
- ・町内の商業施設は荷物の送迎サービスあり

#### 通院

- ・町内の病院に自家用車で通う
- ・函館へは知り合いの送迎

#### 通学

- ・スクールバスの利用が減少
- ・タクシーを利用して通学もある
- ・一般混乗も検討してはいかがか

#### 江差マース実証運行（参加者のうち利用者1人）

- ・運賃はわかりやすさに着目してほしい
- ・すべての曜日で利用できるように
- ・システムのわかりやすさ（利用者の変更など）
- ・システムに慣れるまでの勉強会を実施してほしい
- ・夜間の運行も検討してほしい
- ・広い範囲で降りれるようにしてほしい
- ・徐々に広げながら続けてほしい

#### 移動で困っていること

- ・バスの乗り降りが大変
- ・車は便利だけど冬の運転が大変
- ・バスは時間が合わないことがある
- ・運賃が高いので週1~2回の使用になるのでは
- ・バスの乗り方がわからない（情報提供は必要）

#### 既存の公共交通（路線バス）や新たな交通サービス（コミュニティバス・デマンド交通）について検討するときに考慮してほしいこと

- ・運賃の明確化（運行区域に応じた運賃設定など）
- ・定時定路線のコミュニティバスよりかは予約運行型の方が良い
- ・わかりやすいシステムと定期的な勉強会の実施
- ・函館バスへの乗り継ぎ





### 3. 各会場での意見整理-3-2 五勝手生活館での意見

#### 出かけること

- ・よく行く場所：ホームック、イエローグローブ、ブンテン、ラルズ、サツドラ、ツルハ、コンビニ
- ・性別、年齢で出かける場所が変わるのでそれらを踏まえて考える必要がある
- ・トドック、カケルくんがあるので日常的に困っていない
- ・行きは徒歩、帰りはバスかタクシー
- ・町内の商業施設は荷物の送迎サービスあり

#### 私用

- ・お酒が入る飲み会：行きはバス、帰りはタクシー

#### 江差マース実証運行

- ・スマホがないと不便
- ・曜日を特定しないでほしい
- ・続けて行うべき
- ・電話でもできれば
- ・夜間の運行も検討してほしい

#### 移動で困っていること

- ・運賃が高い、高校生の定期代が高い
- ・バスの暇な時間が多い
- ・予約は面倒（高齢者はスマホを使用していない）
- ・自由乗降にしては
- ・需要に合わせたバス運行を

#### 既存の公共交通（路線バス）や新たな交通サービス（コミュニティバス・デマンド交通）について検討するときに考慮してほしいこと

- ・手を挙げて乗車できる自由乗降区間を定めてはかがか
- ・公共交通の勉強会を実施することも検討してほしい
- ・北斗市までの早く安い公共交通（新幹線との乗り継ぎ）
- ・函館バスへの乗り継ぎ



### 3. 各会場での意見整理-3-2 五勝手生活館での意見



# 五勝手生活館

14:00 ~

バスに乗るに決る

1人  
バスは?  
10/月

高校生  
定期代が高い  
運賃が高い!!

バスは乗車料  
も時間かかる。

バス停まで  
歩道にない

バスは  
安く

予約は

X

小型バスで

千石まで  
乗車料を  
下げたい?

バスは乗る?

利用が増える  
か?

近バス  
バスを  
乗りたい。

荷物 出回  
タクシー - 車  
バス - バス  
タクシー

通院  
町内病院 - 陣  
医師: 1900円/回

費用  
節約

行き: バス  
帰り: タクシー

行き: バス  
帰り: バス・タクシー  
荷物の  
お持ち。

知れたいこと

バス  
タクシー

バス  
高料金  
タクシー

荷物の送込  
タクシー  
好。

完結運行  
スマホを  
持たず  
と不便。

スマホは  
改善したい?

スマホ無  
電話OK.

使いた

北斗駅は  
運賃高い  
時間かかる...

北斗駅打  
速く安く。

若い世代が  
便利



### 3. 各会場での意見整理-3-3 南が丘ふれあいセンターでの意見

#### 買い物

- ・ラルズ、サツドラ、イエローグローブが多い
- ・徒歩で商業施設に行ける人もいる
- ・行きは徒歩、帰りはバスかタクシーの人もいる
- ・トドック、カケルくんの利用者が多い

#### 通院

- ・主に道立江差病院の利用
- ・自家用車で函館方面の医療機関に行くことも

#### 出かけること全般

- ・近隣住民で送迎
- ・冬は大変なので町内で済ますことが多い

#### 江差マース実証運行

- ・実証運行によって他の交通が衰退しては困る

#### 移動で困っていること

- ・移動したい時間にバスがない
- ・バスのステップが高くて乗り降り大変
- ・荷物が大変
- ・中通りからバス停までの移動が大変（坂道）
- ・将来運転できなくなったときに不安

#### 既存の公共交通（路線バス）や新たな交通サービス（コミュニティバス・デマンド交通）について検討するときに考慮してほしいこと

- ・木古内の車両（ポンチョ）がステップが低く良いのでは
- ・自由乗降区間を定めてはいいかがか
- ・タクシーチケットの枠の拡大
- ・江差マースのような自宅付近までくる予約運行型バスが便利
- ・運行目的を明確にしたバス路線設定







### 3. 各会場での意見整理-3-4 コミュニティセンター水堀会館での意見

#### 公共交通の利用状況

- ・ 普段、バスを使用していない
- ・ 年に数回函館に行くときにバスを使用
- ・ 小黒部町を対象に運行しているデマンドタクシーを知らない

#### 買い物

- ・ 柳崎町のブンテンなど
- ・ 高齢者の中には上ノ国町のショッピングこばやしまで行く人も

#### 通院

- ・ 道立江差病院、函館病院
- ・ 通院のついでにダイソー、ツルハの利用も

#### 出かけること全般

- ・ 自動車がメイン

#### 移動で困っていること（高齢者）

- ・ バスを利用するが重い荷物が大変
- ・ バス停で待つのが大変（暑い）

#### 移動で困っていること（高校生）

- ・ 高校生：バスの本数が少ない（17:00以降ない）
- ・ 運賃が高く回数券を購入している

#### 既存の公共交通（路線バス）や新たな交通サービス（コミュニティバス・デマンド交通）について検討するときに考慮してほしいこと

- ・ 予約での運行で待ち時間をなくす
- ・ 通学時間帯に合わせる（部活も考慮）
- ・ 広域移動で自動車→公共交通も考慮して江差病院の駐車場を利用したパーク&ライド化
- ・ 町内交通と広域交通の接続性を考慮
- ・ 終発バスや遅い時間の交通を考える





# コミュニティセンター 水堀会館 10:30 ~

バス利用者  
0人  
頻度

小黒部  
アソビタカシー  
の利用状況  
0人

公共交通を  
必要としている人

高齢者  
バスを利用し  
移動

待合室  
整備

予約を  
タブレット  
に配布

↓  
6月17日

毎に数回  
巡回バス

7も7も  
ないらしい

重い荷物を持ってる

バス停の前  
暑い時でも  
居るらしい

江差コース  
が必要

30分以内  
所要時間  
長い

買い物  
ヤナギサキ  
アソビ

通院  
① 通院  
② 養病院

私用  
444-  
4001

バス停内  
移動が不便  
50m くらい  
休憩

11月15日?  
乗客を移動  
するときに  
必要かどうか? 50年後...

江差のバス  
で飲んだ後の  
交通 終バスが  
早い!!

終バスの  
時刻が遅く  
なる

高齢者  
上回→バス  
→バス

自動車  
+ 送迎

高齢者  
送迎

運賃が高い  
回数券  
有無

バス便数が  
少ない  
17時以降も

通院の  
場合は

江差病院の  
駐車場を  
使いたい

高齢者バス  
→ 今、  
予約が少なくて!!

7:30 以下  
予約が少なくて

町内交通と  
在場交通の  
接続性

10-17  
バス!!

### 3. 各会場での意見整理-3-5 田沢憩いの家での意見

#### 公共交通の利用状況

- ・バスの利用者1人
- ・江差マース実証実験のことは知っていた

#### 買い物

- ・柳崎町のブンテン、ホームマック、ラルズなど

#### 通院

- ・道立江差病院、勤医協、歯医者、七飯町の整形外科、函館病院
- ・自家用車の送迎がほとんど
- ・町内の医療機関であれば路線バスの利用者も
- ・函館方面の病院には送迎あり

#### 出かけること全般

- ・少しの距離なら荷物を持って歩ける

#### 移動で困っていること

- ・町内の移動
- ・バス停からの距離が遠い
- ・冬期は運転に不安があるため遠出できない

#### 既存の公共交通（路線バス）や新たな交通サービス（コミュニティバス・デマンド交通）について検討するときに考慮してほしいこと

- ・ターゲット：一人暮らしの高齢者、バス停から遠い人（高校生なども対象か）
- ・金銭的負担をできるだけ抑えてほしい
- ・9時ごろ（通院+買い物）、午後（買い物）、昼頃に帰る
- ・上ノ国町の送迎バス（トライマート）を参考に、出発時間や運行する曜日を事前に設定した定時定路線の小型バスのような交通が良いのでは
- ・定時定路線の場合には、住宅地近くまで送迎するなど巡回ルートに考慮してほしい



### 3. 各会場での意見整理-3-5 田沢憩いの家での意見



# 田沢憩いの家

14:00 ~

小高  
高小

スクール7人

バス利用者  
1人  
16人1回

実証実験  
知りたい!!

公共交通を  
必要としない人

一人暮らしの  
高齢者

バス停から  
遠い人  
高校生も

送迎  
+トホ  
→バス

市前市  
市街地など  
便利

少しの距離  
下駄が  
ある

バス停  
遠い

送迎  
+トホ

江差バス  
少額利用

金銭的  
負担大...

買い物  
ヤブヤブ + 赤十字  
バス

通院  
江差病院  
キニ備 → バス  
乗車者

私用

自歩車  
+ 送迎

↑↑工研  
整備  
冬期は所収あり

上1回バス  
送迎バス  
15分+

子ども  
便さず

出発時間  
決まっても  
OK

定時定路線?  
曜日限定

3~4人  
利用

病院 + 買い物  
9時~3時 (4時)  
昼食あり

江差バス  
送迎バス

病院送迎  
バス

送迎バス

↓  
夕方に  
乗車  
↑

### 3. 各会場での意見整理-3-6 江差町文化会館小ホールでの意見

#### 公共交通の利用状況

- ・バスの利用者2人

#### 買い物

- ・ブンテン、ラルズを使い分けている
- ・地域の商店（配送サービスあり、注文も可能）
- ・自家用車で上ノ国町方面に行くことも

#### 通院

- ・道立江差病院、函館病院、七飯の病院、歯医者、鍼灸
- ・函館まで行ったら私用、買い物を兼ねることが多い

#### 出かけること全般

- ・仕事と買い物・通院など連続的に行われる移動（トリップチェーン）を行っている
- ・高齢者は時間が決まっていたら合わせて行動することが多い
- ・八雲駅まで車、JRに乗り換え
- ・北斗駅までバス、JRやバスに乗り換え

#### 移動で困っていること

- ・荷物が重い
- ・バスだと細かなことに対応できない
- ・バス停まで歩くのが大変（坂道）
- ・冬は不安
- ・大雪で車の移動が大変
- ・免許返納ができない（交通が不便）

#### 既存の公共交通（路線バス）や新たな交通サービス（コミュニティバス・デマンド交通）について検討するときに考慮してほしいこと

- ・細かいニーズに対応する定時定路線のコミュニティバスのような交通が良いのでは
- ・JR駅での乗り換え・接続性の確保（振興局も含めて今後検討）
- ・大雪時にバス停にアクセスするための除雪





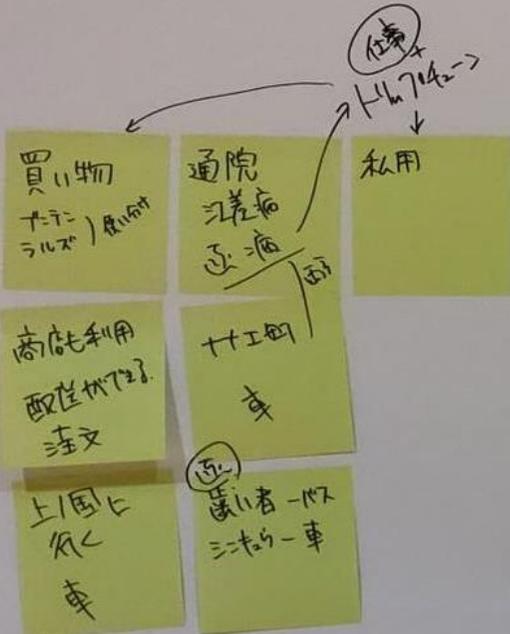
# 江差町文化会館小ホール 18:00 ~

バス利用者  
2ト

バス利用  
29%

公共交通  
必要の人

高齢者



荷物が多い

バスでは  
荷物  
ニースに  
対応

江差バスは  
荷物ニース  
に対応

八雲駅下  
JRに  
対応  
車

バス停が  
歩道の  
下  
①

冬は  
不安

地区ごとの  
仕掛けが  
必要

バスは  
時間的  
制約  
車

運賃  
+  
時間

冬は大雪の  
影響で  
制約あり

免許返納  
で  
公共交通  
の  
条件

高齢者は  
理由が  
決まると  
対応  
可能

北斗下  
バス  
↓  
JR  
バス

北斗下  
接続性  
確保

大雪時の  
除雪体制

安心

J3バス  
もあり  
停車  
場所

採  
取  
に

**令和 3 年度北海道における MaaS 実装化に資する  
収益循環モデルの事業性調査・分析事業**

**「江差マース」事業実施報告書**

サツドラホールディングス株式会社

## 1. 本事業の概要

### 1.1 本事業の目的

### 1.2 提供サービス概要

## 2. MaaS の受容性及び利用率調査

### 2.1 江差マース利用動向

### 2.2 江差マースに関するアンケート調査結果（事後調査）

## 3. 収益循環モデルの確立について調査・分析結果

### 3.1 小売事業者からの収益還元について

### 3.2 運賃収入について

### 3.3 収益循環モデルのシミュレーションと想定経済効果

## 4. 本事業のまとめ

## 1. 本事業の概要

### 1.1 本事業の目的

これまで MaaS 導入における課題として、MaaS 単体での事業性の確立や公共交通を担う運転手不足、ステークホルダー（既存交通事業者、行政、住民）の連携等さまざまな課題がある中で、最も解決困難な課題の一つとして、自治体からの補助金を前提としたサービスモデルでなく、新たな持続可能なモビリティサービスとその事業モデルの構築の必要性が挙げられる。

本事業では、それらの新たなモビリティサービスの構築、MaaS の実装化に資するための自治体からの補助金以外の収入、例えば運賃収入や各種付帯収入の項目およびそれらの金額規模、を詳らかにし、その収益で運行経費の一部を負担する「収益循環モデルの確立」の可能性についての調査・分析を目的とし、将来的な道内他地域への横展開を目指すものである。

今回は「収益循環モデルの確立」に向けた現在地の把握から今後の発展、事業モデルのイメージへとつながっていくために、実証エリアである当社と包括連携協定を締結している江差町との協力関係を前提に、江差町の公共交通空白地帯の住民に対し、新たなモビリティサービス、MaaS の提供をつうじ、新たに生まれる経済活動の規模を定量化、具体的には MaaS システムの運行データや、当社グループ会社が江差町にて事業展開を行っているドラッグストアの「サツドラ」、町内 40 店舗が加盟する共通ポイントカード「EZOCA」事業から取得するアクティビティデータを最大限活用し、「MaaS の受容性及び利用率調査（江差マース利用動向）」と「収益循環モデルの事業性分析」の 2 つの結果報告および洞察を加えた形で事業実施の報告をおこなう。

#### ■ 本事業における調査・分析のための利用・取得データ

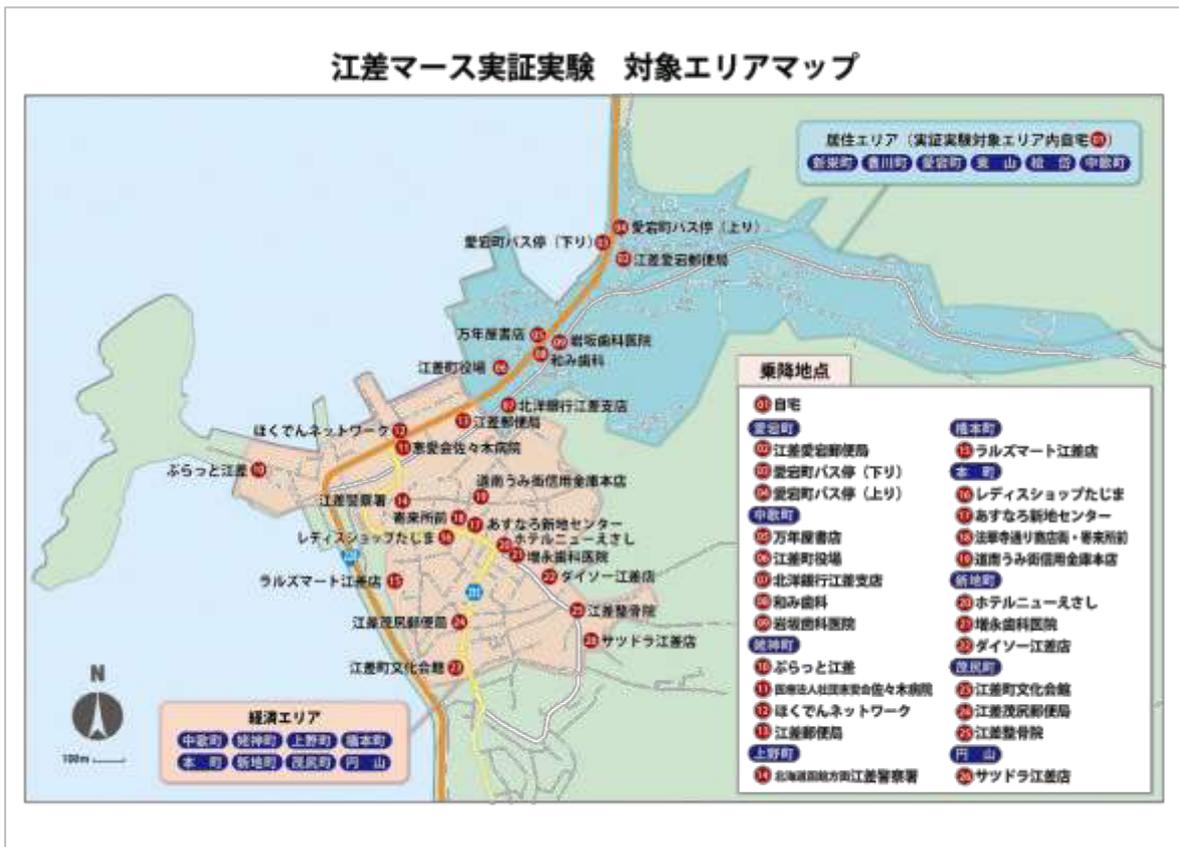
- MaaS システムからの取得データ
  - 利用者属性（性/年齢/住所）
  - 利用日時、利用回数
  - 乗降拠点
- EZOCA からの取得データ
  - 利用者属性（性/年齢/住所）
  - 町内 EZOCA 加盟店の利用状況（利用した店舗/日時/金額）
- サツドラからの取得データ
  - サツドラでのお買い物情報（利用した日時/購入した商品※SKU ごと）
  - クーポン利用状況
- サービス利用対象者アンケートデータ
  - 実証実験終了後、地域住民から取得した利用状況、感想等のアンケートデータ

## 1.2 提供サービス概要

路線バス等公共交通の利用が難しい「居住エリア」と買物や各種のライフラインとして機能している「経済エリア」間をオンデマンドのジャンボハイヤーで輸送する以下のサービスを提供

サービス名称	江差マース	
実証期間	令和4年2月1日～令和4年2月28日（土日祝と一部平日除く、16日間運行）	
運行時間	8:00-16:00（12:00-13:00は運行休止時間）	
配車	エリア	江差町／公共交通空白地帯の居住エリアと経済エリア（間をオンデマンド輸送）
	配車方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>①電話（自動音声）②スマホアプリによる配車で全世代型の配車手段を提供</li> <li>AIによるリアルタイム配車計算（SAVS）を活用</li> <li>住民ニーズの高そうな乗降拠点を26拠点設定し、拠点No.にて管理・登録</li> <li>配車の際にはNo.を入力・登録するだけの分かりやすく手続きが不要な設計</li> <li>「自宅」の拠点登録が可能で、家の前まで送迎がなされ高い利便性を確保</li> </ul>
移動	車両	地元タクシー事業者、桧山ハイヤーのジャンボハイヤー（1台/人数5名を上限）
決済	運賃	無料

（参考）実証実験対象エリアと設定した乗降拠点



(参考) 実証実験期間の様子ハイライト  
2022/2/1~2/28 江差マース運行



2022/1/31~2/1 住民説明会の開催 (@老人福祉センター) ※全5回 35名の参加



▼対象エリアに配布したチラシ

▼利用希望者向け持ち歩き用カード

2022/2/17 江差町で記録的な大雪



2022/2/18 広報カーにて宣伝、住民ヒアリング



## 2. MaaS の受容性及び利用率調査

### 2.1 江差マースの利用動向

#### 【調査・分析結果サマリー】

- 利用者は 32 名、延べ利用回数は 111 回という結果
- サービス開始直前に開催した住民説明会には 70 名ほどの参加があったが、結果としては若干物足りない結果
- 利用者は女性が 2/3 を占め、年代別では 50 代以上の利用が 70%を超える
- アプリ利用者と音声ツールの利用はおおよそ半々の利用。アプリだけでなく電話から配車できる「音声ツール」を機能実装したことで高齢者も使いうるサービスとなった
- 新たな経済活動を創出する、という狙いの通り「買物」に関する乗降拠点の利用が多かった

#### ① 利用者数について

##### ・利用登録者数と利用者数

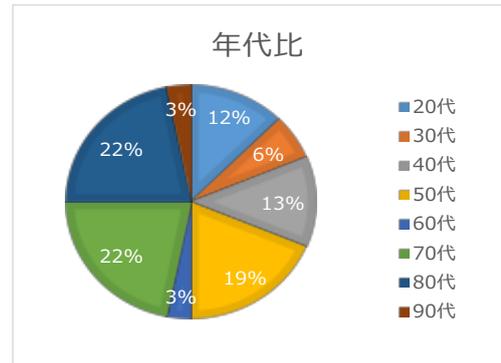
性別	利用登録者数	利用者数	利用率
男	25	11	44.0%
女	44	21	47.7%
総数	69	32	46.4%



- 最終的な利用者数は 32 名
- 利用登録者（事前登録者）は 69 名いたが、実際に利用したのは半数に満たない 46.4%
- のちのアンケート結果にもあるが、未利用者については、登録はしてみたものの「予定が合わない」「使い方がわからない」ということが未利用の主な理由
- 特に 50 代と 60 代にその傾向が顕著に出ていた
- 利用者の男女比は 2/3 が女性という結果

## ・年代別利用者数

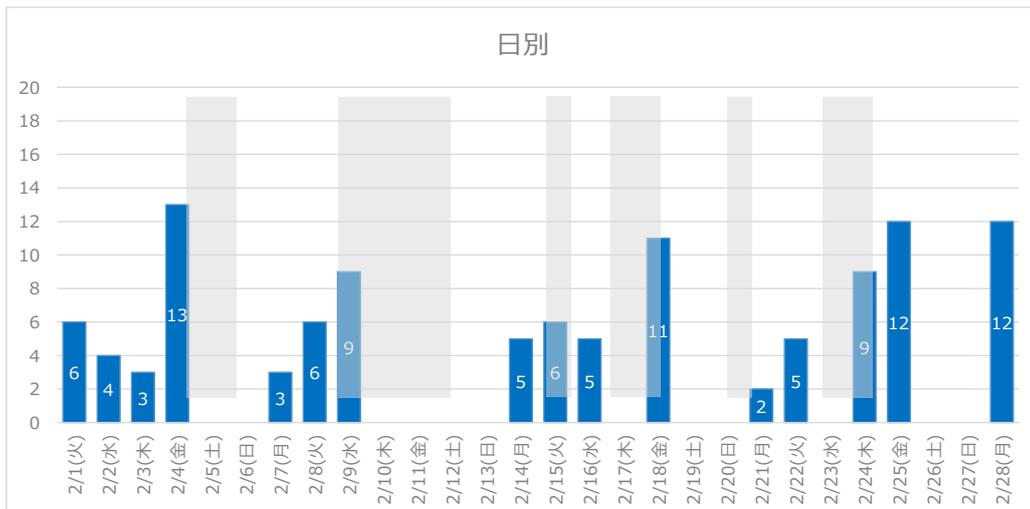
年代	男	女	合計
20代	2	2	4
30代	1	1	2
40代	3	1	4
50代	3	3	6
60代	1	0	1
70代	0	7	7
80代	0	7	7
90代	1	0	1
合計	11	21	32



- 延べ利用（運行）回数は 111 回、延べ乗車人数は 142 名という結果
- 一人当たりの利用回数平均は 3.5 回（32 名）

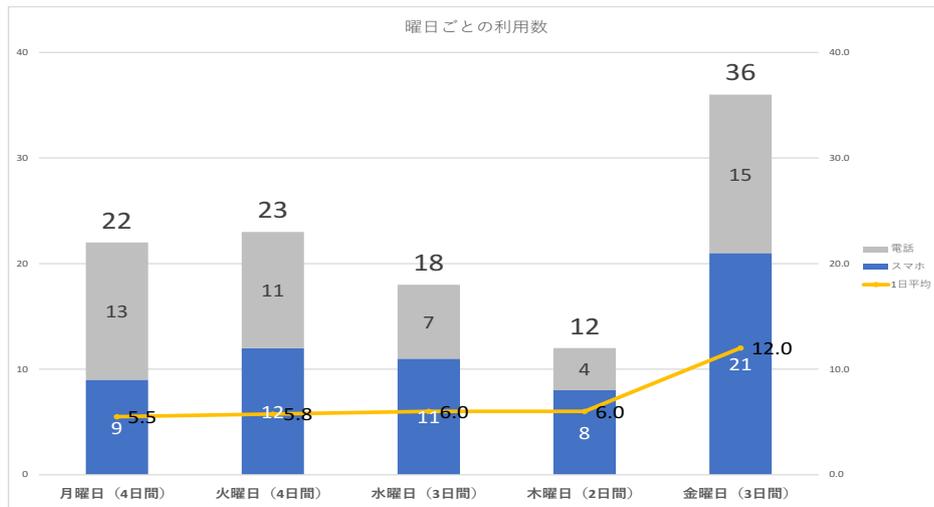
## ② 日別、時間帯別、曜日別利用状況

## ・日別利用回数



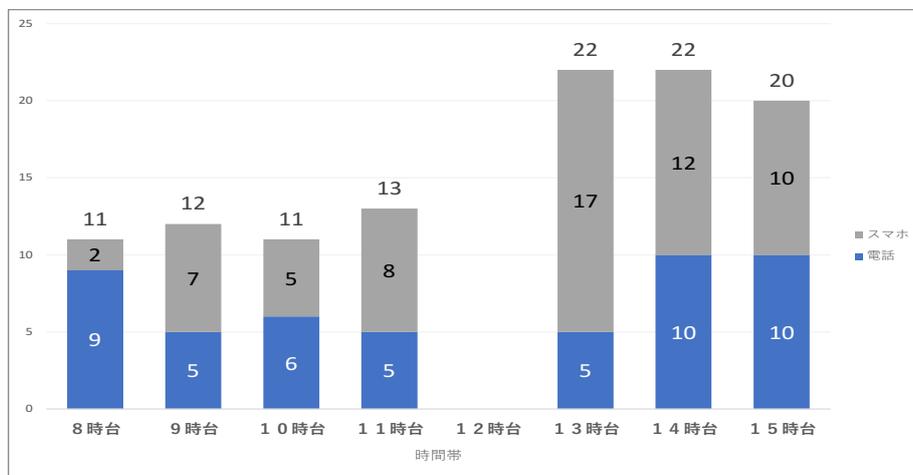
- 1 日当たり 6.9 回の運行実績（16 日間）
- 交通事業者の業務の関係上、平日も 10,17 日が運行できない等、ユーザーにとってはレギュレーションが定まらずブツ切りでの運行となってしまった印象

### ・曜日別利用回数



- 金曜日の利用が一番多く 1 日平均 12 回の運行
- 週の半ば水曜日と木曜日の利用は少ない

### ・時間帯別利用回数

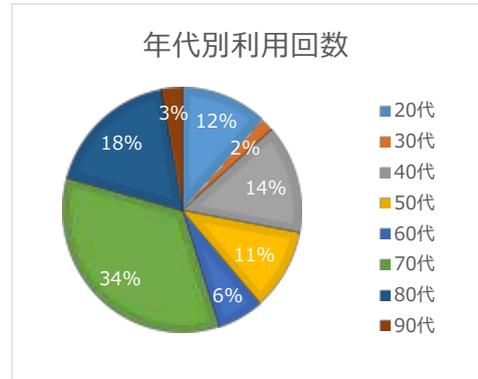


- 12 時-13 時は交通事業者のお昼休みのため運行せず
- 午前中の倍近く午後のデマンド、運行が多かった
- 道立江差病院行きの路線バスとの接続を意識して設定した 8 時台の運行に関しては、母数は大きくないが、電話での利用という傾向をみると高齢者が活用していたと思われる

## ③ 利用回数

## ・年代別利用回数

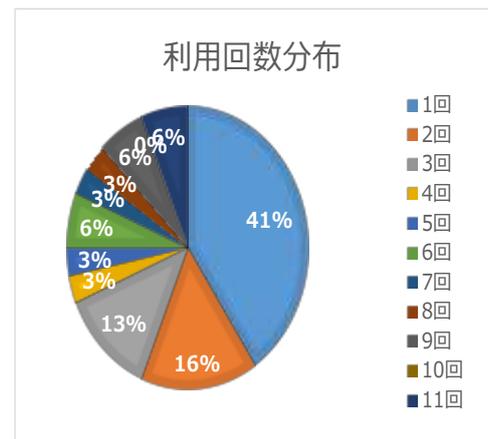
年代	男	女	合計
20代	2	11	13
30代	1	1	2
40代	14	2	16
50代	5	7	12
60代	7	0	7
70代	0	38	38
80代	0	20	20
90代	3	0	3
合計	32	79	111



- 延べ利用（運行）回数は 111 回、延べ乗車人数は 142 名という結果
- 一人当たりの利用回数平均は 3.5 回（32 名）
- 1 日当たり平均 6.9 回の運行実績（16 日間）
- 利用者数以上に利用回数ベースだと 60 代以上で 61%、50 代も入れると 72%にものぼる

## ・利用回数分布（男女別）

回数	男	女	合計	比率
1回	5	8	13	40.6%
2回	3	2	5	15.6%
3回	1	3	4	12.5%
4回	0	1	1	3.1%
5回	0	1	1	3.1%
6回	0	2	2	6.3%
7回	1	0	1	3.1%
8回	0	1	1	3.1%
9回	0	2	2	6.3%
10回	0	0	0	0.0%
11回	1	1	2	6.3%
合計	11	21	32	100.0%

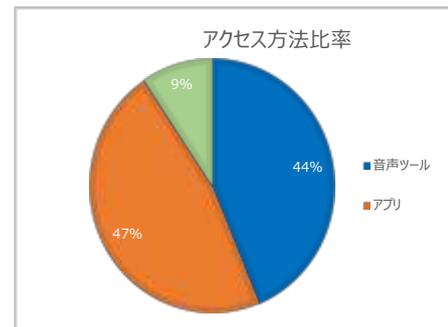


- 利用回数 1 回～3 回が 68.7%と 2/3 以上を占める
- 期間中 1 人で最大 11 回の利用

## ④ 利用方法

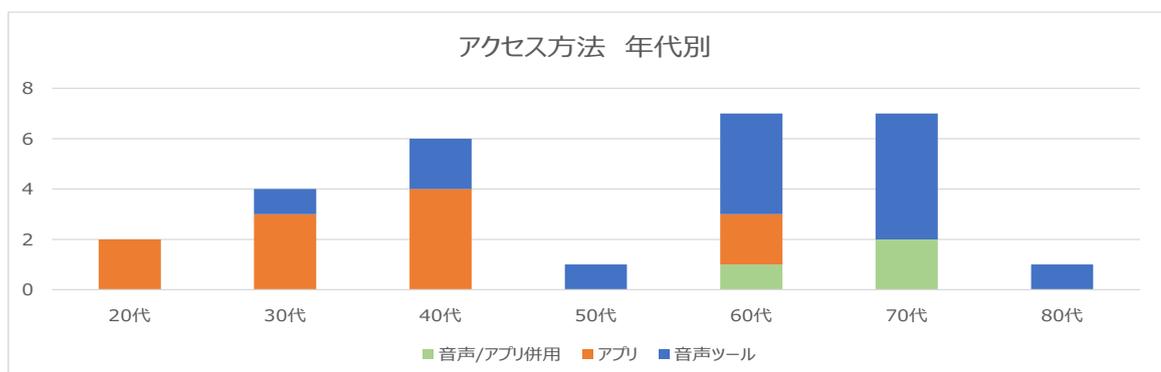
## ・アクセス方法

性別	音声ツール	アプリ	音声/アプリ併用
男	4	7	0
女	10	8	3
合計	14	15	3



## ・年代別アクセス方法

年代	音声ツール	アプリ	音声/アプリ併用
20代	0	4	0
30代	0	2	0
40代	1	3	0
50代	2	4	0
60代	1	0	0
70代	4	2	1
80代	5	0	2
90代	1	0	0
合計	14	15	3



- 音声ツールとアプリでほぼ半々のアクセス
- 60代以上から音声ツールを使ったアクセスが増加
- 音声ツールの提供により、高齢者の利用を促進する、という狙いに対しては一定の効果があったと推察
- 一部音声ツールから利用し、その後アプリに移行したユーザーも存在

## ⑤ 乗降拠点

## ・利用者全体

拠点No.	拠点名称	ジャンル	乗車	降車	ジャンル	拠点数	乗車	降車
01	自宅	自宅	52	32	自宅	1	52	32
02	江差愛宕郵便局	金融	0	0	金融	5	1	6
03	愛宕町バス停（下り）	交通	0	0	交通	2	1	2
04	愛宕町バス停（上り）	交通	1	2	娯楽	1	0	1
05	万年屋書店	娯楽	0	1	暮らし	5	28	35
06	江差町役場	暮らし	17	24	通院	5	3	4
07	北洋銀行江差支店	金融	0	0	買物	7	26	31
08	和み歯科	通院	1	0				
09	岩坂歯科医院	通院	0	0				
10	ぷらっと江差	買物	5	5				
11	医療法人社団恵愛会佐々木病院	通院	1	2				
12	ほくでんネットワーク	暮らし	1	1				
13	江差郵便局	金融	0	1				
14	北海道函館方面江差警察署	暮らし	1	1				
15	ラルズマート江差店	買物	6	8				
16	レディスショップたじま	買物	0	0				
17	あすなる新地センター	買物	1	1				
18	法華寺通り商店街・奇来所前	買物	1	2				
19	道南うみ街信用金庫本店	金融	1	4				
20	ホテルニューさし	暮らし	5	3				
21	増永歯科医院	通院	0	1				
22	タイソー江差店	買物	2	2				
23	江差町文化会館	暮らし	4	6				
24	江差茂尻郵便局	金融	0	1				
25	江差整骨院	通院	1	1				
26	サツドラ江差店	買物	11	13				
		合計	111	111				

## ・役場職員除く

拠点No.	拠点名称	ジャンル	乗車	降車	ジャンル	拠点数	乗車	降車
01	自宅	自宅	40	29	自宅	1	40	29
02	江差愛宕郵便局	金融	0	0	金融	5	1	6
03	愛宕町バス停（下り）	交通	0	0	交通	2	0	0
04	愛宕町バス停（上り）	交通	0	0	娯楽	1	0	0
05	万年屋書店	娯楽	0	0	暮らし	5	10	12
06	江差町役場	暮らし	2	4	通院	5	2	1
07	北洋銀行江差支店	金融	0	0	買物	7	21	26
08	和み歯科	通院	1	0				
09	岩坂歯科医院	通院	0	0				
10	ぷらっと江差	買物	1	1				
11	医療法人社団恵愛会佐々木病院	通院	0	0				
12	ほくでんネットワーク	暮らし	1	1				
13	江差郵便局	金融	0	1				
14	北海道函館方面江差警察署	暮らし	1	1				
15	ラルズマート江差店	買物	6	8				
16	レディスショップたじま	買物	0	0				
17	あすなる新地センター	買物	1	1				
18	法華寺通り商店街・奇来所前	買物	0	1				
19	道南うみ街信用金庫本店	金融	1	4				
20	ホテルニューさし	暮らし	4	2				
21	増永歯科医院	通院	0	1				
22	タイソー江差店	買物	2	2				
23	江差町文化会館	暮らし	2	4				
24	江差茂尻郵便局	金融	0	1				
25	江差整骨院	通院	1	0				
26	サツドラ江差店	買物	11	13				
		合計	74	74				

- 自宅発、自宅着が圧倒的に多く、「買物」生活を支える「暮らし」のジャンルの順番
- 「買物」拠点での乗降が多かったことは、経済活動の一環として新たな移動手段を提供する

目的に対して一定の効果があったと推察

## 2.2 江差マースに関するアンケート調査結果（事後調査）

### ■ アンケート概要

目 的：江差マース実証実験の検証資料として、運行の課題を抽出し、実証実験終了後の  
対応方針に活用することを目的に実施

対 象：江差マース実証実験対象地域にお住まいの方

取得期間：2月24日～3月10日

回答方法：①アンケート用紙郵送 ②WEB 回答

配布方法：江差町より対象地域の町民へ個別配布

### ■ アンケート回答内容

合計回答者数：156名（内WEB回答21名、郵送回答136名 ※封筒102通）

### ■ アンケート回答結果（抜粋）

#### 【調査・分析結果サマリー】

- 対象居住エリア住民の移動の目的やよく行く場所から考察すると、買物・経済活動活性化のための移動手段の提供という考え方は、住民のニーズと合致していたと言える
- 利用者においてはサービス内容および品質には概ね満足しており、利便性が上がったと感じている
- 利用者の評価としてはサービス内容もよかったと受け取れる結果で、認知度自体も低くはなかったため、まずは1回の利用をしてもらうための仕掛けやインセンティブに改善の必要性があったと言える
- 継続時にシステム部分の細かな改善を図り、サービス提供対象エリアや、利用時間と曜日等の変更・拡大が求められる
- 想定運賃は300円～500円/回の範囲が妥当だと思われる

① 普段の外出について

・外出する理由として、最も頻度が多いものを教えてください【1つだけ】

・普段、外出する際の移動手段を教えてください【いくつでも】

外出する理由として、最も頻度が多いものを教えてください。	回答数
通勤	50
通学	0
買い物	90
通院	19
私用	16
その他	4
その他の意見詳細	
温泉	2
畑仕事	1

普段、外出する際の移動手段を教えてください。	回答数
徒歩	57
自転車	11
路線バス	14
タクシー	5
外出先の送迎車両	0
原付・バイク	0
自動車 (自分の運転)	105
自動車 (家族の運転)	41
自動車 (家族以外の運転)	13
その他	1
	NPOの車

- 買い物を目的とした移動の頻度が多い
- 移動手段は車（自分の運転）が多く、次いで徒歩での移動となるが、自動車（家族の移動）も多く、車を持たない人が別の移動手段を求めている可能性は高い

② 町内における各種拠点の利用状況

・江差町でよく利用する、お店や施設の名称を種類ごとに教えてください【自由記述】

a. 買物について

江差町内でよく利用する、お店や施設の名称を種類ごとに教えてください。	回答数
ラルズ	89
ブンテン	71
イエローグローブ	42
サッドラ	63
ツルハ	30
ホームック	22
しまむら	16
従二谷商店	13
ダイソー	11
大杉商店	9
五勝手屋	6
武田肉店	6
たじま	6
セイコーマート	6
その他	39

その他の意見の詳細

- ・愛宕商店 :5
- ・万年屋 :3
- ・若狭 :3
- ・ドラッグストア :3
- ・コンビニ :5
- ・ジュニア :1
- ・近くの店 :1
- ・ローソン :3
- ・セブンイレブン :4
- ・スーパー :1
- ・笹浪商店 :2
- ・町内小売店 :1
- ・アークス :1
- ・フードショップ大杉 :1
- ・浅野屋 :1
- ・ぶらっと :1
- ・オカモト石油 :1
- ・前川石油 :1
- ・プリンス :1

- ラルズ、ブンテン等、食品スーパーが上位で、食料品購入のプライオリティが高い
- ブンテン、イエローグローブ、ホームック、しまむらなど柳崎方面（北側）での買物も多い
- 今回設定した経済エリアに存在する店舗の利用も多い（赤字で表記）

b.通院について / c.飲食店

江差町内でよく利用する、病院について教えてください。	回答数
道立江差病院	64
佐々木病院	29
道南勤医協江差診療所	22
増永歯科	13
岩坂歯科	15
江差脳神経外科	4
えさし鍼灸	3
江差脳神経クリニック	1
函館方面	1
和	2
江差整骨院	2
山ろく整骨院	1

その他の意見詳細

- ゆっこ :1
- めくもり温泉 :1
- 町内 :1
- スナックボギー :1
- あすなる新地 :1
- よしぜん :1
- 江差町文化会館 :1
- 万年屋書店 :1
- まるやま運動施設 :1
- ラッキーピエロ :1
- 香澄 :1
- 居酒屋 優 :1
- ラカルブ :1
- 八雲 :1

- 柳崎方面（北側）の道立江差病院の利用が圧倒的に多い
- 半面今回経済エリアに設定した比較的身近な病院も利用している（赤字で表記）ので病状や症状によって使い分けしていると推察される
- 飲食店の利用は今回設定した経済エリアでの飲食店利用（赤字で表記）が多く、各お店の形態・特徴から察するに夜間で飲酒を伴う場合の利用も多いと推察

江差町内でよく利用する、飲食店について教えてください。

回答数	
11	つるみ
8	津花館
8	ひのき亭
8	さと水
5	パレス
5	和海
5	麺や壱
5	美華
3	ホテルニュー江差
3	江差会館
2	鯨紋
4	八宝
2	アヒル
2	つぼ八
2	小笠原商店
2	ひょうたん
2	いそや
	その他

## ③江差マースの認知度と関心

・江差町内で、江差マース実証実験が行われていたことを知っていましたか【1 つだけ】

・江差マースについての事前説明会には参加されましたか【1 つだけ】

江差町内で、江差マース実証実験が行われていたことを知っていましたか。	回答数	江差マースについての住民説明会には参加されましたか。	回答数
知っていた	127	参加した	15
知らなかった	29	参加しなかった	113

- 対象エリア全戸へのチラシ配布の影響もあったか江差マースの認知度は 80%を超える
- 半面興味・関心を持ち、住民説明会へ参加いただいた方は 12%程度にとどまった
- 対象エリアの範囲に対して説明会開催拠点（1 カ所）に向かうハードルが高かったのか、悪天候（当日は雪）の影響もあったと推察される
- 江差マース利用に対してインセンティブ（EZO ポイント 100pt）付与という設計をしていたが、住民説明会参加に対してのインセンティブも検討の余地ありだったか

## ④江差マース利用者の利用動機と感想

・江差マースをどのような目的で利用しましたか【1 つだけ】

・江差マースを利用して、どのような印象をもちましたか【1 つだけ】

江差マースを主にどのような目的で利用しましたか。	回答数	江差マースを利用して、どのような印象をもちましたか。	回答数
通勤	3	使い方が簡単で便利だった	8
通学	0	使い方は難しかったが便利だった	2
買い物	14	使い方は簡単だが、不便を感じる点があった	4
通院	0	使い方が難しく、不便を感じる点があった	1
私用	3	その他	4
その他	0		

## &lt;その他の意見詳細&gt;

- 自動音声は少し苦手だった :1
- 携帯がないので不自由をした :1
- 時間見て頼んだが30分で終わるサツドラで30分待った :1
- 混んでいないため予約がスムーズで希望通り取れた。時間も正確であった。
- もう少しエリアが広がれば利用も増える :1
- 大変便利でしたが、自動音声の確認が多すぎて戸惑う :1

- 対象エリア住民の主な移動の目的と同じく、買物目的の利用が多かった
- 8割は利便性を感じてもらい使い方が難しいという意見は少数派であった
- 電話対応のための自動音声ツールに関しては、操作性含め改善の余地あり

・江差マース利用に際し、どのあたりが便利もしくは不便だったと思いますか 【自由記述】

## 【便利だった点】

## ■アクセス方法

- 電話で申込みるのがいい。
- 前もって予約できるのはスマホを使いこなせない人には助かります。
- スマホの扱いが不慣れで多少面倒でしたが、慣れたら大丈夫と思います。

## ■オンデマンド輸送

- 申し込んだ時間通りに来てくれたのはとても有難いです。
- 待ち時間が少なかった点がよかった。
- 自分の都合にあわせて移動できること。
- 予定に合わせて利用できる。
- 時間も自分の都合に合わせてもらえること。

## ■サービス設計

- 家の前から買物先へと道程が少なく便利でした。
- 車輛の現在位置が確認できたこと
- 車の待ち時間もあまり無く玄関から玄関に送り迎えだったので、とても便利だと思います。
- 坂の多い江差の冬道、自宅前で乗降できたこと
- 戸口から戸口まで行けるのでとても助かりました。

## 【不便だった点】

## ■アクセス方法

- 直接でなくスマホもないガラケーでは難しい。
- 携帯のない人には不便な所があります。
- webアプリを利用したのですが、IDを携帯に保存する事ができず、その都度登録したのがちょっと不便でした
- 乗車人数を例えば3人と入力、その後1人の増減でもキャンセルしてから入力のし直しとなり焦りました。
- 音声聞きづらい、自動音声じゃない方がよい

## ■対象エリア

- 対象エリアと時間が限られていたこと
- 行き先が下町や上町なので、その他の場所にいけないこと。

## ■サービス設計

- 出掛けたついでに2・3ヶ所用事を済ませたいと思ってちょっと大変かなと思いました。
- 1日1回でも時刻を決めて町内を（経済エリア間）廻ってくれた方がよいと思いました。
- 前日、または当日しか予約できないところ。もっと早く登録しておきたい。

## ■車両

- マースに乗車する際、段差があったのが不便だった。

- WEB アプリだけでなく音声ツールでのアクセスを加えたこと自体はポジティブな反応だが、中身の操作性などについては改善の余地あり
- 固定電話利用者は外出先から配車できないので等しく使っていただく場合は対策が必要
- オンデマンドであることや家の前までの送迎ありという点で、サービスの利便性については体感してもらうことができた
- 対象エリア、乗降拠点については住民アンケート等の結果も踏まえ、再設定することができればより利便性の高いサービスとなると推察

#### ⑤江差マース未利用者について

・江差マースに登録しなかったもしくは利用しなかった理由を教えてください【いくつでも】

登録しなかったもしくは利用しなかった理由を教えてください。

理由	回答数
登録方法・利用方法が分からなかったから	18
外出する機会がなかったから	12
予定が合わなかったから	23
今回の乗降地点の中に利用したい施設がなかった	3
EZOCAのカードを持っていなかったから	3
スマートフォン等の携帯端末を持っていなかったから	6
今回の実証実験に反対だったから	0
その他	47

<その他の意見詳細>

- ・ 自家用車を利用しているから :26
- ・ 個人で移動可能なため不要だった :6
- ・ 歩きで不自由はないから :3
- ・ 利用したいと思わない :1
- ・ 特に訳はなし :5
- ・ 私の自宅がマースのルートでなかった :1
- ・ 雨も多く寒い時期だったので控えた :1
- ・ 音声予約に慌ててしまって失敗 :1
- ・ 当分利用しなくても生活が出来る :1
- ・ 腰が悪くあまり歩けない :1
- ・ 良くわからなかった :1
- ・ けがをしていたので説明会に参加できず :1

- 自家用車を利用しているために使わなかった、現状不要、という理由が多数
- 登録方法がわからないという理由やサービス内容の誤読も少なくなく、チラシを見ただけでは利用するまでの導線が作れていなかった
- 改めて話をきかなくとも「やってみよう・やれる」と思わせる状態までシンプルなサービス設計やチラシでの訴求ができていればもっと利用者が増えていた可能性もある

## ⑥江差マースのサービス継続に関して

- ・江差マースが実用化した場合、利用したいと思います 【1 つだけ】

江差マースが実用化した場合、 利用したいと思いますか？	回答数
利用したい	39
サービス内容によっては利用したい	63
利用したくない	17

- ・江差マースがどのようなサービス内容であれば、利用したいと思います 【いくつでも】

どのようなサービス内容であれば、利用したいと思いますか。	回答数
電話（自動音声）やWebアプリによる予約ではなく オペレーター相手による電話予約の受付も可能	22
平日の日中のみでの運行だけでなく、早朝や夕方以降、 土日祝日の運行も可能	42
乗降地点が限定されておらず、対象地域内であれば 自由に乗り降りすることができる。	41
その他	13

<その他の意見詳細>

- ・ 運転出来なくなり次第利用する :5
- ・ 現状では利用する事は考えてない :1
- ・ 当面は利用の考えはない :1
- ・ 予定の曜日が合えば :1
- ・ 今のところ運転できるから :1
- ・ もう少し年を取ったら :1

- 全体的にはポジティブな反応
- サービス提供時間・曜日の拡大と乗降拠点に関してより柔軟に対応できれば更なる利用が期待できる反応となっている

- ・配車予約の機能以外に、江差マースに追加した方が良い機能があれば教えてください 【いくつでも】

配車予約の機能以外に、江差マースに追加した方が 良い機能があれば教えてください。	回答数
運賃の事前決済ができる機能	31
その他の公共交通の運行状況が確認できる機能	16
商業施設などのお得な情報が分かる資料	14
インターネットを通じて宅配をしてくれる機能	26
特になし	26
その他 車の免許を返上した時	1

- 運行に関する利便性向上として「決済機能」「その他公共交通の接続」の実装が挙がる
- 買物をキーワードに様々な機能実装も検討の余地があるか

## ⑦江差マースを継続する場合の運賃設定に関して

・江差マースが実用化した場合、1回の運賃がいくらまでであれば利用したいですか【1つだけ】

※下町＝本事業の居住エリア、上町＝本事業の経済エリア、柳崎周辺＝大型店集中エリア

## a. 下町⇔下町

江差マースが実用化した場合、  
1回の乗車の運賃がいくらまで  
であれば利用したいですか。

	回答数
300円	61
500円	12
700円	1
900円	0
その他	36

<その他の意見詳細>

・200円	5
・100円	10
・バス運賃と同額	1
・250円	1
・150円	1
・定額制	1

## b. 下町⇔上町

江差マースが実用化した場合、  
1回の乗車の運賃がいくらまで  
であれば利用したいですか。

	回答数
300円	56
500円	22
700円	5
900円	1
その他	28

<その他の意見詳細>

・100円	2
・200円	6
・400円	2
・バス代金位	3
・150円	1
・定額制	1

## c. 下町⇔柳崎周辺エリア

江差マースが実用化した場合、  
1回の乗車の運賃がいくらまで  
であれば利用したいですか。

	回答数
500円	60
700円	12
900円	5
1100円	4
その他	15

<その他の意見詳細>

・100円	1
・300円	7
・1,000円	1
・400円	1
・250円	1
・バス運賃と同額	1
・350円	1
・200円	1
・定額制	1

- 運賃についてはタクシーと同様の体感で近ければ安く、遠ければ高くなる結果に
- 300円がお手ごろな価格として捉えられており、気軽に使える金額として500円あたり
- 定額制という考え方も意見として挙がっている

### 3. 収益循環モデルの確立について調査・分析結果

#### 3.1 小売事業者からの収益還元について

##### 【調査・分析結果サマリー】

- 調査対象の母数が少ないものの、新たに発生した移動によって、「サツドラ」の収益は上がった（上がる）と言え、それに伴い還元金額の増額も一定程度は見込める
- 収益が上がった要因としては「購入単価」ではなく「来店頻度」の上昇であるため、ユーザーは江差マースによって今まで以上に気軽に買い物ができるようになった
- 地域の EZOCA 加盟店に関しては日常使いの店舗が少ないことも影響し、着目すべき収益の変動は見受けられなかった
- ただしデータは取得できないものの、乗降の多かった食品スーパーに関しては、サツドラ同様に収益、利用者の購入金額は増えていたと想像できる
- EZOCA との連携や収益向上が見込める事業者から販促協力金等の支援を受ける可能性はあると思われる

##### ① 江差マース利用者の「サツドラ」における買物動向

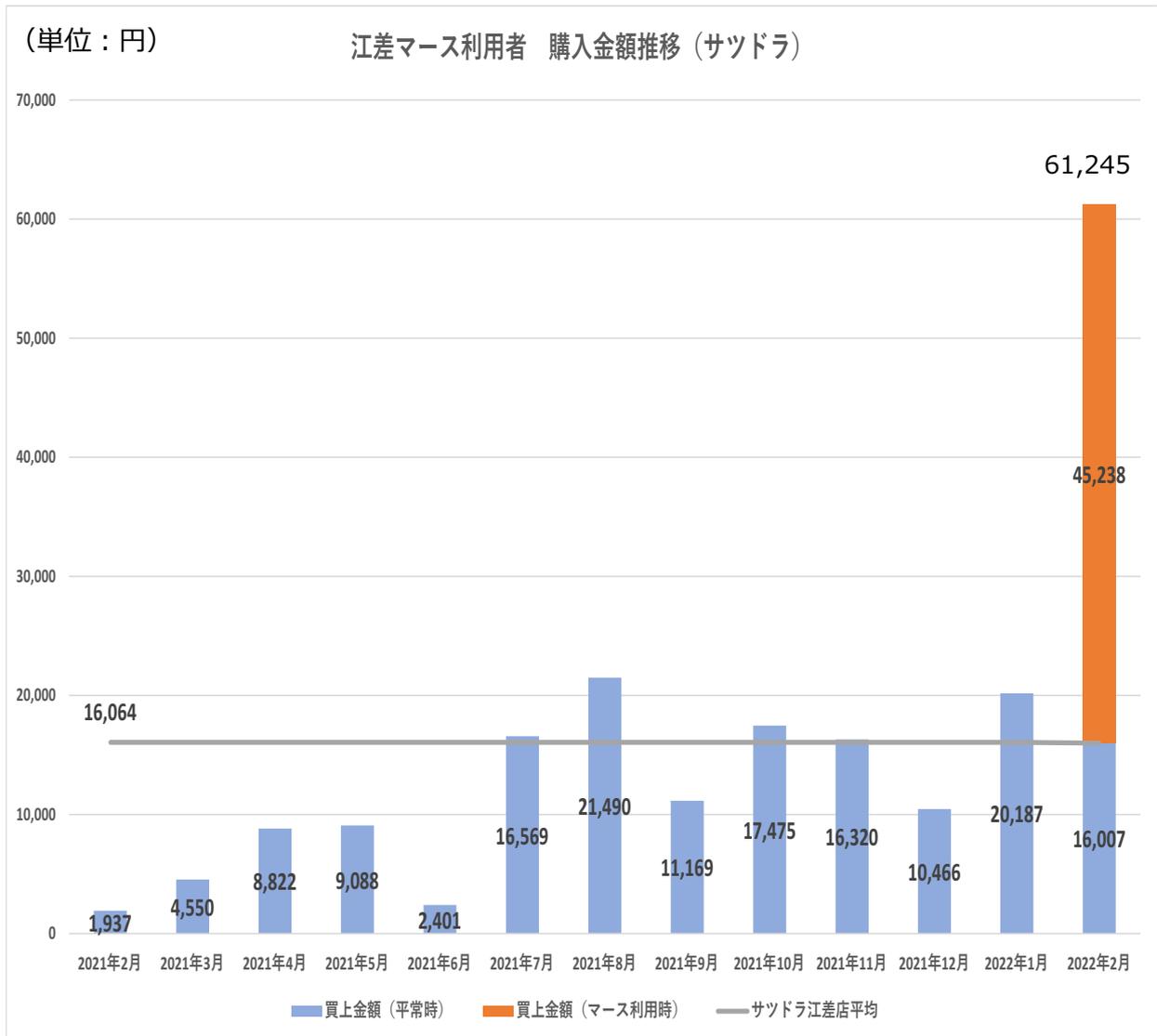
##### 【分析・検証内容】

江差町においては当社グループ企業が運営する小売店舗、ドラッグストアの「サツドラ」を 1 店舗と、サツドラ含む江差町の商店 40 店舗で使える共通ポイントカード「EZOCA」を展開。

その中でも江差町オリジナル券面の「江差 EZOCA」をもったユーザーがサツドラで買い物した場合は、その金額の 0.2%が江差町に還元される仕組みを実装済み。

この「江差マース」があることで新たに生みだされたサツドラでの買物行為をつうじて、どれくらい江差町への還元額が増加する可能性があるかを、江差マースを使った日と使っていない日のサツドラにおける買物動向の比較・推移実績データをもとに検証する。

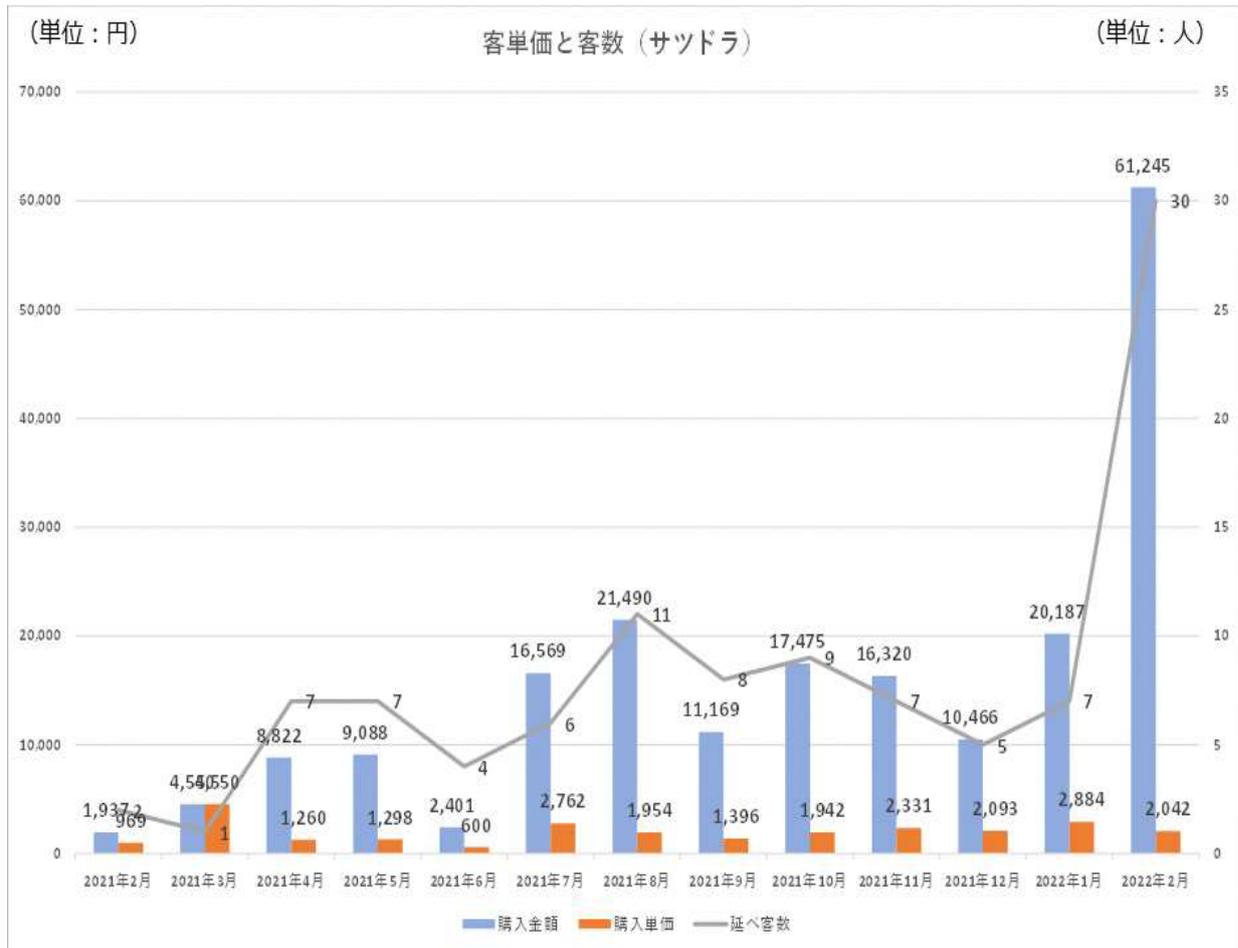
## ・サツドラでの購入金額推移



【抽出対象：「江差マースを利用した日」に「経済エリアの EZOCA 加盟店で買物をした」ユーザー (n=11)】

- サツドラにおいては、「江差マース」利用によって購入金額が圧倒的に増加している
- 暦上の日数、記録的な積雪の影響を勘案すると、その傾向はより顕著であると言える
- 月間一人当たりでいうと 1,460 円→5,567 円 (381%) に UP
- 江差町への還元額に関しては月間一人当たり 2.9 円→11.1 円となる

## ・サツドラの客単価・客数の推移



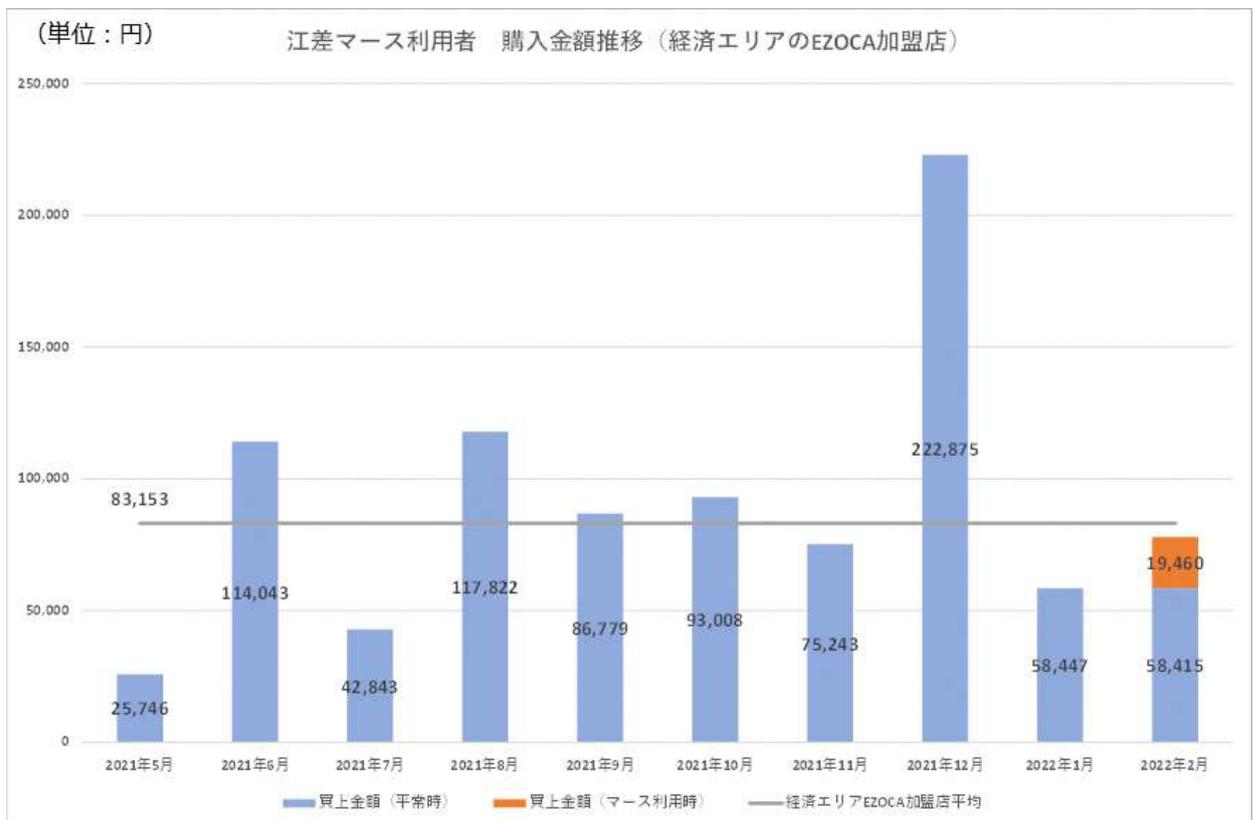
【抽出対象：「江差マースを利用した日」に「経済エリアの EZOCA 加盟店で買物をした」ユーザー (n=11)】

- 客単価は直近 3 か月間と同様 2,000 円前後と大きな差はない
- 延べ客数 (来店回数) が 30 回と大きく増加している
- 来店回数が増え、購入金額の増加につながっているということは、これまでなかなか来ることができなかったユーザーが「江差マース」によって気軽に買い物に来れるようになったと言える

## ② 江差マース利用者の「EZOCA 加盟店」における買物動向

## 【分析・検証内容】

先述した共通ポイントカード「EZOCA」に関して、今回の「経済エリア」に属する EZOCA 加盟店が、この「江差マース」があることでこれまで以上に来店者数の増加および収益の拡大につながるようであれば、その収益の一部を対象商店から販売促進費、協力金、または乗降が多い地点に関しては乗降地点の“ネーミングライツ”など、さまざまな形で地域事業者からの還元を望むことができるかどうかを「江差マース」を使った日と使ってない日の EZOCA 加盟店における買物動向の比較・推移実績データをもとに検証する。

・経済エリアの EZOCA 加盟店での購入金額推移

【抽出対象：「江差マースを利用した日」に「経済エリアの EZOCA 加盟店で買物をした」ユーザー (n=11)】

- EZOCA 加盟店での買物については江差マースとの相関は見受けられない
- ただしサツドラ以外の EZOCA 加盟店については利用金額上位順で①衣料品、②お米屋、③贈答品・お土産店、となっており日常使いとは少し異なる性質の店舗であるため評価は難しい（特に年末特需に顕著に表れている）
- サツドラに次いで乗降の多かった「ラルズマート江差店（食品スーパー）」「ダイソー江差店」に関しては日常使いの店舗で、少なからず江差マース利用者の買物動向に影響はあったかと推察されるが、2 店舗は EZOCA 加盟店ではないためその規模感は不明

### 3.2 運賃収入について

#### 【調査・分析結果サマリー】

- 通常タクシー運行時の稼働と江差マース稼働時の運行回数にはさほど差はない
- 回数に差はないが運行距離は異なる（基本的に通常時の方が運行距離長い）ため、通常タクシーをオンデマンドに切り替えるためには乗合が頻繁に発生する程度に客数を定常的に高い水準で保つ必要がある
- ただし今回は実証実験期間限定で、アディショナルで 1 台の追加対応した背景もあり、恒常的にサービス提供を行っていくためには、運行車両の確保が解決すべき大きな課題となる

#### ① 桧山ハイヤーの運行状況からみる事業者収益の検証

##### 【分析・検証内容】

地域の交通事業者である桧山ハイヤーの通常（平日）運行時の 1 台分の収益と、今回の事業のサービスモデルとなったエリア限定で利用者を募り、オンデマンド対応で複数人の乗合が発生する運行を行うことによる想定収益とを比較してどのような差異が生まれているか、そしてそれに経済合理性があり、交通事業者の経営効率向上に資するものなのかを検証する。

・松山ハイヤー通常運行時と本事業実績との運賃収入比較

※平日 8 時から 16 時の運行時、1 台分の平均

【通常運行時】

運行回数：6～7 回／運賃：5,000 円～6,000 円／平均運賃：833 円～857 円

【江差マース運行時】

運行回数：6.9 回

- 江差マースのエリア限定かつ設定拠点での乗降、乗合と待ち時間の発生を前提とすると、サービスの価値自体は通常運行時より劣る
- それに伴い運賃も通常運行時より低減させるべきであるが現状の運行回数だと難しい状況
- 実装に向けては利用者と運行回数の増加、および複数人の乗合を発生させることができるかどうか  
どうか  
が重要
- もしくは新たなニーズを掘り起こし、回数ごとの運賃徴収とは異なった収益モデルを検討、構築  
できるかどうか

## 3.3 収益循環モデルのシミュレーションと想定経済効果

## 【分析・検証内容】

「収益循環モデルの確立」に向け、今後このサービスモデルを継続的に提供するために、収益性を上げるためにどのような視点を加えていく必要があるか、どのような本事業を通じてどのような立証可能な仮説が立てられるか、を本事業で得られた実績データ（収益・原価）を元に検証する。

## 【調査・分析結果サマリー】

- あくまでも本事業におけるサービス内容・提供エリアに限定した場合だと、今後仮にサービスを継続することで利用者数増が見込めたとしても収益循環モデルの成立は困難
- また回数ごとの運賃徴収と利用者増、を目指すのではなく、移動手段を切実に必要とする方々に高付加価値なサービスを提供することで、収益性が変わる可能性がある
- 今回江差マース利用者かつサツドラ利用者の買い物行動に関しては、数字上明らかな伸びを示している
- これら江差マースによって発生するメリットをまずはサツドラでの実績を元に明らかにし、それを享受する事業者（地元商店やメーカー等）からの還元や協力も加えたうえで収益循環モデルを構築する必要性がある

## ① 今回の事業モデルにおける損益分岐点

## ■ 利用回数

	今回実績	シミュレーション
利用者数	32人	200人
1か月あたり利用回数	3.5回	3.5回
1ヶ月の利用回数合計	111回	1,094回
営業日	16日	25日
1日あたり利用回数	6.9回	43.8回

## □ 売上項目

## ■ 運賃収入

	今回実績	シミュレーション
運賃（単価）	-円	500円
1ヶ月の運賃合計	0円	546,875円
江差EZOCA還元（0.2%）	0円	1,094円
1日あたり運賃	-円	21,875円

## ■ サツドラ還元金額（増加分）

	今回実績	シミュレーション
売上	45,238円	445,757円
利用回数	19回	187回
1回あたり売上	2,381円	2,381円
還元率	0.2%	0.2%
還元額	90.5円	891.5円
1回あたり還元額	4.8円	4.8円
収益	90.5円	548,860円

## □ 原価項目

## ■ 交通事業者人件費（仮）

	今回実績	シミュレーション
人件費	400,000円	400,000円
江差マース負担分	213,333円	333,333円

## ■ 音声ツール利用料（Amazon Connect）

	今回実績	シミュレーション
サポート費	3,200円	3,200円
1分あたり利用単価	3.5円	4円
通話時間	4分	4分
1回あたり利用金額	14円	14円
音声ツール利用率	44.0%	44.0%
音声ツール利用回数	48.8回	481.3回
音声ツール利用料合計	3,884円	9,938円

## ■ SAVS（自動配車システム）利用料

	今回実績	シミュレーション
ライセンス料	130,000円	130,000円
機材レンタル料	60,000円	60,000円
SAVS利用料合計	190,000円	190,000円

原価	407,217円	533,271円
----	----------	----------

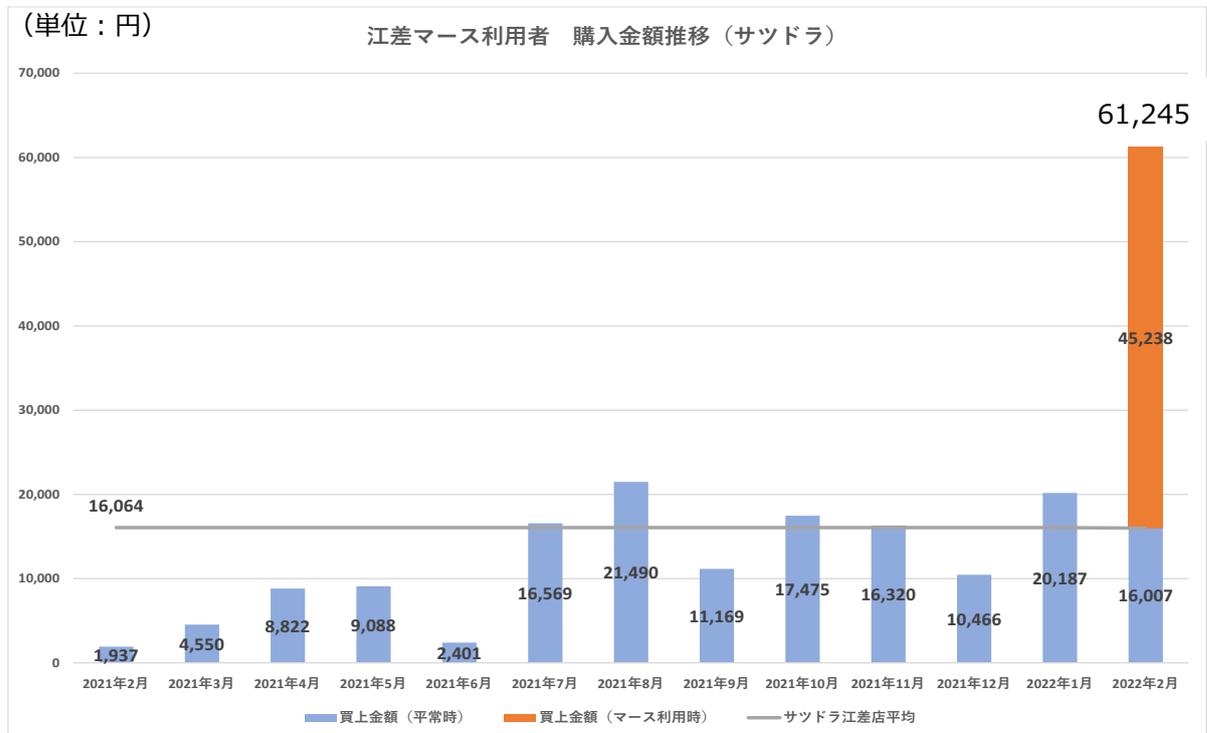
- 今回のサービス提供内容（平日 16 日間/8-16 時運行）と利用実績（32 人/一人当たり月 3.5 回利用）を前提とすると、25 日間の運行と運賃 500 円を徴収した場合において収益性は担保できる
  - ただし基本的には運賃徴収による収益モデルであるため、運行事業者に係る負担やそれに伴う継続性の担保については見えていない状況
  - 既存のサツドラからの還元モデルからの収益については江差 EZOCA 所有者の、①サツドラ店舗利用からの還元と、将来的には②江差 EZOCA 決済ツールとして活用し決済された金額に対する還元金付与（同料率）が想定できるが、江差マースの運行・維持に大きく貢献するものではないので、どちらかという還元されるという事実による利用継続・促進のためユーザーの感情醸成としての意味合いが大きい
- ※その他、まだ決定していないコスト（音声ツールにおける顧客管理・SAVS 連携システムや運行事業者の車両維持費・燃料代）も発生する予定

#### ① 定額制を採用した場合の損益分岐点イメージ

- 上記①のコストを前提に“月額固定”で“乗り放題”にてサービス提供をおこなう場合は、仮に 3,000 円/月の月額で設定した場合は 180 人が損益分岐点となる。対象エリアのみだとおおよそ 15%ほどだが、エリアを拡大すれば獲得可能な人数だと推察

## ② 想定経済効果について

## ・サツドラでの購入金額推移（対象者合計） ※再掲



抽出対象：「江差マースを利用した日」に「経済エリアの EZOCA 加盟店で買物をした」ユーザー（n=11）

- 江差マースを利用してサツドラで買物したユーザーは通常月よりも 3.8 倍の購入をおこなった
- また利用者に配布したクーポン利用については上記ユーザー 11 人中 3 名、6 件の利用が行われた
- 可視化はできないが、降車数（町職員除く）が 13 件あったサツドラについて、8 件の降車数があったラルズマートにおいても同様の事象（月額購入金額増）があったと想定できる
- 今回はサンプル数が少ない結果となったが、新たな移動手段が継続的に提供されるようになれば、ユーザーの行動変容はまず「日常」で発生し、その中でもアンケートにもある通り移動の主たる目的となりうる「買物」に関する事業者においては少なくないメリットを享受できると推察

#### 4. 本事業のまとめ

新たな持続可能なモビリティサービスとその事業モデルとして可能性のある「収益循環モデルの確立」に向け、本事業「江差マース」でのサービス提供を通じた調査・分析によって得られた実績、データ、アンケートなど定量定性の情報を元に、良かった点と改善点および、課題への対策案を今後一層強化すべきポイントや新たに加える必要のある要素として以下項目ごとにまとめる。

##### ① オンデマンドによる配車について

###### ・良かった点

- 営業時間中、自宅から好きな時間に好きな場所へ送迎可能なこと
- スマホアプリだけでなく、電話による音声ツールでの予約対応を可能にしたこと

###### ・課題と対策案

- 固定電話しかない方への対応ができない
  - 各乗降拠点における配車ツールの設置検討（タブレット等）
- 音声ツールの操作性、ユーザビリティ
  - より簡易的なオペレーション検討、利便性は担保しつつ選択肢を狭める工夫
  - ※アプリの ID 入力等操作性向上も同時に検討
- 利用者を増やすための期間設定
  - 告知→説明会参加→事前登録→利用→理解（利便性を感じる）→リピート、といった一連の流れを定着させるまでの期間確保と、アクションの検討

特に説明会参加者を増やすこと、実際に使ってもらうところまで並走することが求められる

## ② 運行時間・曜日、エリア等サービス提供内容に関して

## ・良かった点

- 平日 8 時と朝早くから運行したことによる通院、通勤目的の利用者獲得
- 実証エリアはコンパクトだったが、買物・金融・交通・娯楽・暮らし・通院など多様な拠点設定により、住民の生活を支える移動手段の提供、という目的の達成

## ・課題と対策案

- 土日祝日の運行、夜間等運行時間の拡大に対する期待
  - 交通事業者の体制拡充、もしくはその他代替手段の検討
- 運行エリアの拡大、より柔軟な乗降拠点の設定
  - 道立江差病院、大型スーパーが並ぶ柳崎地区への運行検討
  - (地域公共交通計画との連携等、これまで以上に住民意見の反映)
  - 乗降拠点を自由にするか固定させるかの価値比較（ユーザー目線と事業者目線）

## ③ 「収益循環モデルの確立」に向けた調査・分析データの獲得について

## ・良かった点

- これまで不明だった移動と経済活動の関連をデータとして取得できた点
- 結果、新たな移動手段によって確実に経済活動に影響を及ぼすということがわかった点
- 規模の拡大によっては十分地域事業者の収益の拡大の機会になることが立証されたこと

・課題と対策案

- 影響が大きいにも関わらず、まだ取得できていないデータの可視化

-今回の実証データを元にした、食品スーパーをはじめとする「EZOCA 加盟店以外」の事業者への協力要請、データの獲得するための仕組み提供を検討

④ 江差マース全体の取組、座組について

・良かった点

- 自治体、地域交通事業者、小売事業者、データプラットフォーム提供事業者といった、これまでにはない新しい視点、座組で地域の交通、移動への課題に取り組むことができた
- 新たな協力関係性を構築したことで単一事業者目線ではなく一段階上の視点にて地域の交通を継続して検討していける土台が構築された

・課題と対策案

- 更なる全体事業規模拡大による「収益循環モデルの確立」への貢献度向上
  - ①事業規模の拡大、②収益獲得項目と還元プレイヤーの多様化、拡大を図る
  - 付帯収入の再考（広告費/販促金、決済手数料、協賛金）
- 地域全体での交通の課題認識共有と一体感を持った取組への発展

-地域公共交通事業者（路線バス、フェリー）や近隣自治体や官庁との連携の場の設定-江差町地域公共交通活性化協議会での共有、江差町地域公共交通計画への反映

## 江差町地域公共交通活性化協議会分科会(仮称)の設置について

### 1. 趣旨

江差町地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）については、江差町地域公共交通計画（以下「計画」という。）の策定に向けた協議を進める場として令和3年度に設置した組織であるが、今後の計画策定にあたってはバス路線のルート・ダイヤや令和3年度に実証実験を実施した「江差マース」についてなど、より具体的な協議が必要となることが予想されるため、江差町地域公共交通活性化協議会設置要綱第7条の規定に基づき、協議会構成員の中から指定した委員を中心に構成する「江差町地域公共交通活性化協議会分科会（以下「分科会」という。）」の設置をここに提案するもの。

【参考】江差町地域公共交通活性化協議会設置要綱第7条 抜粋

第7条 第2条各号に掲げる事項について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。

### 2. 分科会で協議・検討する内容

年3回程度の開催を予定し、以下の内容についての協議・検討を行う。

- ① 江差町内の地域ごとに抱える公共交通の問題やニーズを把握し、それらの分析結果から想定される公共交通の必要性や実現可能な内容について協議会で協議するため、その方向性に関しての意見交換を分科会で行う。
- ② 分科会を「専門部会」・「住民部会」の2組織に区分けし、それぞれの部会において具体的な交通施策等について意見交換を行うなど、計画の方向性をまとめる。
- ③ 江差町地域公共交通計画（案）について、その内容に関する意見交換を行う。
- ④ 江差町地域公共交通計画の作成後、当該計画内容について今後の取り組みやその実施に係る協議・調整を行う。
- ⑤ 分科会は協議会の前に開催し、分科会で決定した内容を協議会に諮ることで、きめ細やかな計画策定に向けた協議を図る。

### 3. 設置イメージ

別紙資料6のとおり

### 4. 今後の動き

- ◆ 令和3年度第3回江差町地域公共交通活性化協議会で本件に関する提案を行い、各委員からの意見を踏まえた上で、令和4年4月での分科会設置に向けた関係団体への要請など準備を進める。
- ◆ 分科会設置後、令和4年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会に先んじてまずは「専門部会」を開催し、令和3年度に実施した「町民ニーズ把握調査（アンケート調査）」・「町民意見交換会」の調査結果を踏まえた、既存交通のあり方や令和3年度に実証実験を実施した「江差マース」の方向性などについて意見交換・検討を行う。
- ◆ 「専門部会」での協議内容をもとに「住民部会」を開催し、利用者目線での公共交通のあり方について意見交換を行う。
- ◆ 両部会での意見内容や検討状況を踏まえた今後の方針を協議会事務局（まちづくり推進課）において立案・成案し、令和4年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会にて諮った上で正式決定する。

## 【協議会構成員】

江差町、交通事業者（バス・ハイヤー・フェリー）、利用者又は住民の代表（町内会連合会・老人クラブ連合会・身体障害者福祉協会・江差中央商店街協同組合）、北海道檜山振興局、北海道運輸局函館運輸支局、福祉有償運送事業者、函館地区交通運輸産業労働組合協議会、道路管理者、北海道函館方面江差警察署、江差町教育委員会

## 【役割】

既存交通の態様等に関する協議、地域公共交通計画に係る協議、計画登載事業の実施 など



分科会で決定した内容は協議会で諮り正式決定

### 《新設》分科会（専門部会）

- ・ 江差町まちづくり推進課
- ・ 函館バス株式会社
- ・ 有限会社桧山ハイヤー
- ・ ハートランドフェリー株式会社
- ・ 北海道運輸局函館運輸支局
- ・ 日本データサービス株式会社
- ・ 公立はこだて未来大学

### 《新設》分科会（住民部会）※

- ・ 江差町まちづくり推進課
- ・ 身体障害者福祉協会
- ・ 中央商店街協同組合
- ・ 江差町教育委員会
- ・ 江差観光みらい機構

既存交通・江差マースなどに関する協議、  
計画内容の方向性に関する意見交換

利用者目線での意見交換、住民ニーズの整理

※ 「住民部会」のあり方について、江差町高齢あんしん課（地域包括支援センター）が事務局を務める「江差町地域支えあい協議体（町内会連合会・老人クラブ連合会・社会福祉協議会などが委員として参画）」との合同会議での開催を予定。

➡ 協議内容に応じて協議会構成員以外の関係団体へオブザーバーによる協力依頼を行う

江差町地域支え合い協議体設置要綱

平成 30 年 10 月 1 日

告示第 4 9 - 1 号

(設置)

第1条 介護保険法(平成 9 年法律第 123 号)第 115 条の 45 第 2 項第 5 号に規定する事業を実施し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要な生活支援体制の充実・強化を図るため、江差町地域支え合い協議体(以下「協議体」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議体は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1)地域資源および地域ニーズの把握に関すること。
- (2)地域資源の特定および開発に関すること。
- (3)関係者間のネットワークの構築に関すること。
- (4)目指す地域の姿・方針の共有および意識の統一に関すること。
- (5)地域の支援ニーズおよび取組の整合に関すること。
- (6)生活支援コーディネーターの組織的な支援に関すること。
- (7)その他生活支援体制の充実・強化に関すること。

(構成)

第3条 協議体は次に掲げる者(以下「委員」という。)をもって構成する。

- (1)江差町生活支援コーディネーター
- (2)江差町社会福祉協議会職員
- (3)江差町町内会連合会の推薦を受けた者
- (4)江差町老人クラブ連合会の推薦を受けた者
- (5)江差町民生児童委員協議会の推薦を受けた民生委員
- (6)NPO 法人職員
- (7)その他町長が必要と認める者

2 委員は町長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長および副委員長)

第5条 協議体に委員長と副委員長を置く。

2 委員長および副委員長は、委員の互選によりこれを定める。

3 委員長は協議体を総括する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 協議体の会議は、委員長が必要に応じて招集し、その議長となる。

2 協議体は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

(関係者の出席)

第7条 委員長は、会議に際に、必要に応じて関係者の出席を求める事ができる。

(個人情報保護)

第8条 協議体の委員もしくは委員であった者および会議に出席を求められた者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第9条 協議体の庶務は、地域包括支援センターにおいて処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議体に関し必要な事項は、委員長が協議体に諮って定める。

附則

この告示は、平成 29 年 6 月 1 日から施行する。

附則

この告示は、公布日から施行し、平成 30 年 10 月 1 日から適用する。

## 江差町地域支え合い協議体委員名簿（案）（敬称略）

令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 3 1 日

	所 属	名 前
1	江差町町内会連合会	むろい つねお 室井 常雄
2	江差町老人クラブ連合会	かきざき ひろのぶ 蛎崎 廣誠
3	江差町社会福祉協議会	たがみ かおり 田上 香
4	江差町民生児童委員協議会	みかみ ゆきお 三上 幸男
5	江差町食生活改善推進協議会	はかりや あいこ 秤谷 愛子
6	NPO 法人あゆみ共同作業所	ふるおか まさし 古岡 誠史
7	株式会社ベンリー 1	やぎ のぶゆき 八木 伸幸
8	まちづくり部	しのむら ちかこ 篠村 千加子
9	江差町地域活性化協力隊	くめ きなえ 久米 早苗

## 令和4年度事業計画(案)及び当初予算(案)について

### ◆令和4年度事業計画 (案)

時 期	項 目	備 考
4月	江差町地域公共交通活性化協議会分科会の設置	※構成予定団体に事前打診の上、設置手続きを進める。
4～5月	令和4年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会分科会開催 【議題 (案)】 ・町内公共交通網の見直しに向けた協議 ・「江差マース」事業に係る方向性の検討	※内容に応じてサツドラ HD 等の関係団体の出席を要請。
5月～6月	令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域公共交通調査事業(2年目)) 交付申請・交付決定	
6月	関係機関の状況把握に向けた担当者ヒアリングの実施 【対象者】 交通事業者 (函館バス・桧山ハイヤー・ハートランドフェリー)、 福祉有償運送事業者、江差病院、民生委員、庁内関係課 など	※ヒアリングの際、他自治体にて公共交通業務に携わっている「為国 孝敏氏」の招聘を予定。
6月	令和4年度第2回江差町地域公共交通活性化協議会分科会開催 【議題 (案)】 ・「江差マース」等の新たな交通モード導入を見据えた実証運行の実施に関する内容協議	※内容に応じてサツドラ HD 等の関係団体の出席を要請。
6月	令和4年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会開催 【議題 (案)】 ・令和3年度事業報告及び収支決算・監査報告 ・令和4年度調査事業の内容協議 ・「江差マース」等の新たな交通モード導入を見据えた実証運行の実施に係る内容協議及び方向性決定	
6月～7月	道立江差高校関係者 (保護者・生徒) 対象のアンケート調査、意見交換会などの実施 ⇒ アンケート調査等の協力依頼を学校側には打診済みで、実施する日時や内容等について今後学校側と協議予定	※内容について本協議会、学校側及び近隣町と事前協議し実施。
7月	バス利用実態調査の実施 ⇒ 江差町関係路線におけるバス停別の乗降数や利用目的等の利用実態を明らかにするバス乗降調査	※実施内容等について、函館バスと事前調整を行う。
7月～9月	令和4年度第2回江差町地域公共交通活性化協議会開催 【議題 (案)】 ・実証運行内容の決定 ・令和4年度調査事業の中間報告	

9月～11月	令和4年度第3回江差町地域公共交通活性化協議会分科会開催 【議題（案）】 ・実証運行の実施に向けた関係法令に係る手続きに関する協議及び既存交通との調整	※内容に応じてサツドラ HD 等の関係団体の出席を要請。
10月	令和4年度 地域公共交通 町民意見交換会の開催 ⇒ 令和3年度と同じく、町内複数会場での実施を予定	
11月～12月	令和4年度第3回江差町地域公共交通活性化協議会開催 【議題（案）】 ・令和4年度調査事業の調査結果のまとめ ・江差町地域公共交通計画の素案内容の整理	
11月～1月	新たな交通モード導入を見据えた実証運行の実施	※実施にあたって、町広報誌による周知のほか住民説明会の開催等を予定。
2月～3月	令和4年度第4回江差町地域公共交通活性化協議会開催 【議題（案）】 ・実証運行の実施結果報告 ・江差町地域公共交通計画（案）の提示 ・令和5年度以降の事業スケジュールの確認	

※ 上記内容については、年度当初時点での事業計画であるため、上記日程に関わらず適宜協議会の開催を検討し実施内容等を諮るとともに、必要に応じて上記以外の調査等の実施について検討を行うこととする。

## ◆令和4年度当初予算（案）

## 【歳入】

(単位：円)

款	項	目	金額	内容
1 負担金	1 負担金	1 負担金	5,620,100	・江差町負担金 6,215千円 ・江差町戻入額 ▲595千円
2 補助金	1 補助金	1 補助金	594,900	地域公共交通確保維持改善事業費 (地域公共交通調査事業) 補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	0	
合 計			6,215,000	

## 【歳出】

(単位：円)

款	項	目	金額	内容
1 運営費	1 会議費	1 会議費	150,000	事務局旅費
	2 事務費	1 事務費	50,000	・消耗品費 5千円 ・食糧費 25千円 ・郵送料 20千円
2 事業費	1 事業費	1 事業費	6,000,000	地域公共交通調査業務委託費など
3 予備費	1 予備費	1 予備費	15,000	
合 計			6,215,000	

※ 会計年度の途中で、既定予算の補正等を行う必要が生じた場合には、都度  
予算を調製の上、協議会での承認を受ける。

